

いきいき健康プランにっしん21 策定にあたって

はじめに

健康に勝る宝はありません。

毎日を「いきいきと生きる」ことは、日進市民共通の願いであろうと思います。

健康は、空気のようなものです。なくなって分かる大切さ。病気になって初めて分かる健康の有難さ。日頃から、健康に対する意識を高める必要があると思います。

現在、我が国は世界一の長寿国となりました。しかし、押し寄せる高齢化の波、現実には、がん、心臓病、脳卒中、糖尿病などの生活習慣病は増加しています。

平成15年5月に健康増進法が施行され、国においては、全ての国民が健康で心豊かに生活できる活力ある社会とするため、「健康日本21」を策定し、健康づくり運動を進めています。これを踏まえ、日進市においても「いきいき健康プランにっしん21」を策定しました。

このプランでは、アンケート調査を実施し、現状把握に努め、乳幼児期から高齢期までの各世代に9つの分野から個人が取り組む健康づくり、行政などの周囲が支援する項目を掲げ、具体的な数値目標を示しました。

このプランは、平成16年度からスタートし、10か年計画となっています。今や、インターネットの時代、健康づくりの知識や情報は簡単に手に入り、分かっている事ではありますが、市民一人ひとりが、いきいきと健康で充実した人生を送るため、健康に対する意識をしっかりと持ちたいものです。

市民の皆さまにおかれましては、このプランの趣旨をご理解され、積極的に健康づくりに取り組まれ、「健康の世紀」を目指して進めていきたいと思っております。

この計画の策定にあたり、ご尽力いただきました策定委員の皆さま、ワーキングの皆さま、貴重な意見をいただき、心からお礼を申し上げます。

平成16年 3月

日進市長 佐護 彰

「いきいき健康プランにっしん21」の策定にあたって

名古屋学芸大学 管理栄養学部長 山中 克己（策定委員会 委員長）

私たちは病気のために毎年31兆円近いお金を使っています。そして、その大半は病気の治療に使っており、予防や健康増進にはわずか数兆円しか使われていません。病気は、発病してからでは遅いのです。このことは、分かっているのですが、日々の忙しさや無関心から、疾病予防や健康増進はなおざりにされがちです。しかし、最近になっては、もっと健康に関心をもち、お金も使っていこうとする動きがでてきました。

このような時に、行政と住民が一体となって、健康に関する計画書を作っていくとする委員会が生まれたことは、大変喜ばしいことです。

名古屋学芸大学は日進市にあります。当大学は研究、教育のほか、社会貢献を柱にしており、地域社会と共に歩むことをスローガンとしています。

大学教員の私がこの「いきいき健康プランにっしん21」策定委員会に参加できたことを喜んでいますが、また委員長として、職責を果たせたのは、委員や事務局の皆さまのご指導、ご協力の賜ものと、厚く感謝する次第です。この計画書が市民の健康増進に寄与できることをお祈り申し上げます。

「いきいき健康プランにっしん21」推進にむけて

あいち健康の森健康科学総合センター

指導課長 津下 一代（策定委員会 副委員長）

「いくつになっても元気で人生を楽しみたい」、「のびのびと子どもたちが成長してほしい」、そんな願いを叶えるための、日進市ならではのプランができました。

健康や病気は個人的な問題のように思われますが、実は多くの社会的要因に影響を受けているのです。壮年期死亡やなたきりの原因ともなる生活習慣病では、運動不足や脂肪の摂り過ぎなど個人の生活習慣が問題となります。しかし、ひとりで歩くより家族や仲間といっしょに運動したほうが長続きするでしょうし、ヘルシークッキングの講習会でおいしく健康的に食べるコツを学べるというのもよいでしょう。無理なく自然に健康的な生活習慣を継続できるまちづくりが、いま求められているのです。

いきいき健康プランをたたき台に、自分たちの健康についてもっと考えてみませんか。このプランを豊かに育てていくのは日進市の皆さんです。自分の健康、家族の健康、まちの健康・・・10年後の日進が楽しみです。

いきいき健康プランにっしん 21 計画書
目次

第1章 計画の総論	1
1. 計画策定の背景と目的	1
2. 計画の位置づけ	2
3. 計画の策定体制	3
4. 計画の特色	4
5. 計画の進め方	6
6. 計画の期間	8
第2章 計画の基本的な考え方	11
1. 計画の基本理念	11
2. 計画の基本方針	12
第3章 日進市の概況	15
1. 日進市のまちづくり	15
2. 日進市の現状	18
第4章 日進市の現状及び 市民の健康状態	25
1. 統計から見た現状	25
2. 健康に対する意識と健康状態	28
3. ヒアリングからみた 市民の健康意識・取り組み	32
第5章 市民参加による計画づくり	41
1. 分野別の健康課題と数値目標	41
第6章 市民・周囲の取り組みと めざすべき姿	63
1. 分野別・ライフステージ別の 取り組みとめざすべき姿	63
第7章 今後の取り組みと推進体制	85
1. 基本的な考え方	85
2. 推進体制	86
3. 計画の評価	86
4. 今後の推進方策	87

参考資料

1. アンケート調査概要	91
2. 統計資料及びアンケート調査結果	95
3. ヒアリング調査結果	125
4. 健康づくり関連事業一覧表	139
5. 社会資源一覧表	147
6. 国・県の数値目標一覧表	149
7. 策定経緯	161
8. 委員名簿	165

第 1 章

計画の総論

第1章

計画の総論

1. 計画策定の背景と目的

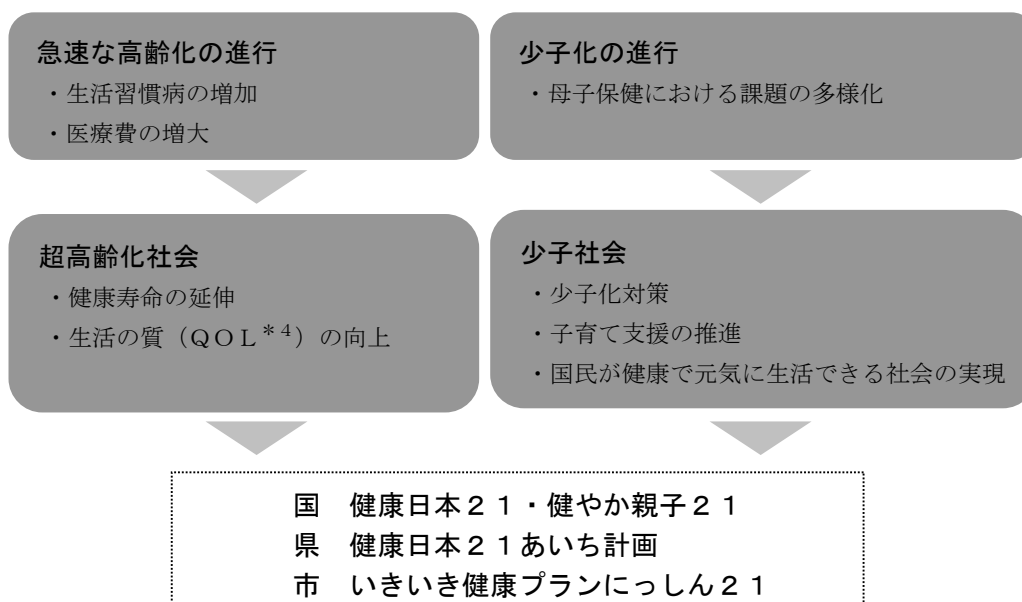
現在、わが国では平均寿命が大幅に伸び、世界有数の長寿国になっています。

しかし、急速な高齢化に伴い、がん・心臓病・脳卒中などの生活習慣病^{*1}の増加や、痴呆、ねたきりなどの介護状態になる人々も増加しており、深刻な社会問題となっています。

こうした現状に対して、国は「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21）」を平成12年3月に策定しました。従来の早期発見・治療にとどまらない疾病対策として、生活習慣の改善による健康の増進と疾病の発病を予防する「一次予防^{*2}」に重点をおき、壮年期死亡（早世）や要介護状態を減少させ、健康寿命^{*3}を増進させる対策を進めています。

さらに、同年11月に親と子が健やかに暮らせる社会づくりを目指す「健やか親子21」を策定しています。平成15年5月に施行された「健康増進法」はこうした運動を積極的に推進する法的根拠となっています。

そうした中、「いきいき健康プランにしん21」は、本市における市民の健康づくりをすすめるための基本計画とすることを目的とします。

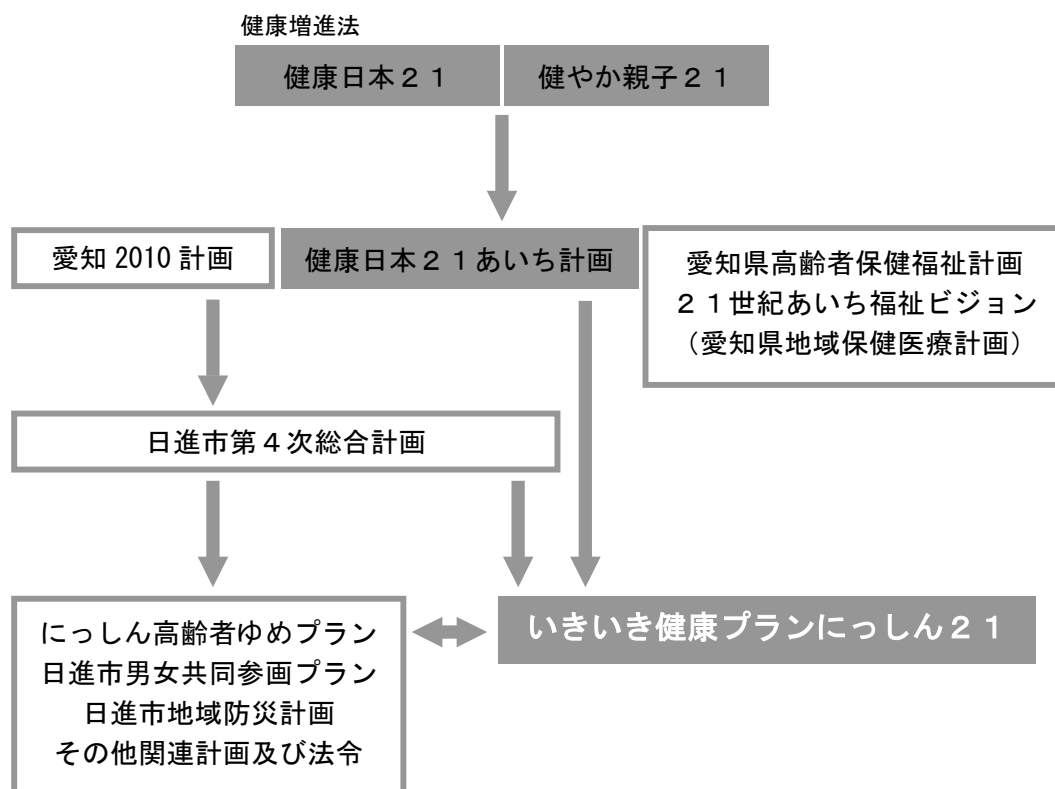


*1 「生活習慣病」とは、以前は「成人病」と呼ばれたものです。食生活や喫煙、飲食、運動、ストレス、休養などの生活習慣の乱れが原因で起きることから、1996年から「生活習慣病」という名称が使われるようになりました。「がん」「心臓病」「脳卒中」は、日本人の死亡原因の実に60%以上を占めています。

*2、3、4については、次頁に掲載する

2. 計画の位置づけ

本計画は、国が策定した「健康日本21」及び愛知県が策定した「健康日本21あいち計画」を踏まえて、これを推進するための具体的な地方計画として位置づけます。また、日進市第4次総合計画を上位計画とするとともに、関連諸計画との整合性を図ります。

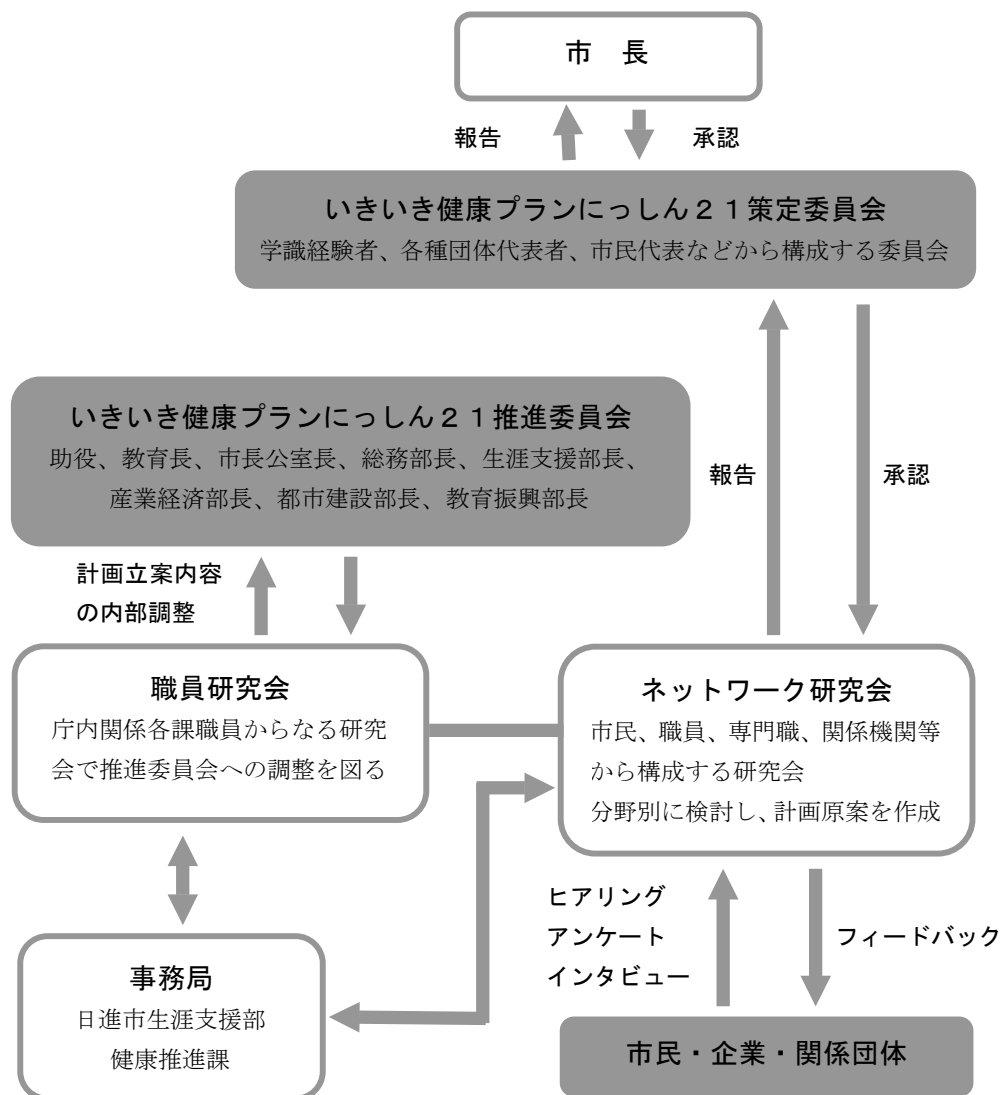


- * 2 一次予防 病気にならないように普段から健康増進に努め、病気の原因となるものを予防・改善することで、予防接種や環境改善、外傷の防止なども含まれます。これに対し、定期健診などで病気を早期発見・早期治療を受けることを「二次予防」、病気にかかったらきちんと治療を受け、疾病の進行防止、また、機能の回復・維持を図ることを「三次予防」といいます。
- * 3 健康寿命 生存している期間（いわゆる寿命）に対し、人生において健康で障害のない期間（支援や介護を要しない期間）をいいます。
- * 4 QOL（クオリティーオブライフ） 人々の生活を物質的な面から量的にのみとらえるのではなく、精神的な豊かさや満足度を含めて、質的にとらえる考え方です。

3. 計画の策定体制

本計画の策定にあたり、学識経験者や一般市民で構成する「いきいき健康プランにっしん21策定委員会」及び庁内の関係部局の代表による「いきいき健康プランにっしん21推進委員会」を設置し、職員研究会・ネットワーク研究会にて策定された内容について審議しました。

また、本計画の策定にあたっては、できる限り市民の声を反映していくという主旨から、健康推進課を事務局として庁内関係各課で構成する「職員研究会」を設置するとともに、公募による市民や関係機関の代表で構成する「ネットワーク研究会」を設置し、公民協働により計画の策定に取り組みました。



4. 計画の特色

(1) 計画づくりの目標設定

「いきいき健康プランにっしん21」では、健康寿命を短縮させる生活習慣病の予防（一次予防）に力を入れていきます。生活習慣病の原因となる生活習慣を、「栄養・食生活」、「身体活動・運動」、「休養・心の健康づくり」、「たばこ」、「アルコール」、「歯の健康」の6分野とし、さらに「生活習慣病」を設け、糖尿病・循環器病・がんについて取り組みます。

また、子どもころからの健康的な生活習慣の形成や育児不安、思春期のこころの問題などに対して、「健やか親子・母子保健」の分野を設け、さらに独自の試みとして、将来、東海地震などの災害や生活の中で起こりうる不慮の事故などの問題に対して、特に「安全」の分野を設定しています。



(2) ライフステージに合わせた計画づくり

「いきいき健康プランにっしん21」では、妊産婦期から高齢期までを対象にしています。健康寿命の延伸と生活の質（QOL）の向上、親と子の健やかな成長に向けて、人生の特徴のある年代（ライフステージ）ごとに健康目標を設定します。

ライフステージ区分	対象となる年齢
妊産婦期	—
乳幼児期	0～5歳
児童期	6～12歳
思春期	13～19歳
青年期	20～39歳
壮年期	40～64歳
高齢期	65歳以上

(3) 市民参加による計画づくり

本計画の主役は、市民であり、市民自らの行動により推進される計画です。そのため、より多くの市民と計画策定段階で協議しつつ、市民からの提言により、分野・ライフステージ別に健康課題と数値目標ならびに市民・周囲の取り組みとめざすべき姿を検討しました。

市民参加による計画づくりの特徴は、以下の通りです。

1. 職員研究会とネットワーク研究会の協働によるワーキング
2. 健康課題に基づき、本市で取り組むべき重要課題について市民自らが優先順位と数値目標を設定する
3. 健康課題に基づき、市民の取り組むべき方向と周囲の支援について討議し、次年度以降、事業化を図れるようアクションプランの提言をする
4. 計画推進にあたり市民自ら取り組みを進めていく「めざすべき姿」を分野別・ライフステージ別に検討する

5. 計画の進め方

計画の策定にあたっては、日進市の地域特性や市民の要望を十分に踏まえた取り組みを重要視し、策定を進めました。

ステップ 1

事務局にて計画策定の準備をする

- ・日進市の健康づくりを進める上での基本的な考え方を整理
- ・策定体制の調整

ステップ 2

職員研究会・ネットワーク研究会を設置する

ワーキング活動

(H. 14年度 第1回目)

- ・健康プラザ指導課 医学博士 津下一代先生による講話
- ・お味噌汁の試食会
「あなたのお好みの塩味は？」
- ・ワーキング「気になっている健康状態など」について



ワーキング活動

(H. 14年度 第2回目)

- ・実践「少し歩いてみよう」
- ・ワーキング

第1回ワーキング内容に基づき分野別の取り組みを討議



視察研修（第3回健康日本21 全国大会・滋賀県大津市）

- ・基調講演
- ・パネルディスカッション「健康なまちづくり応援団」
- ・健康劇 など



ステップ 3

現況調査を実施する

①アンケート調査を実施する

- ・妊産婦、乳幼児保護者、就園児保護者、小学生、小学生保護者、中学生、高校生、成人の世代別に健康状況や健康観、健康に対する取り組みを把握するためアンケート調査を実施

②保健動向及び主要指標を把握する

- ・衛生指標、成人保健指標、母子保健指標、歯科保健指標について瀬戸保健所資料、市保健衛生資料を基に整理

③ヒアリング調査を実施する

- ・保健福祉関係、教育関係、医療関係、企業関係を対象に現在の活動状況、現状の問題点、健康診断などの実施状況、今後の取り組みなどをヒアリング

ステップ4

職員研究会・ネットワーク研究会によるワーキング

現況調査結果から問題点と課題を整理 (H.14年度 第3回目)
(H.15年度 第1~2回目)

- ・分野別、ライフスタイル別に現況調査結果から健康上の着眼点として問題点と課題を整理



課題に対する取り組みと数値目標を検討 (H.15年度 第3~5回目)

- ・課題に対し、個人の取り組みと周囲の支援について検討
- ・日進市で数値目標を掲げ具体的に推進していく課題の絞込みを行う
- ・国や県の指標を勘案しつつ、日進市の数値目標を設定



周囲の支援となる社会資源の洗い出し (H.15年度 第6~7回目)

- ・職員研究会にて、現在行っている健康づくりに関する行政の取り組みについて整理
- ・ネットワーク研究会にて「わが街の健康財産の発見!!」
- ・今までに検討してきた周囲の支援について、既存の社会資源と比較し、新規事業の立案の必要性について検討



健康づくりを進める上での「あるべき姿」を検討

(H.15年度 第8~10回目)

- ・健康づくりを進める上での「あるべき姿(スローガン)」を再認識して、ワーキング活動を終える



ステップ5

イベント「健康への直行便」を開催

より多くの市民への啓発

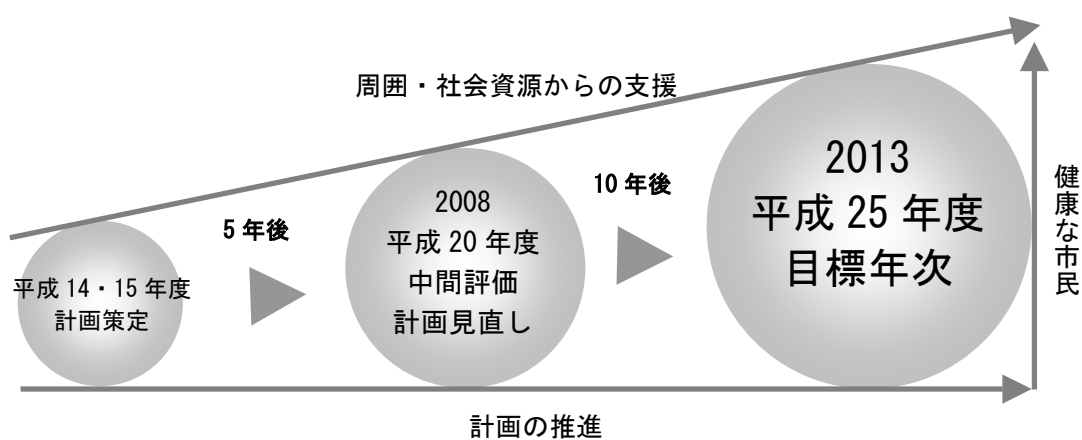
- ・ワーキングにて検討してきた健康課題や具体的な取り組み、あるべき姿について、より多くの市民に対し啓発するため、イベントを開催
- ・「いきいき健康プランにしん21」の報告であり、今後10年間の計画のスタートとして開催



6. 計画の期間

本計画は、計画期間を平成16年度（2004年度）から平成25年度（2013年度）までの10年間とします。

また、中間年度（平成20年度【2008年度】）に中間評価と計画の見直しを行い、目標達成に向けた効果的な施策展開を図っていきます。



平成15年11月9日
日進市民まつり（健康フィスティバル）にて「お気楽ビクス」

第2章

計画の基本的な考え方

第2章

計画の基本的な考え方

1. 計画の基本理念

「いきいき健康プランにしん21」の目標は市民が健康で長生きできることにあります。その実現に向けて、生活習慣病などの疾病の原因となる生活習慣を改善し、壮年期死亡（早世）や要介護状態の減少を図ります。

「いきいき健康プランにしん21」では、市民自らが健康づくりに取り組める計画を策定していきます。さらに、健康づくりに関係する各種団体や関係機関（医療機関、医療保険者、教育機関、ボランティア、企業、行政）は、さまざまな形で市民の健康づくりをサポートしていきます。

個人、家族、各種団体が連携し、協力していくことで、すべての市民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会に向けた取り組みを展開していきます。

自ら取り組む健康づくりのプロセス



キーワード

健康づくりは、まずは自分に気づくことから始まります。

2. 計画の基本方針

一人ひとりの生活習慣の見直しから

健康づくりは、市民一人ひとりが自分自身の健康に関心を持ち、自らの健康管理を行うことから始まります。市民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組めるように、行政をはじめ、関係機関は市民の健康づくりをサポートします。

みんなで支える健康づくり

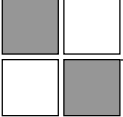
個人の努力だけでは難しい健康増進もみんなで協力、連携することで進めていくことができます。一人ひとりの健康づくりの実践に加えて、家族や各種団体の支援により環境整備や地域の活力など、広く社会全体で市民の健康づくりを推進します。

生活習慣病予防の重視

生活習慣病の予防には、人生の諸段階（ライフステージ）に応じた生活習慣を身につけることが必要です。生活習慣を改善し、健康増進に積極的に取り組んでいきます。

第3章

日進市の概況



第3章

日進市の概況

1. 日進市のまちづくり

(1) 本市の成り立ち

本市は、かつては純粋な農村地域でしたが、高度経済成長期(昭和 30・40 年代)の宅地開発に伴い住宅団地が続々と形成されたことにより人口が急激に増加し、都市としての成長が始まりました。また、昭和 40 年代以降の名古屋都市圏の拡大により、その傾向は一層強まりました。

しかし、こうした住宅団地開発の進展は、交通需要に十分対処できない道路路面の弱さを現わし、また、本市の中心地を形成することなく今日に至っています。

今後もしばらくは、土地区画整理事業を主体とした市街地開発が続き、様々な人が他の市町村から移り住むことになるわけですが、都市としての形を整えるためには道路の整備など、交通ネットワークの充実を図っていくとともに、市のシンボルとなるような『都市核』を形成していく必要があります。

また、市内には多くの大学が立地し、昭和 60 年代には「あいち学術研究開発ゾーン」の位置づけの中で、愛知池周辺地区が研究開発機能・研修機能を中心とした複合的な拠点地区として整備されました。こうした市内に分散立地する大学や研究開発機能と市民や行政が相互に連携・交流し合うとともに、『都市核』と住宅地や諸施設などを結ぶ交通ネットワークの形成を図る必要があります。

その一方で、本市に残る緑地などは、市民の貴重な自然環境として保全し、後世に残していく必要があります。

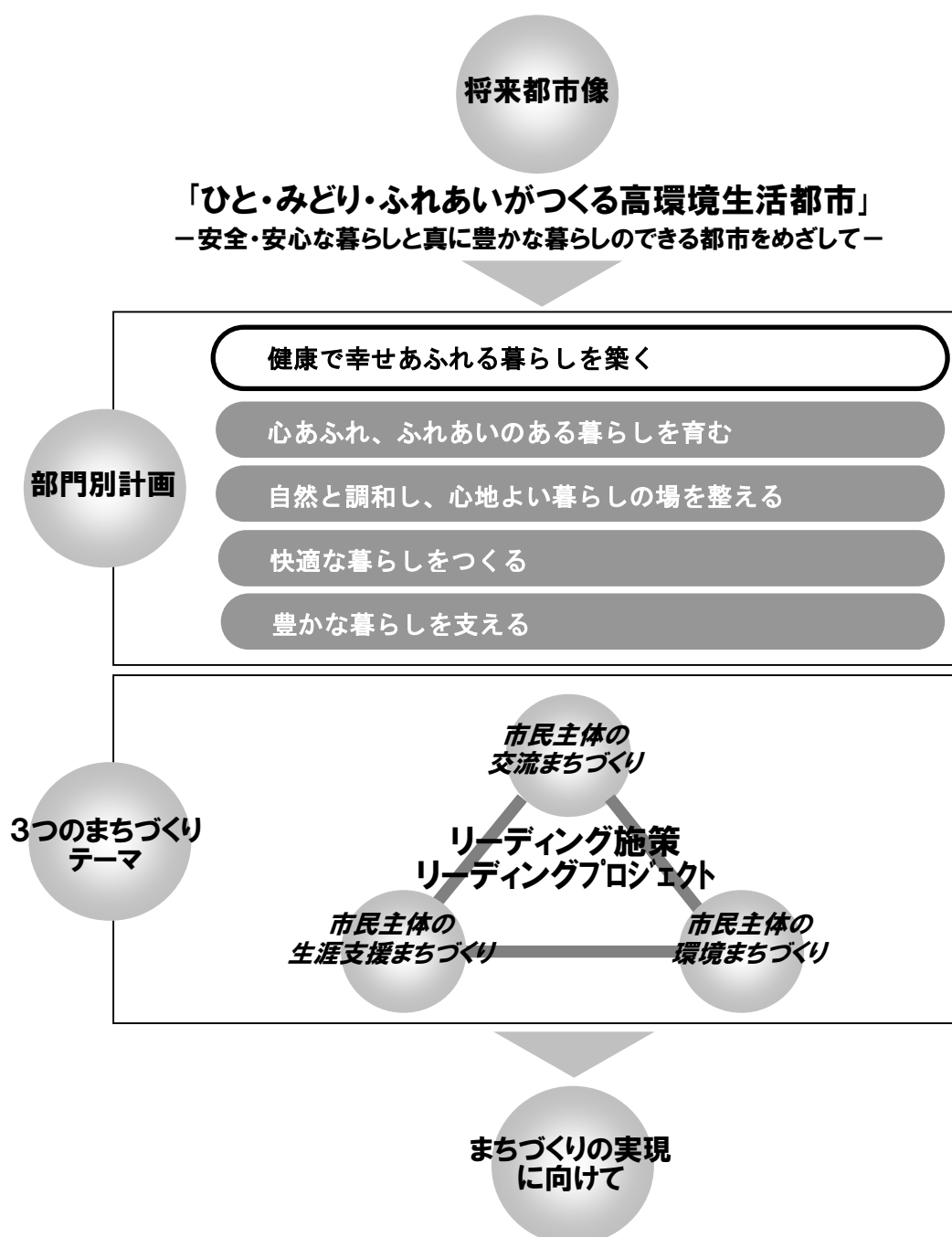
(第4次 日進市総合計画より抜粋)

(2) 本市がめざす将来都市像

1) 基本構想の組み立て

本市では、市民にとって真に住み心地が良く、豊かで生きがいに満ちた生活が楽しめる“まち”…そんな「高環境」の生活都市をめざしていきます。

そして、この将来都市像の実現に向け、「交流」、「生涯支援」、「環境」を重視した都市づくりを、市民と行政が力を合わせて推進していきます。



2) 部門別計画

健康で幸せあふれる暮らしを築く

市民が真に暮らしやすい都市とするためには、市民が健康で生きがいを持ち、安心して暮らすことのできるまちづくりが必要です。

そのために、市民一人ひとりが健康づくりを実践できるよう、保健・医療・福祉が連携した各種施策を推進していきます。

やすらぎのある暮らしー福祉ー

福祉を「家庭」から「社会」で支えあう環境づくりをめざします。

健康的な暮らしー保健・医療ー

すべての市民が、生涯を通じて健康な生活を営める体制の充実を図っていきます。

また、人口増加、高齢化により多様化・高度化する医療ニーズに対応するため、医療機能の充実を図っていきます。

3) まちづくりの実現に向けて

将来都市像の実現にあたっては、市民と行政が相互理解を深めながらお互いのパートナーシップ（協働）意識を高め、育んでいくことが必要です。そのためには、市民自身が積極的にまちづくりへ参加することが求められます。

また、より快適で住みよいまちづくりを実現するため、時代の要請に的確に対応できる行財政運営を図るとともに、行政自体の意識改革、体質改善に努めます。

さらに、施策や事業の実施にあたっては、行政努力はもとより、他の行政機関との連携を推進しながら効率的な運営を進めていきます。市民が真に暮らしやすい都市とするためには、市民が健康で生きがいを持ち、安心して暮らすことのできるまちづくりが必要です。

（第4次日進市総合計画ダイジェスト版より抜粋）

2. 日進市の現状

(1) 人口

1) 人口及び世帯数

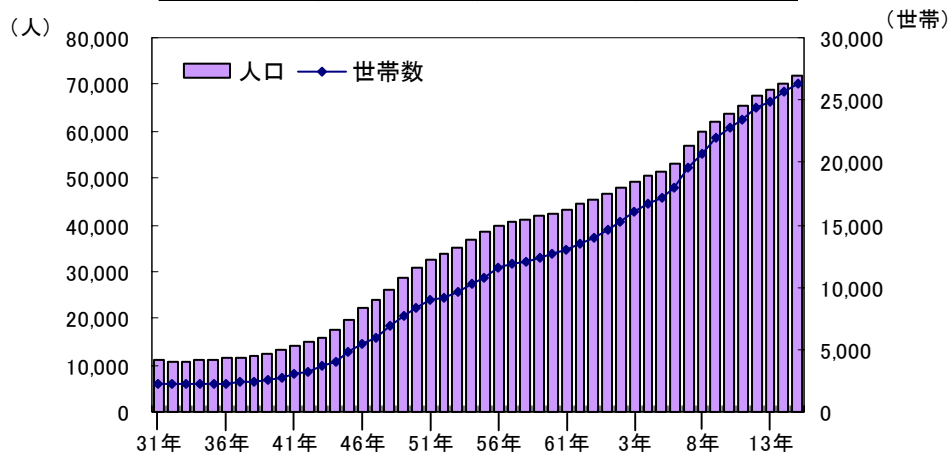
本市の人口は、昭和40・50年代に大規模な住宅開発が進み、他市町村からの転入により急激な増加をみました。平成に入ってから土地区画整理事業など積極的な住宅開発により、人口は着実に増加しています。

また、世帯数は、昭和50年代に一時急激に増加し、これに伴い世帯当たり人員は急激に減少しました。この傾向は、昭和60年代頃に落ち着いたかにみえましたが、平成に入ってから再び世帯数の増加が著しくなり、10年前の平成6年4月1日現在における世帯当たり人員の2.95人と比較して、平成15年4月1日現在の世帯当たり人員は2.72人と確実に核家族化が進展しています。(第4次日進市総合計画より抜粋し、一部加筆)

人口及び世帯数の推移

(単位:人、世帯)

	人口	世帯数	世帯当たり人員
平成6年	53,228	18,034	2.95
平成7年	56,746	19,501	2.90
平成8年	59,686	20,762	2.87
平成9年	62,223	21,900	2.84
平成10年	63,891	22,757	2.80
平成11年	65,553	23,432	2.79
平成12年	67,521	24,317	2.77
平成13年	68,741	24,911	2.75
平成14年	70,181	25,631	2.73
平成15年	71,722	26,350	2.72

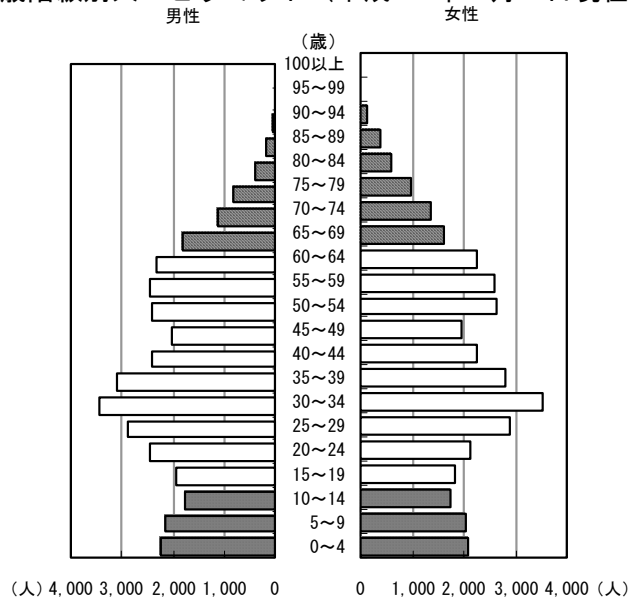


出典：にしんの統計書（平成15年版）

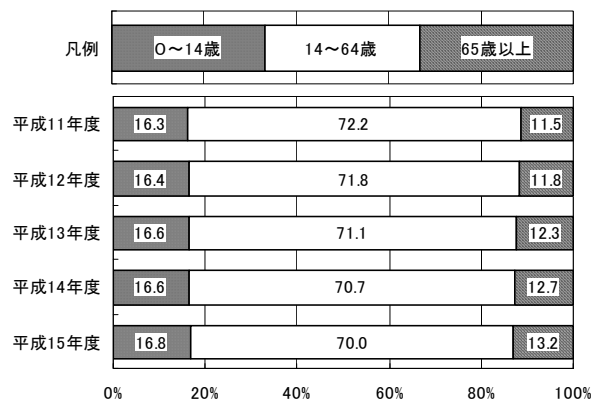
2) 年齢別人口

本市の年齢別人口は、人口増加に伴い各年代とも増加していますが、総人口に占める65歳以上の高齢人口は平成11年度の11.5%と比較して平成15年度は13.2%と1.7ポイント増加しています。また、年少人口については、近年の積極的な土地区画整理事業などの住宅開発により、ニューファミリー世帯と呼ばれるこれから子育てを担う世帯の転入により、年少人口も人口増加とともに増加し、平成11年度の16.3%と比較して平成15年度は16.8%と0.5ポイント増加しています。

5歳階級別人口ピラミッド（平成15年4月1日現在）



年齢3区分別人口（平成15年4月1日現在）



出典：にっしんの統計書（平成15年版）

3) 町別人口

本市の人口を町別にみると、高齢化率が20%を超えている町は、梅森町、蟹甲町、北新町、南ヶ丘、東山となっており、その要因として旧来からの集落による地域や昭和40・50年代の住宅開発による地域の世帯が、加齢に伴い地区全体が高齢化したものと考えられます。逆に高齢化率が10%を下回っている町は、香久山、赤池、岩崎台、栄となっており、その要因として近年の土地区画整理事業などにより、ニューファミリー世帯と呼ばれるこれから子育てを担う若年層の世帯の転入によるものと考えられます。

町別年齢別人口（平成15年4月1日現在）

区域	年齢別人口(人)				構成比(%)			世帯数
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上	
日進市	71,722	12,084	50,167	9,471	16.8%	70.0%	13.2%	26,350
赤池町	3,250	405	2,323	522	12.5%	71.4%	16.1%	1,255
浅田町	5,441	895	3,892	654	16.5%	71.5%	12.0%	2,125
梅森町	1,756	209	1,141	406	11.9%	65.0%	23.1%	704
野方町	327	42	220	65	12.8%	67.3%	19.9%	103
蟹甲町	475	57	311	107	12.0%	65.5%	22.5%	165
折戸町	2,148	402	1,471	275	18.7%	68.5%	12.8%	744
藤枝町	1,649	245	1,096	308	14.9%	66.4%	18.7%	566
米野木町	4,245	450	3,004	791	10.6%	70.8%	18.6%	1,491
三本木町	996	91	782	123	9.1%	78.5%	12.4%	487
藤島町	1,635	193	1,138	304	11.8%	69.6%	18.6%	538
本郷町	706	87	487	132	12.3%	69.0%	18.7%	238
岩崎町	9,242	1,227	6,388	1,627	13.3%	69.1%	17.6%	3,495
岩藤町	1,183	163	812	208	13.8%	68.6%	17.6%	404
北新町	1,036	115	709	212	11.1%	68.4%	20.5%	434
南ヶ丘	1,807	223	1,161	423	12.3%	64.3%	23.4%	664
五色園	3,940	478	2,803	659	12.1%	71.2%	16.7%	1,334
梅森台	2,772	400	2,071	301	14.4%	74.7%	10.9%	1,061
東山	3,930	470	2,649	811	12.0%	67.4%	20.6%	1,380
香久山	6,767	1,787	4,601	379	26.4%	68.0%	5.6%	2,285
赤池	2,623	448	1,998	177	17.1%	76.2%	6.7%	1,185
岩崎台	4,576	1,011	3,300	265	22.1%	72.1%	5.8%	1,726
栄	7,337	2,097	5,047	193	28.6%	68.8%	2.6%	2,594
藤塚	3,881	589	2,763	529	15.2%	71.2%	13.6%	1,372

出典：にっしんの統計書（平成15年版）

(2) 産業構造

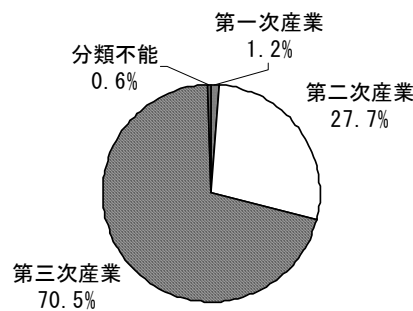
本市の人口を産業分類別にみると、平成13年12月31日現在で第三次産業が24,498人で総数に対して70.5%となっており、次いで第二次産業が9,631人で27.7%、第一次産業が415人で1.2%、分類不能が222人で0.6%となっています。

また、産業大分類別に本市の産業構造をみると、農業については、都市化の進行により、優良農地の確保が困難であるとともに、農家の高齢化・兼業化、さらには非農家への相続による耕作放棄等の問題があり、効率的な農業を推進していくための支援策が求められています。

本市の工業事業所については、より一層の市内雇用の促進と財政基盤の強化をめざした工業振興策を展開していくとともに、中小企業の生産性や競争力を高めていく必要があります。

本市の商業については、名古屋市への購買の流出が顕著であり、市内の商店街の多くは規模も小さく来街者や店舗数はコンビニエンスストアを除き減少傾向にあります。また、大規模小売店の進出による地元商店街への影響も大きいことから、ハード・ソフト両面からきめの細かい地元商業の振興を図っていく必要があります。(第4次日進市総合計画より抜粋)

産業分類別就業人口（平成13年12月31日現在）



出典：にっしんの統計書（平成15年版）

農家数・農家人口及び経営耕地規模

(単位：農家数=戸、人口=人、面積=a)

総農家数	専業農家	兼業農家	兼業農家		農家人口	農業就業人口	経営耕地面積			
			第1種兼業	第2種兼業			田	畑	樹園地	
898	48	850	33	817	3,971	790	36,915	2,615	6,963	2,137

出典：にっしんの統計書（平成15年版）

製造業の町別事業所数・従業者数及び製造品出荷額

(平成13年12月31日現在)

単位：金額 万円

町名	事業所数	従業者数	製造品出荷額等
総数	133	3,635	10,036,743
赤池町	8	80	86,652
浅田町	40	1,576	3,932,248
梅森町	1	x	x ^{*1}
梅森台	1	x	x
蟹甲町	1	x	x
折戸町	6	64	86,510
東山	2	x	x
藤枝町	4	165	220,194
米野木町	10	505	2,384,099
三本木町	3	124	217,318
藤島町	6	134	273,092
本郷町	5	31	29,485
岩崎町	22	475	1,951,970
竹の山	5	77	142,016
岩藤町	9	199	308,382
北新町	2	x	x
五色園	3	25	64,608
藤塚	5	60	94,114

出典：にっしんの統計書（平成15年版）

卸売業・小売業の産業分類別商店数・従業者数及び販売額

(単位：金額万円)

産業分類	商店数	従業者数	年間販売額
総数	497	4,969	14,336,117
卸売業	112	1,514	7,882,069
小売業	385	3,455	6,454,048

出典：にっしんの統計書（平成15年版）

*1 「X」とは秘匿数値であり、秘匿すべき箇所が1か所及び事業所数が1である場合、秘匿すべき数字と類似した分類の数字を「X」で示しています。

第4章

日進市の現状及び市民 の健康状態

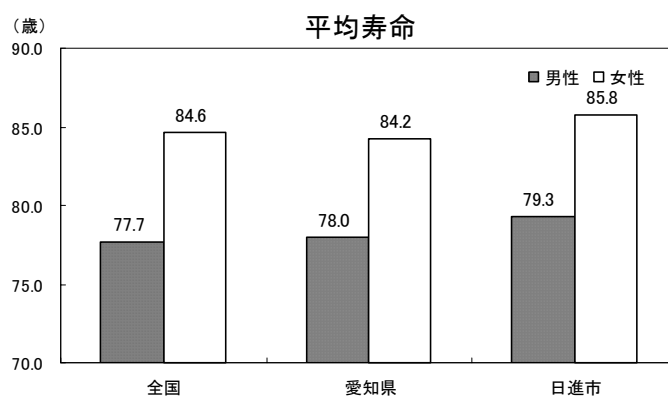
第4章

日進市の現状及び市民の健康状態

1. 統計から見た現状

(1) 平均寿命

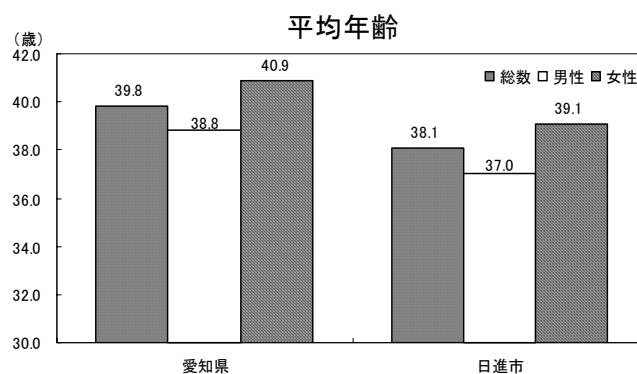
本市の平均寿命は、平成12年の市町村別生命表によると男性が79.3歳、女性が85.8歳と男女ともに全国及び愛知県より長くなっており、愛知県内では女性の平均寿命は第1位、男性は長久手町に次いで第2位という結果となっています。また、平均寿命の男女差は6.5歳となっています。



出典：厚生労働省 市町村別生命表（平成12年）

(2) 平均年齢

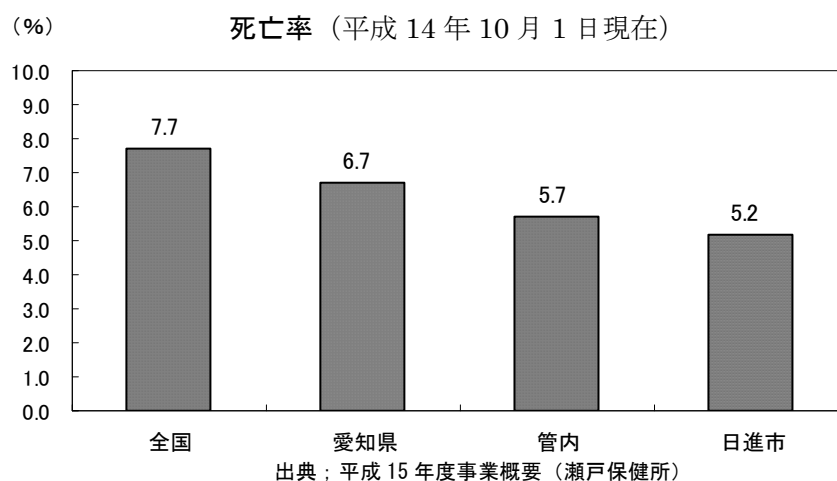
本市の平均年齢は、総数で38.1歳、男性が37.0歳、女性が39.1歳となっており、男女差は2.1歳となっています。また、愛知県と比較した場合、愛知県は総数が39.8歳、男性が38.8歳、女性が40.9歳であり、すべての項目において、本市の平均年齢が下回っており、若干でも本市は若いまちであるといえます。



出典：あいちの人口（平成12年度）、国勢調査

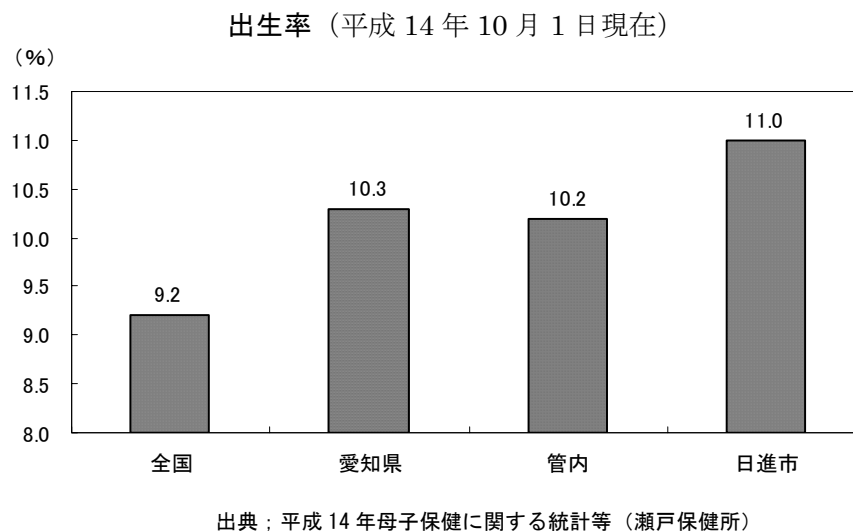
(3) 死亡率

本市の死亡率は、平成14年10月1日現在で5.2%となっており、全国の7.7%、愛知県の6.7%、さらに瀬戸保健所管内の5.7%と比較して最も低くなっています。



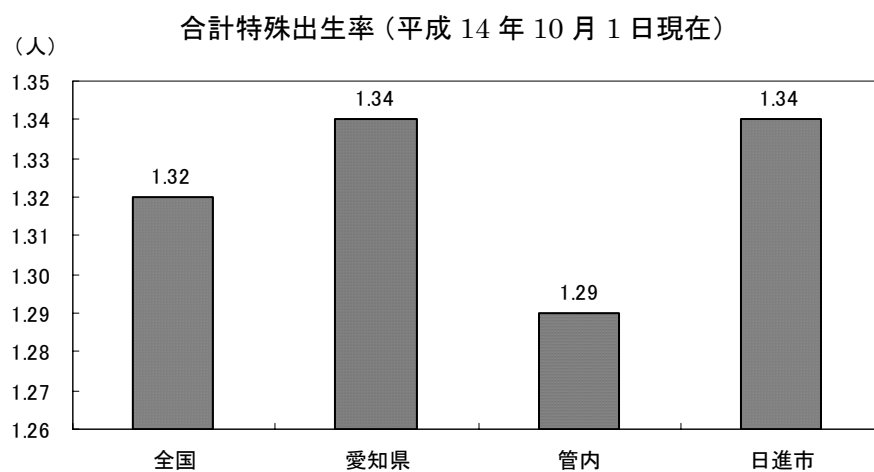
(4) 出生率

本市の出生率*1は、平成14年10月1日現在では11.0%となっており、全国の9.2%、愛知県の10.3%及び瀬戸保健所管内の10.2%と比較して高くなっています。



(5) 合計特殊出生率

本市の合計特殊出生率*²は、平成14年10月1日現在では1.34人で愛知県と同等であるが、全国の1.32人、瀬戸保健所管内の1.29人と比較すると高くなっています。



出典；平成14年母子保健に関する統計等（瀬戸保健所）

* 1 出生率

$$\text{出生率} = \frac{\text{出生数}}{\text{人口}} \times 1,000$$

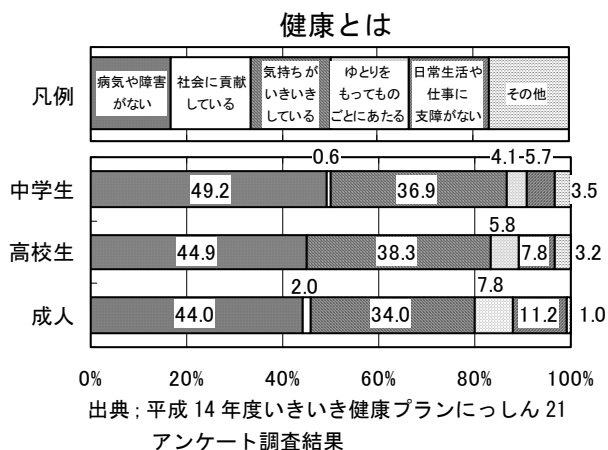
* 2 合計特殊出生率は、女子の年齢別出生率の合計で、1人の女子がその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとした時のこどもの数を表す。

$$\text{合計特殊出生率} = \left\{ \frac{\text{母の年齢別出生数}}{\text{年齢別女子人口}} \right\} \text{15歳から49歳までの合計}$$

2. 健康に対する意識と健康状態

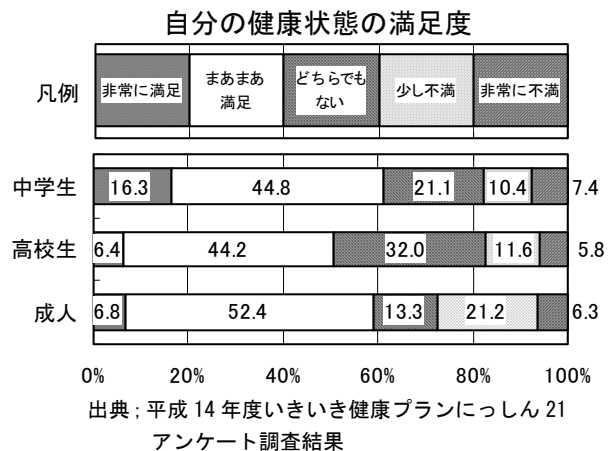
(1) 健康とは

「健康とはどういう状態ですか」という設問に対して、成人、高校生、中学生ともに、「病気や障害がない」と答えた人の割合が4割以上と最も高く、次いで「気持ちがいきいきしている」となっており、成人、高校生、中学生ともに同様の傾向となっています。



(2) 自分の健康状態の満足度

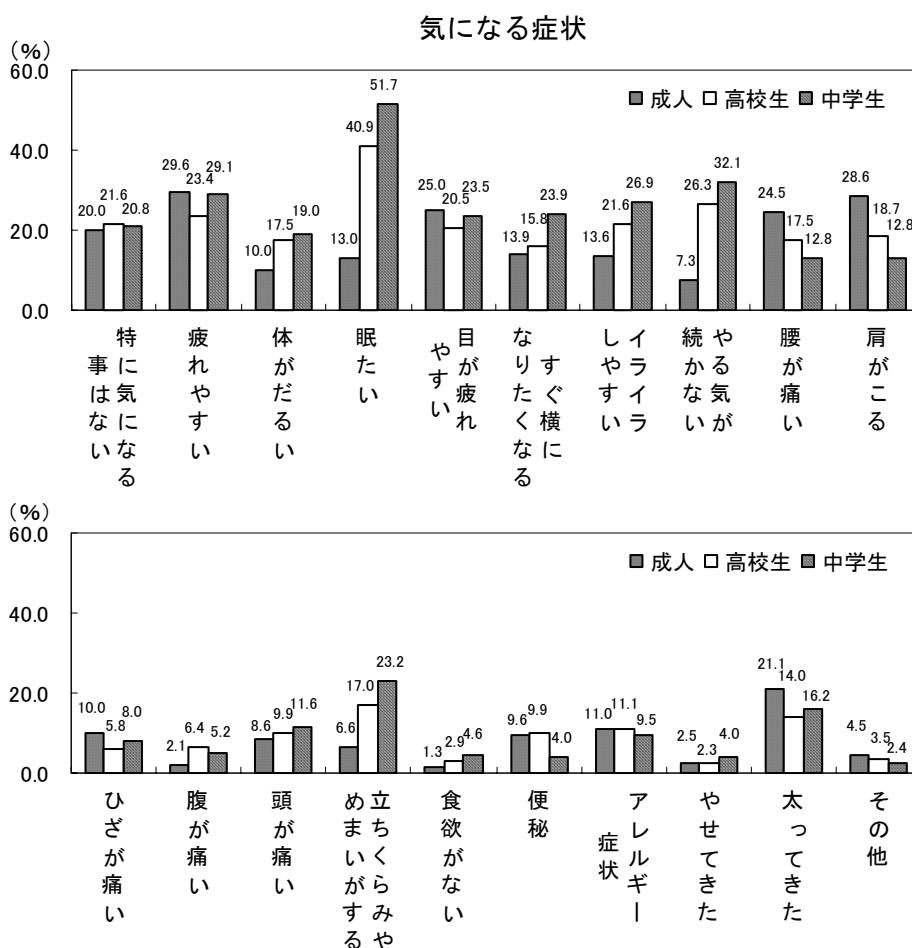
自分の健康状態の満足度については、「非常に満足」、「まあまあ満足」と答えた人の割合が中学生では61.1%と最も高くなっており、次いで成人の59.2%、高校生の50.6%となっています。また、「どちらでもない」を除いた「少し不満」、「非常に不満」と答えた人は、成人で27.5%と最も高く、次いで中学生の17.8%、高校生の17.4%となっています。



(3) 気になる症状

成人、高校生、中学生を対象に「自分の体で気になる症状はありますか」という設問に対し、成人では突出した結果はありませんが「疲れやすい」、「肩がこる」、「目が疲れやすい」などの疲労感を感じている人や「腰が痛い」、「太ってきた」と答えた人が多くなっています。

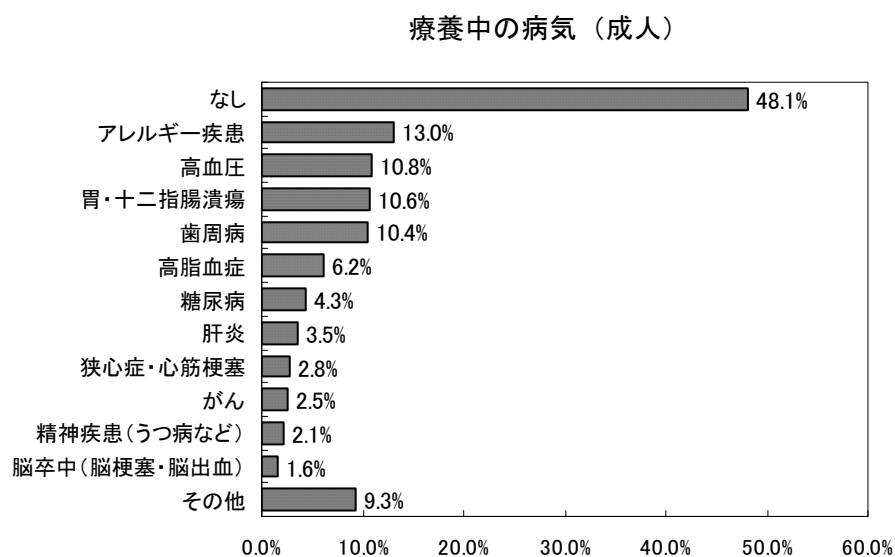
高校生及び中学生では、ともに「眠たい」と答えた人が最も多く、次点の項目と比較しても1.5倍以上多くなっています。次いで「やる気が続かない」、「疲れやすい」、「イライラしやすい」の順となっており、成人とは異なり疾患からくる症状ではなく、睡眠不足などの生活習慣の問題からくる健康状態を気にしている人が多くなっています。



出典：平成14年度いきいき健康プランにっしん21
アンケート調査結果

(4) 療養中の病気

成人に対して療養中の病気についての設問では、「なし」と答えた人が全体の48.1%となっています。対して療養中の病気としては、「アレルギー疾患」が13.0%で最も高く、次いで「高血圧」、「胃・十二指腸潰瘍」、「歯周病」となっており、生活習慣に係わる疾患が多くなっています。

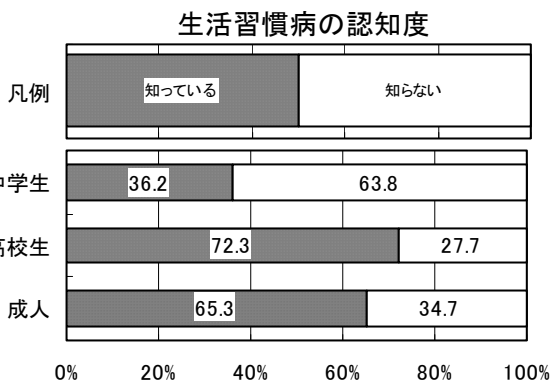


出典：平成14年度いきいき健康プランにっしん21
アンケート調査結果

(5) 生活習慣病の認知度

生活習慣病の認知度については、「知っている」と答えた人の割合は、高校生では72.3%と最も高く、次いで成人の65.3%となっています。

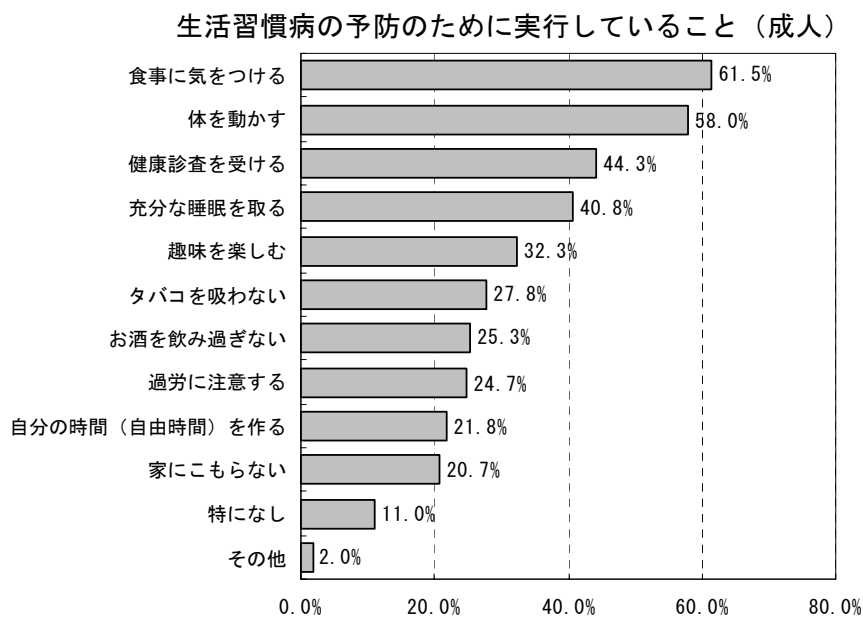
また、中学生では、「知っている」と答えた人の割合が36.2%と最も低く、生活習慣病であるがん、循環器病、糖尿病について、中学生では身近な疾病として生活習慣病の認知度はかなり低いのが現状です。



出典：平成14年度いきいき健康プランにっしん21 アンケート調査結果

(6) 生活習慣病の予防のために実行していること

成人に対しての生活習慣病の予防のために実行していることに対する設問について、「食事に気をつける」が61.5%と最も高く、次いで「体を動かす」の58.0%、「健康診査を受ける」が44.3%となっており、栄養・食生活と身体活動・運動の分野が市民の意識でも生活習慣病の予防策として意識が高くなっています。



出典：平成14年度いきいき健康プランにっしん21 アンケート調査結果

3. ヒアリングから見た市民の健康意識・取り組み

(1) 調査目的

市民の健康状態の実態は、統計的データの分析やアンケート調査の分析のみでは把握しづらいため、ヒアリング調査を実施しました。ヒアリング調査は、職域における保健活動や健康づくりへの取り組みとしては市内の企業を対象に、また、本市において健康に密接に関係した活動をしているボランティア団体を対象に、実施しました。さらに、学校保健の領域としては市内の小学校・中学校全校の養護教諭を対象に意見収集を実施しました。

いきいき健康プランにっしん21の計画策定において、市民の健康状態の把握と計画における施策立案のための基礎資料として実施しました。

(2) 調査対象

ヒアリング調査では、対象者ごとにヒアリング項目について検討を行い、事前にシートを配布したうえで、その項目に従い実施しました。

1) 企業A（自動車部品の製造、機械加工会社）

調査時期・場所・人数

平成15年7月 企業A 参加者3名

会社概要

従業員数：正社員314名、パート・派遣社員12名、その他含め、計380名
勤務形態、労働時間：正社員（日勤者）8時00分～17時00分 生産ライン 8時間2交替制

健康管理者の状況：非常勤1名（健康診断、健康相談等の実施）

専用の健康増進施設：食堂内に卓球台、パターゴルフの練習用具

2) 企業B（システム・エンジニアリング、ソフトウェア開発会社）

調査時期・場所・人数

平成15年7月 企業B 参加者2名

会社概要

従業員数：(正社員のみ) 男性 620 名、女性 160 名
勤務形態、労働時間：正社員（日勤者）8 時 30 分～17 時 30 分
（フレックス・タイム、裁量労働制）
健康管理者の状況：非常勤 1 名（健康診断・健康相談等の実施）
専用の健康増進施設：フィットネス・ルーム、敷地外にはグラウンド、テニスコートがある

3) 団体名：ハッピーマップ

調査時期・場所・人数

平成 15 年 6 月 中央福祉センター 参加者 10 名

団体概要

バリアフリーマップとして「ハッピーマップ '95」及び「ハッピーマップ 2001」の作成を手がけ、障害のある人の有志とそれを支える一般市民によるボランティア団体として活動しており、マップ作成以外にも本市の福祉活動にも数多く参画しています。

4) 団体名：ゆったり工房

調査時期・場所・人数

平成 15 年 8 月 ゆったり工房 参加者 13 名

団体概要

日進市、東郷町、豊明市に在住の心の病を持った人たちが、医療機関の援助を受けながら、生活訓練、作業訓練を通じて地域で生活する場、社会参加の場として 1996 年 4 月に開所しました。現在は 20 名のメンバーが通所しています。

5) 団体名：商工会女性部

調査時期・場所・人数

平成 16 年 3 月 保健センター 参加者 4 名

団体概要

市商工会の女性部会。定期的に勉強会「商い塾」を開催する他、各種活動を行っています。4 年前から、にっしん鳴子踊りを始め、現在では、500～600 人程の市民が、各地域で活躍しています。

6) 養護教諭

調査時期

平成15年7月（ヒアリングシートを配布回収にて実施）

団体概要

日進市内の小学校・中学校全校の養護教諭

(3) ヒアリング調査結果の概要

ヒアリング調査項目・調査結果は、参考資料のヒアリング調査結果を参照

1) 栄養・食生活

企業

- ・食堂のメニューのカロリー・塩分表示を行っている。
(食堂の無人レジで自動的に表示されるが、見る人はあまり多くない)

各種団体

- ・食生活の摂生が必要である。
- ・どのような生活パターン、食生活などが生活習慣病に結びつくか、具体的に伝えるとよいと思う。

2) 身体活動・運動

企業

- ・利用できる施設はあるが、運動する習慣のある人が少ない。

各種団体

- ・無理をせず、できる範囲で運動を行う。
- ・誰でも自然に楽しく元気になれる鳴子踊りに多くの市民が参加している。

3) 休養・心の健康づくり

企業

- ・メンタルケアとして相談窓口を設置している。

各種団体

- ・ストレスをためないように、リフレッシュできるコツを工夫する。
- ・地域のつながりが日進市に必要と思う。

4) たばこ

企業

- ・たばこの分煙・禁煙について実施はしているが、禁煙の徹底は難しい。

各種団体

- ・たばこは体に悪いのにどうして売っているのか？

5) 歯の健康

各種団体

- ・ 歯科への定期的な検診が必要である。
- ・ 歯みがきの習慣を徹底する。

6) 生活習慣病

企業

- ・ 定期健診を実施している。
- ・ 年 1 回、全社員に健康保険組合の「健康のしおり」配布による情報発信をしている。

各種団体

- ・ 市町村や健康保険組合の検診を受けている。
- ・ 自分が現在どのような生活をしているか気づくことが大切である。

7) 健やか親子・母子保健

栄養・食生活

- ・ 手軽に食べられるファーストフードやコンビニの食べ物によって、生活習慣病への移行が危惧される。
- ・ 食生活の乱れが問題となっている。(偏食や朝食の欠食)

身体活動・運動

- ・ 外遊びの必要性を感じないのか、外で遊べる時間に習い事や塾に行くためか、外遊びをする時間がない子が多い。
- ・ パソコン、テレビ、テレビゲームの普及により、外で遊ぶのではなく、家で遊ぶことが多い。

休養・心の健康づくり

- ・ 就寝時刻の遅さが気になる。(睡眠時間が少ない)
- ・ ゲーム、パソコンの普及により、対人関係の希薄化、コミュニケーション不足になっている。

たばこ・アルコール

- ・親の喫煙・飲酒による子どもへの影響は大きい。
- ・飲酒、喫煙、薬物について正しい知識を子どもたちに伝えることが必要である。

歯の健康

- ・毎日の歯みがきを徹底する。

生活習慣病

- ・子どもの健康づくりは、まず家庭での生活習慣づくりが重要である。

教育

- ・親として子どもの心を理解しようとする姿勢が重要である。
- ・子どもとのコミュニケーションの充実が重要である。

その他

- ・性の逸脱行動が問題になっている。

8) 安全

企業

- ・始業前のラジオ体操（事故防止、健康維持のため）
- ・特にということではないが、工場での作業性の点からも、腰痛などの防止のため、作業台の高さを調節したり、重いものも特殊なキャリアや台車を利用して、女性や高齢者にも配慮している。また作業所内は全館冷暖房が完備となっている。

9) その他

各種団体

- ・ひとり一人が意識して取り組めるようなことができるとよい。
- ・みんなで支え合う健康づくりのプランニングが必要である。
- ・いろいろな活動があっても、積極的な人しか参加しない。

第5章

市民参加による計画 づくり

第5章

市民参加による計画づくり

1. 分野別の健康課題と数値目標

本計画の策定では、市民が主体的に健康づくりに取り組めるよう、市民参加の研究会にて討議を重ねました。

本計画の各論となる第5章及び第6章については、研究会にて討議した流れを踏まえ、以下のとおりに取りまとめを行いました。

◆ 研究会による計画づくりの軌跡 ◆

1 現況調査結果に基づき分野別に健康課題を抽出

2 健康課題の評価指標を目標項目として整理

3 国や県の指標と比較しつつ、目標項目を細分化

4 重点的に取り組むべき目標項目の順位づけ

5 目標項目について、数値目標を設定

第5章「市民参加による計画づくり」

6 ライフステージ別に市民と周囲の取り組むべき行動を設定

7 市民の取り組みのスローガンとしてめざすべき姿を設定

第6章「市民・周囲の取り組みとめざすべき姿」

第6章

市民・周囲の取り組みとめざすべき姿

第6章 市民・周囲の取り組みとめざすべき姿

1. 分野別・ライフステージ別の取り組みとめざすべき姿

ライフステージに合わせた健康づくりを進めるため、9分野別・ライフステージ別にスローガンとなる「めざすべき姿」を掲げ、「個人の取り組みの方向」と「行政・健康関連団体等周囲の取り組みの方向」を示しました。

9分野の「めざすべき姿」は以下のとおりです。

栄養・食生活	心と体に健康な食事を
身体活動・運動	自分流の活動・運動を
休養・心の健康づくり	心にゆとりと栄養を
たばこ	禁煙は百利あって一害なし
アルコール	適量、適切な飲酒
歯の健康	みんなで「噛んで食べる喜び」 を感じられるおいしい食事、楽しい会話で充実人生
生活習慣病	いきいき、元気、長生き
健やか親子・母子保健	すこやかなところとからだ
安全	安全は身近なところから

栄養・食生活

1) 妊産婦期・乳幼児期

研究会からの提言による個人の取り組みの方向

めざすべき姿

「正しい食生活のはじめの一步」

《妊産婦期》

- ・妊娠時から高い意識をもち継続しましょう

《乳幼児期》

- ・子どもだけではなく、親も食生活の意識を高めましょう
- ・正しい生活リズムを身につけましょう
- ・朝食にも気を配りながら、三食きちんと食べましょう
- ・子どものおやつ¹の質・量についてしっかり考えましょう

行政・健康関連団体等周囲の支援の方向

《妊産婦期》

- ・妊産婦の栄養指導の充実

《乳幼児期》

- ・保育園・幼稚園を通じた食育の充実
- ・健診、子育て総合支援センター、児童館、育児サークルなどと連携した食育^{*1}の推進

2) 児童期・思春期

研究会からの提言による個人の取り組みの方向

めざすべき姿

「バランスの良い食事で、バランスの良いからだづくり」

- ・子どもだけではなく、親も食生活の意識を高めましょう
- ・早寝を習慣づけて、規則正しい生活リズムを心がけましょう
- ・朝食をきちんととり、三食バランスよくしっかり食べましょう
- ・無理なダイエットはしないようにしましょう
- ・食事・健康の知識について興味を持ち、考えましょう
- ・家族と楽しく会話をしながら食事をしましょう

行政・健康関連団体等周囲の支援の方向

- ・正しい食生活・栄養について学習する場の充実
- ・親や子どもを対象にした調理・料理教室の充実
- ・学校給食を通じた食育の充実
- ・体型や適正体重について正しい知識の普及啓発

* 1 食育とは、食に対する正しい知識を身につけ、食を通じ、子どもの健全な育成を図ることを指します。

栄養・食生活

3) 青年期・壮年期・高齢期

研究会からの提言による個人の取り組みの方向

めざすべき姿（青年期）

「食に関心を持ち、三食しっかり食べる生活」

めざすべき姿（壮年期）

「体に良い食生活へのチャレンジ」

めざすべき姿（高齢期）

「心と体においしいごはんを」

- ・食事に対する関心を持ちましょう
- ・規則正しい生活を心がけましょう
- ・朝食をきちんと食べましょう
- ・夜食は控えましょう
- ・脂っこい食べ物は少なくしましょう
- ・塩分を控え、薄味を心がけましょう
- ・野菜を多くとるよう、心がけましょう
- ・体重や体脂肪のチェックをまめに行いましょう
- ・適正体重の維持に心がけましょう

行政・健康関連団体等周囲の支援の方向

- ・栄養バランスについて、正しい知識の提供
- ・職場等の食堂で、栄養の知識に関する情報提供
- ・職場、学校で講演会、栄養教室の実施
- ・各年代にあわせた料理教室などの開催
- ・低カロリーの外食、ヘルシーメニューなどの提供
- ・適正体重の認識、肥満や生活習慣病の予防についての情報提供

身体活動・運動

1) 妊産婦期

研究会からの提言による個人の取り組みの方向

めざすべき姿

「スマート*に産み育てよう」

・意識して適度な身体活動・運動に心がけましょう

*) 出産前後の適正体重を維持しよう

行政・健康関連団体等周囲の支援の方向

・産婦人科医や市の教室などで体を意識的に動かせるよう、軽い体操などの情報提供

2) 乳幼児期

研究会からの提言による個人の取り組みの方向

めざすべき姿

「親子共に友達づくり」

・外遊びで親子のコミュニケーションを図りましょう

行政・健康関連団体等周囲の支援の方向

・屋外で安心して遊べる公園の整備や交通安全などの環境づくり
・歩きやすい環境の整備

身体活動・運動

3) 児童期・思春期

研究会からの提言による個人の取り組みの方向

めざすべき姿 (児童期)

「地べたで遊ぼう」

めざすべき姿 (思春期)

「運動習慣をもとう」

- ・子どもに積極的に運動をさせてみましょう
- ・家の中での遊び以外に、外遊びもしましょう
- ・スポーツに取り組み、汗を流して、体を動かす楽しさを知りましょう
- ・体を動かすための時間をとりましょう

行政・健康関連団体等周囲の支援の方向

- ・屋外で安心して遊べる環境づくり、公園の整備
- ・学校教育の中でも遊び心を含んだ運動の取り組みの実施
- ・学校以外での運動についての情報提供・支援

身体活動・運動

4) 青年期・壮年期・高齢期

研究会からの提言による個人の取り組みの方向

めざすべき姿 (青年期)

「生活習慣病の芽を出さない」

めざすべき姿 (壮年期・高齢期)

「物事は八分目で、身体に合った運動を」

- ・自分の好きな、自分にあった運動を見つけましょう
- ・身近な場所で長続きする運動を見つけましょう
- ・歩く事や運動習慣を身につけましょう
- ・意識して歩くことに心がけましょう
- ・一緒に運動をする友達をつくりましょう
- ・積極的に外出するように心がけましょう
- ・地域活動に積極的に参加しましょう
- ・1年に1度は体力チェックをしましょう
- ・生涯現役を心がけましょう

行政・健康関連団体等周囲の支援の方向

- ・気軽に利用できるスポーツ施設や公園等の利用促進
- ・運動等の事故防止のための情報提供
- ・定期的な健診や体力チェックの機会づくりの推進
- ・参加したい人のニーズにあった情報提供
- ・民間・公共運動施設との連携
- ・運動に関する指導者の養成
- ・運動メニューの作成支援
- ・地域主体の運動活動の取り組みの支援
- ・職場での休憩タイムの奨励、ラジオ体操・ストレッチ体操等の普及啓発等、職場での健康づくりの推進
- ・職場での自転車や徒歩の利用促進
- ・育児中の女性に対する託児付きの運動教室などの開催
- ・高齢者が利用しやすい場の提供
- ・高齢者のための地域活動、交流の場の確保
- ・高齢者の転倒予防教室などの開催

休養・心の健康づくり

1) 妊産婦期・乳幼児期

研究会からの提言による個人の取り組みの方向

めざすべき姿 (妊産婦期)

「子育てを楽しめる お父さん・お母さん」

めざすべき姿 (乳幼児期)

「地域のみんなから愛され、健やかに育つ子ども」

《妊産婦期》

- ・相談相手や援助してくれる人を持ちましょう
- ・母親教室や育児教室に参加しましょう
- ・心身の健康について留意しましょう
- ・働く妊産婦のための制度を十分に利用しましょう

《乳幼児期》

- ・相談相手や援助してくれる人を持ちましょう
- ・基本的な生活習慣(睡眠・生活リズム)に気をつけましょう
- ・親の生活習慣や意識が子どもに影響することを意識しましょう
- ・「地域ではぐくむ子育ての輪」づくりの拠点である「にっしんファミリーサポートセンター」のシステムを活用しましょう

行政・健康関連団体等周囲の支援の方向

- ・基本的な生活習慣に対する親の意識を高める教育・情報提供
- ・保健センターや子育て総合支援センターなどの事業の充実と連携
- ・父親の育児参加に対する支援
- ・安心して屋外で遊べる環境の整備
- ・医療機関など相談できる場の整備
- ・働く妊産婦のための環境整備、職場の理解の促進

休養・心の健康づくり

2) 児童期・思春期

研究会からの提言による個人の取り組みの方向

めざすべき姿

「心も身体も元気いっぱい」

- ・ 基本的な生活習慣（睡眠・生活リズム）を確立しましょう
 - ・ 健康に対する意識・生活習慣の改善に心がけましょう
 - ・ 携帯電話・インターネットなどのメディアから正しい情報を選択し、行動できる能力をつけましょう
- 《保護者》
- ・ 子どもとのコミュニケーションに心がけ、健康面にも配慮しましょう
 - ・ 子どもに適切なストレスの解消法を身につけさせましょう
 - ・ 子どもを取りまく環境にも注意を払い、適切な人間関係、コミュニケーションを学ばせましょう

行政・健康関連団体等周囲の支援の方向

- ・ 子どもにコミュニケーションを学ばせる機会や教育の充実
- ・ 困ったときに気軽に相談できる体制の整備
- ・ 子どもたちが遊べる場や、地域の人と一緒に集える場づくり
- ・ 学校・家庭・地域の協力による教育の場の充実
- ・ 専門家が常に学校と連携できるようなネットワークづくりの推進
- ・ 相談機関の充実と情報提供

休養・心の健康づくり

3) 青年期・壮年期・高齢期

研究会からの提言による個人の取り組みの方向

めざすべき姿（青年期・壮年期）

「心にゆとりを持ち、自分のために、目標・やりたいことを持てる人」

めざすべき姿（高齢期）

「閉じこもらず、みんなとふれあい、元気な生活」

《青年期・壮年期・高齢期》

- ・ゆとりをもった生活づくりに心がけましょう
- ・気分転換の方法や適切な休養の取り方を知りましょう
- ・仲間と楽しめる運動や趣味を見つけましょう
- ・相談相手を見つけましょう

《高齢期》

- ・時間的な余裕を有効に活用し、閉じこもらないように、多くの人との交流に心がけましょう

行政・健康関連団体等周囲の支援の方向

- ・心の健康についての知識の普及啓発
- ・困ったとき気軽に相談できる体制の整備
- ・精神科医を気軽に受診できる環境づくり
- ・身近な医療機関で心の相談ができる体制づくり
- ・運動・趣味のサークルづくりを支援
- ・職場等において休暇の取れる体制の整備
- ・高齢者と若い人との世代間交流の場の提供
- ・地域にある公民館・集会所の活用、集会所までの交通手段の工夫・確保

たばこ

1) 妊産婦期・乳幼児期

研究会からの提言による個人の取り組みの方向

めざすべき姿

「たばこの煙は吸わない、吸わせない」

- ・妊娠中、出産後は禁煙しましょう

行政・健康関連団体等周囲の支援の方向

《妊産婦期》

- ・夫・家族に対して、喫煙が及ぼす妊婦・胎児への影響について指導・情報提供
- ・医療従事者による指導・認識が重要（初診時にチェックを受け、妊娠前期に禁煙が徹底できればスムーズに止められ、アフターケアもできる）

《乳幼児期》

- ・子どものいるところでたばこを吸わないよう、家庭内での禁煙・分煙の普及啓発

2) 児童期・思春期

研究会からの提言による個人の取り組みの方向

めざすべき姿

「たばこは、絶対だめだと言える子ども」

- ・家庭で禁煙教育を行いましょう
- ・喫煙が体に及ぼす影響について知りましょう
- ・未成年は絶対に喫煙をしないようにしましょう

行政・健康関連団体等周囲の支援の方向

- ・学校での禁煙教育の推進
(喫煙が社会でどういう認識がもたれているかという点まで含めた指導)
- ・教職員は、子どもの前で喫煙しない
- ・未成年に喫煙の機会を与えないような地域づくり
- ・家庭での子ども・親を含めた禁煙教育の充実

たばこ

3) 青年期・壮年期・高齢期

研究会からの提言による個人の取り組みの方向

めざすべき姿

「禁煙・分煙の完全実施」

- ・家庭や職場、公共の場では、禁煙・分煙に取り組みましょう
- ・喫煙が体に及ぼす影響について知りましょう

行政・健康関連団体等周囲の支援の方向

- ・公共の場での禁煙・分煙の徹底
- ・禁煙希望者のために、医療機関や薬局での禁煙サポートなどの指導・啓発
- ・義務的ではなく、健康上の必要性から禁煙できるような情報提供
- ・禁煙・分煙の取り組みや活動の支援

アルコール

1) 妊産婦期・乳幼児期

研究会からの提言による個人の取り組みの方向

めざすべき姿

「お酒を飲まない、飲ませない」

- ・胎児への影響もあるので妊娠中は飲酒をひかえましょう
- ・アルコール量などの正確な知識を得ましょう
- ・授乳期間中は飲酒をやめましょう
- ・子どもにお酒を飲ませないようにしましょう
- ・子どもが誤ってお酒を飲まないよう気をつけましょう

行政・健康関連団体等周囲の支援の方向

- ・妊娠中、授乳時など胎児への影響についての教育
- ・適切なアルコール量などの正しい知識、情報の提供

2) 児童期・思春期

研究会からの提言による個人の取り組みの方向

めざすべき姿

「未成年の飲酒は絶対だめと言える子ども」

- ・未成年は絶対に飲酒をしないようにしましょう
- ・飲酒が体に及ぼす影響について知りましょう
- ・家庭での禁酒教育を行いましょう

行政・健康関連団体等周囲の支援の方向

- ・未成年者に対する飲酒の害についての指導・啓発
- ・家庭や学校、地域での禁酒教育の推進
- ・未成年に気軽に飲酒の機会を与えないように、お酒を出さない、買わせない周囲の取り組みの支援

アルコール

3) 青年期・壮年期・高齢期

研究会からの提言による個人の取り組みの方向

めざすべき姿

「適度な節度ある飲酒に心がける人」

- ・アルコール以外にも趣味などストレス解消法を見つけましょう
- ・多量飲酒による体への影響を知りましょう
- ・未成年の飲酒を容認しないようにしましょう
- ・週2日は休肝日をとりましょう

行政・健康関連団体等周囲の支援の方向

- ・節度ある適度な飲酒の啓発・情報提供
- ・休肝日を持つことの重要性についての啓発
- ・健康診査の受診勧奨（肝機能検査）

歯の健康

1) 妊産婦期・乳幼児期

研究会からの提言による個人の取り組みの方向

めざすべき姿

「むし歯なし きれいなお口で元気な親子」

《妊産婦期》

- ・ 歯科健診を受けましょう
- ・ 歯みがきをしましょう
- ・ バランスのとれた食生活（内容・回数）に心がけましょう
- ・ うがいをしましょう
- ・ 糖分の少ない飲み物を取りましょう
- ・ 食事の時に茶を飲む習慣を作りましょう

《乳幼児期》

- ・ 1歳半児、3歳児などの歯科健診を受けましょう
- ・ 効果的な方法で乳幼児の歯の仕上げみがきを行いましょう
- ・ おやつ回数を決め、甘い食べ物・飲み物は控えましょう
- ・ よく噛んで食べる習慣を身につけましょう（顎の発達、唾液の分泌）
- ・ 永久歯のために栄養・バランスのとれた食事をしましょう

行政・健康関連団体等周囲の支援の方向

《妊産婦期》

- ・ 妊産婦期の歯科健診の体制整備
- ・ 妊産婦期の食生活が胎児に与える影響について正しい知識の普及・啓発
- ・ 妊娠期のむし歯罹患のリスクについての認識

《乳幼児期》

- ・ 歯科健診やフッ素塗布などの普及啓発
- ・ 効果的な歯みがき方法の教育の充実
- ・ 噛みごたえのある食事づくりなど健康な歯と食に関する知識の普及促進
- ・ 口呼吸の影響についての知識の啓発

歯の健康

2) 児童期・思春期

研究会からの提言による個人の取り組みの方向

めざすべき姿

「続けます きちんと食べてしっかり歯みがき」

- ・ かかりつけ歯科医による定期健診を受けましょう
- ・ 歯みがきを習慣づけて、1日1回は必ず時間をかけてみがきましょう
- ・ 歯ブラシを持ち歩きましょう
- ・ むし歯になりやすい食べ物・飲み物、なりにくい食べ物・飲み物の選択が自分で出来るようにしましょう
- ・ 糖分が少ないもの、入っていない飲み物を上手に選びましょう
- ・ 規則正しい食生活を心がけましょう
- ・ 歯肉や口腔内を自分でチェックしましょう

行政・健康関連団体等周囲の支援の方向

- ・ 規則正しい生活習慣を身につけるための教育の充実
- ・ 栄養・バランスのとれた食生活についての情報提供及び教育の充実
- ・ フッ素塗布やフッ素洗口などの推進
- ・ フッ素入り歯みがき剤の使用の普及・啓発
- ・ 親子ともに効果的な歯みがき方法を学べる場の整備
- ・ 学校における食後の歯みがき習慣の定着
- ・ 喫煙と歯周病のかかわりについての知識の普及

歯の健康

3) 青年期・壮年期・高齢期

研究会からの提言による個人の取り組みの方向

めざすべき姿（青年期）

「自分でやります 歯周病予防と歯の管理」

めざすべき姿（壮年期）

「歯みがき・健診・歯抜けなし」

めざすべき姿（高齢期）

「食べるぞせんべい パリパリと 何でも噛んでおいしく食べる」

- ・年に1回は歯科健診を受診しましょう
 - ・かかりつけ歯科医による定期健診を受けましょう
 - ・早期発見、早期予防、適時治療に心がけましょう
 - ・歯周病予防のための歯みがき方法を知り、実行しましょう
 - ・必要に応じて歯間ブラシ・糸ようじを使いましょう
 - ・意識的に口の中を清潔にすることを心がけましょう
 - ・8020をめざしましょう
- 《高齢期》
- ・定期的な歯科健診を受けましょう
 - ・歯みがきの励行に努めましょう
 - ・電動歯ブラシを使ってみましょう
 - ・入れ歯をきれいに手入れしましょう
 - ・自分にきちんと合った入れ歯を使いましょう

行政・健康関連団体等周囲の支援の方向

- ・定期的な歯科健診の受診勧奨
- ・歯周病の予防についての情報提供
- ・8020運動に向けた具体的な取り組みの推進
- ・喫煙と歯周病の関わりについての知識の普及啓発

生活習慣病

1) 青年期・壮年期・高齢期

個人の取り組みの方向

めざすべき姿

「いきいき、元気、長生き」

- ・塩分や脂肪分に気をつけ、バランスのよい食事を心がけましょう
- ・緑黄色野菜をしっかりとりましょう
- ・多量飲酒や喫煙に注意しましょう
- ・自分の適正体重の維持につとめましょう
- ・日常生活の中でも意識的に身体を動かしましょう
- ・定期的に健康診査を受けましょう
- ・かかりつけ医やかかりつけ薬局を持ちましょう

行政・健康関連団体等周囲の支援の方向

- ・生活習慣病に関する正しい知識の普及啓発
- ・生活習慣病に関する健康教室等の開催などの指導・教育の充実
- ・健康診査の受診率向上と疾病の早期発見の推進
- ・カロリー・栄養成分表示をしている飲食店の定着と促進
- ・身近な健康相談の場の充実

健やか親子・母子保健

1) 妊産婦期・乳幼児期・児童期・思春期

個人の取り組みの方向

めざすべき姿

「すこやかなところとからだ」

《妊産婦期》

- ・妊婦健康診査を受けましょう
- ・喫煙や飲酒が胎児に及ぼす影響を知り、妊娠中や授乳期間中は、たばこやアルコールをやめましょう

《乳幼児期》

- ・家族や配偶者にも育児に協力してもらいましょう
- ・なるべく母乳で育てましょう
- ・予防接種、健診を受けましょう
- ・むし歯予防に取り組みましょう

《児童期・思春期》

- ・薬物や性について正しい知識を持ちましょう
- ・タバコ・アルコール・薬物などを勧められても断ることができるようになりましょう
- ・薬物は絶対にやめましょう

行政・健康関連団体等周囲の支援の方向

《妊産婦期》

- ・妊娠中の健康管理のための体制整備及び情報提供
- ・妊産婦の飲酒・喫煙の害についての指導・啓発

《乳幼児期》

- ・育児不安を持つ保護者に対する支援の充実
- ・予防接種・健診体制の整備
- ・適切な育児情報の提供

《児童期・思春期》

- ・薬物の害についての指導の推進
- ・学校・地域・家庭が協力し、健康教育を推進
- ・父親・家族の育児参加に対する支援の充実

安全

1) 乳幼児期・児童期・思春期・青年期・壮年期・高齢期

個人の取り組みの方向

めざすべき姿

「安全は身近なところから」

《乳幼児期》

- ・乳児期のうつぶせ寝をさせないようにしましょう
- ・頭や体をはげしく揺さぶらないように気をつけましょう
- ・子どもの誤飲事故を防ぎましょう
- ・子どもの前で喫煙しないようにしましょう
- ・家の中の事故防止対策に取り組みましょう
- ・車に乗せるときはチャイルドシートを着用しましょう

《児童期・思春期》

- ・危ない事柄に対する認識と判断能力を養いましょう
- ・周囲の人に助けを呼べる力をつけましょう
- ・交通安全に自ら気をつけましょう

《青年期～高齢期》

- ・交通安全に自ら取り組みましょう
- ・転倒予防のための体力づくりをしましょう
- ・転倒予防のための住居の環境整備をしましょう

行政・健康関連団体等周囲の支援の方向

《乳幼児期》

- ・SIDS*¹ 予防や事故防止の情報提供
- ・母親教室や乳幼児健診などの機会での安全についての普及啓発
- ・関係機関との連携による子育て中の家庭の防災教育、情報提供

《児童期・思春期》

- ・家庭や学校、地域、関係機関が協力して子どもたちの安全対策に取り組む体制づくり
- ・危険箇所のチェックと公表による情報提供

《青年期・壮年期・高齢期》

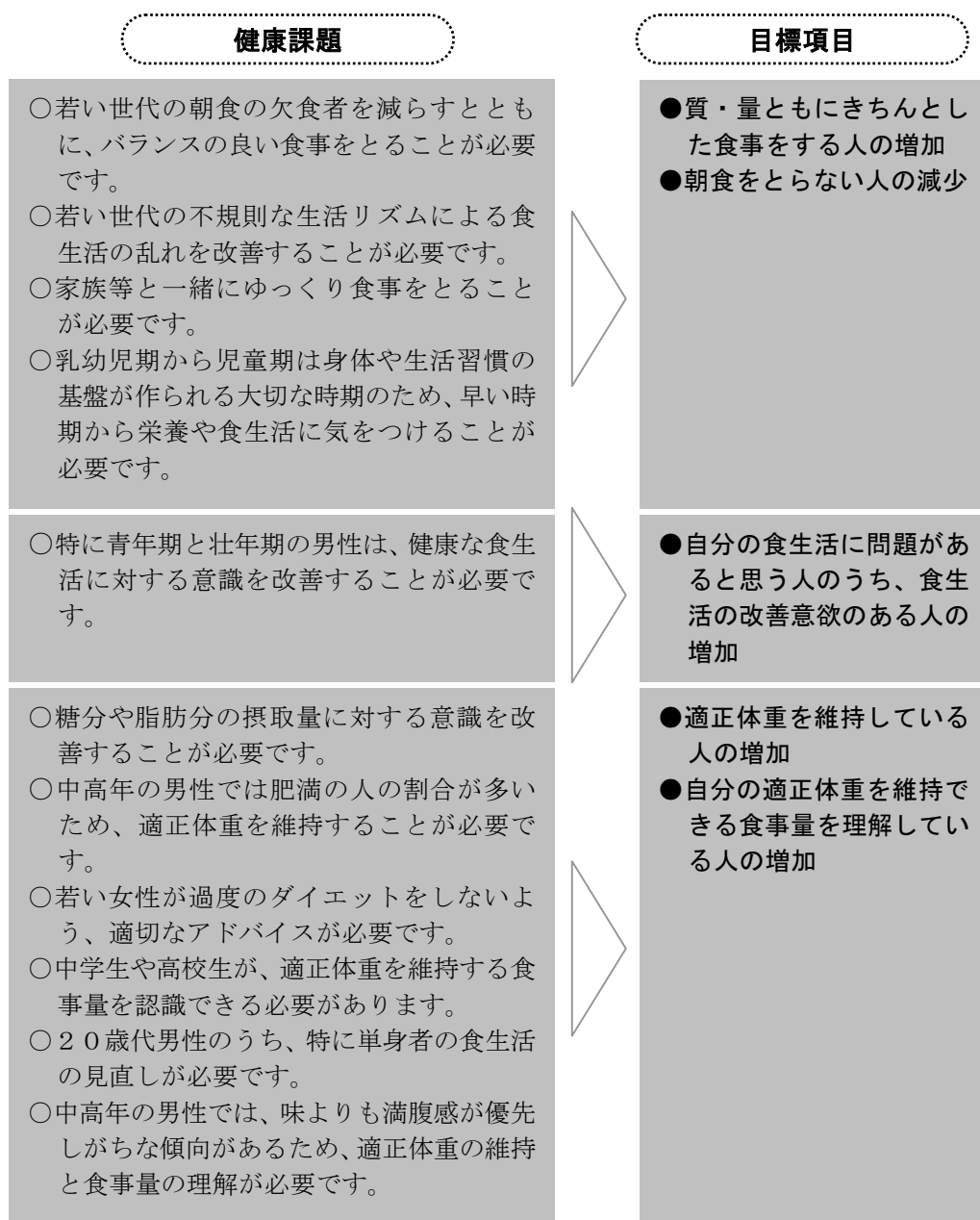
- ・転倒予防教室などの機会の提供
- ・地域や職場での救急法の習得や防災教育などの情報提供体制づくり
- ・地域、職場、関係機関が協力し防災教育の普及

* 1 SIDSとは、(Sudden Infant Death Syndrome: シズ) 乳幼児突然死症候群のことで、それまで元気だった乳幼児が事故や窒息でなく、眠っている間に突然死してしまう病氣。

栄養・食生活

食生活は、がん、脳卒中、心臓病、糖尿病などの生活習慣病の発症と密接な関係があり、子どもたちの成長や人々が健康な生活を送るために大切な要素の一つです。そのため、適正な栄養素（食物）の摂取が重要となります。

1) 健康課題の抽出と目標項目の設定



栄養・食生活

2) 目標項目と数値目標の設定

目標項目（指標）	対象	現状値	目標値
● 質・量ともにきちんとした食事をする人の増加			
1日最低1食、主菜と副菜のそろった食事を家族や友人と楽しく、30分以上かけてとる人の増加	成人	33.3%	70%以上
	中学生*	34.1%	70%以上
	高校生*	22.5%	70%以上
朝食を誰かと一緒に食べている人の割合	小学3年生*	71.5%	90%以上
	小学6年生*	64.6%	90%以上
	就園児保護者*	79.4%	90%以上
子どもの栄養のことを考えて調理したり、食事を選択する人の割合の増加	乳幼児保護者*	88.7%	100%
	就園児保護者*	89.3%	100%
● 自分の食生活に問題があると思う人のうち、食生活の改善意欲のある人の増加			
改善意欲のある人の割合	成人男性	36.5%	80%以上
	成人女性	55.5%	80%以上
	高校生*	40.5%	80%以上
● 適正体重を維持している人の増加			
肥満者の減少（ローレル指数* ¹ 160以上）	小学3年生*	5.2%	1.7%以下
	小学6年生*	2.6%	1.7%以下
	中学生*	2.5%	1.7%以下
肥満者の減少（BMI* ² 25.0以上）	成人男性	24.7%	15%以下
	成人女性	9.7%	9.7%以下
やせすぎ者の減少（BMI 18.5未満）	女性20歳代	21.6%	14%以下
● 朝食をとらない人の減少			
欠食をする者の割合の減少	中学生	5.1%	0%
	高校生	7.1%	0%
	男性20歳代	24.4%	15%以下
● 自分の適性体重を維持できる食事量を理解している人の増加			
理解している人の割合	成人男性	40.0%	80%以上
	成人女性	51.8%	80%以上
	中学生*	8.7%	17.4%
	高校生*	12.2%	24.4%

* 国や県では対象としていないライフステージですが、日進市では、重点的に取り組むべき目標としてライフステージの拡大をして数値目標を設定しました

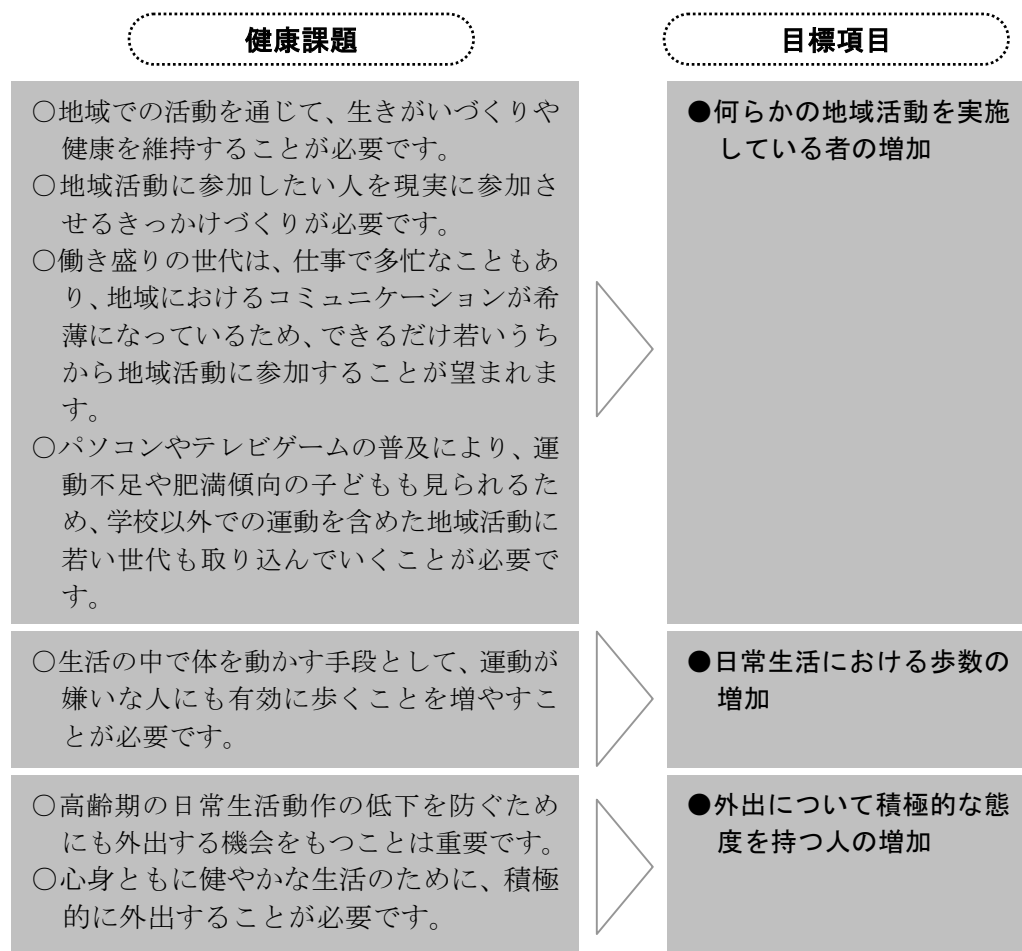
*1 児童・生徒の肥満指標はローレル指数で算出し、児童体重（kg）÷身長（cm）³×10⁷ 100以下（やせすぎ）101～115（やせぎみ）116～144（普通）145～159（太りぎみ）160以上（太りすぎ）

*2 「BMI」とは、Body Mass Indexの略で成人向けの肥満度を表す指数であり、体重（kg）÷{身長（m）}²にて算出できます。判定指数は、22が標準で、18.5未満がやせ、25以上が肥満となっています。

身体活動・運動

子どもが外で遊ぶ機会や成人の歩く機会の減少など、各年代とも日常生活の中での運動習慣が少なくなっています。適度な身体活動や運動は、肥満や生活習慣病の予防につながるとともに、ストレスの解消など、心の健康を維持していくためにも大切です。

1) 健康課題の抽出と目標項目の設定



身体活動・運動

2) 目標項目と数値目標の設定

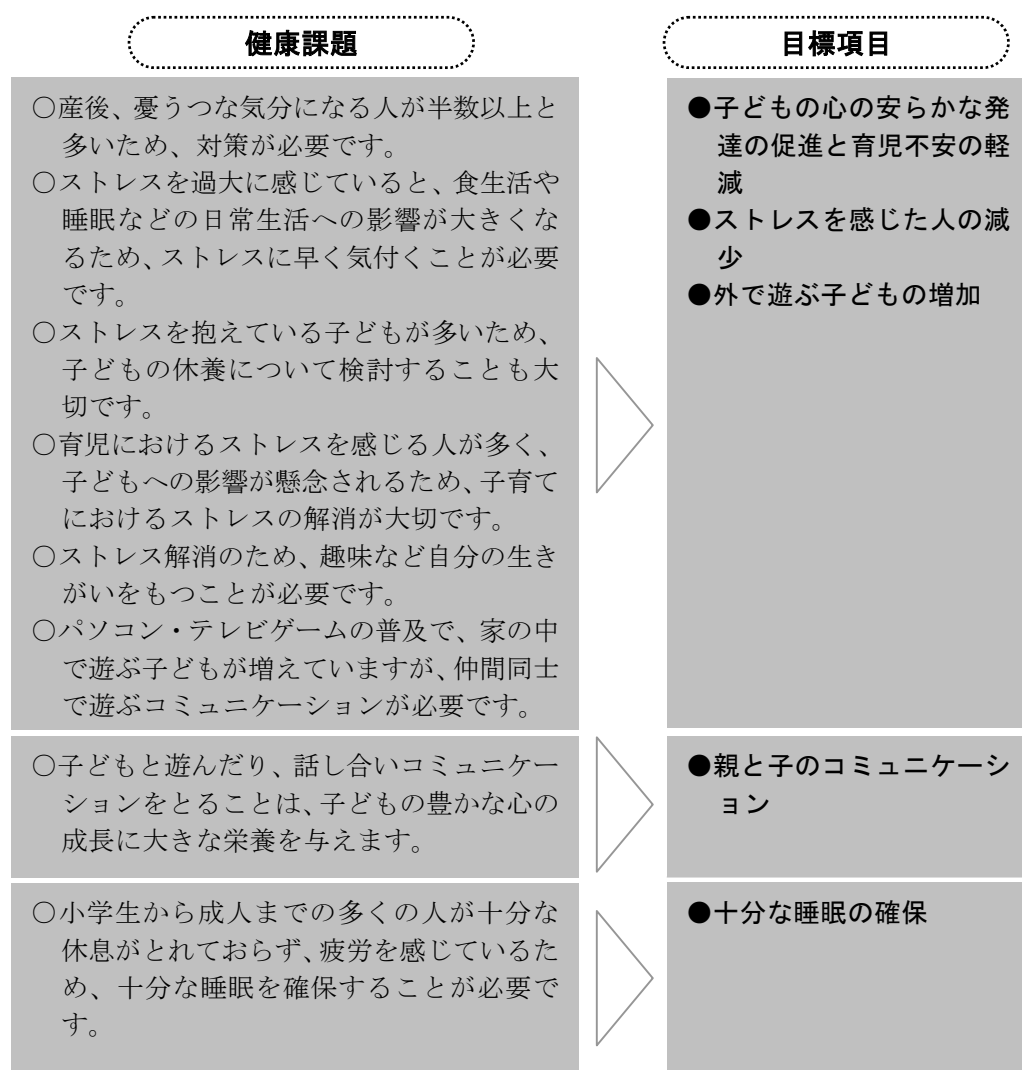
目標項目（指標）	対象	現状値	目標値
● 何らかの地域活動を実施している者の増加			
地域活動を実施している人	男性 60 歳以上	30.0%	58%以上
	女性 60 歳以上	31.5%	50%以上
	成人男性*	38.3%	48.3%
	成人女性*	64.6%	74.6%
	中学生*	82.0%	92.0%
	高校生*	57.2%	67.2%
● 日常生活における歩数の増加			
日常生活における歩数	成人男性	6567 歩	8700 歩以上
	成人女性	6272 歩	8300 歩以上
● 外出について積極的な態度を持つ人の増加			
外出について積極的な態度を持つ人	男性 60 歳以上	68.6%	68.6%以上
	女性 60 歳以上	72.8%	72.8%以上

* 国や県では対象としていないライフステージですが、日進市では、重点的に取り組むべき目標としてライフステージの拡大をして数値目標を設定しました

休養・心の健康づくり

現代社会では、学校、職場、家庭などにおいて人間関係は多様化しており、様々なストレスを生じさせています。過度のストレスを抱えていると精神的に影響があるだけでなく、身体的な影響につながります。心の健康を保つには、十分な休養をとりつつ、ストレスの対処の仕方を身につけていくことが必要です。

1) 健康課題の抽出と目標項目の設定



休養・心の健康づくり

2) 目標項目と数値目標の設定

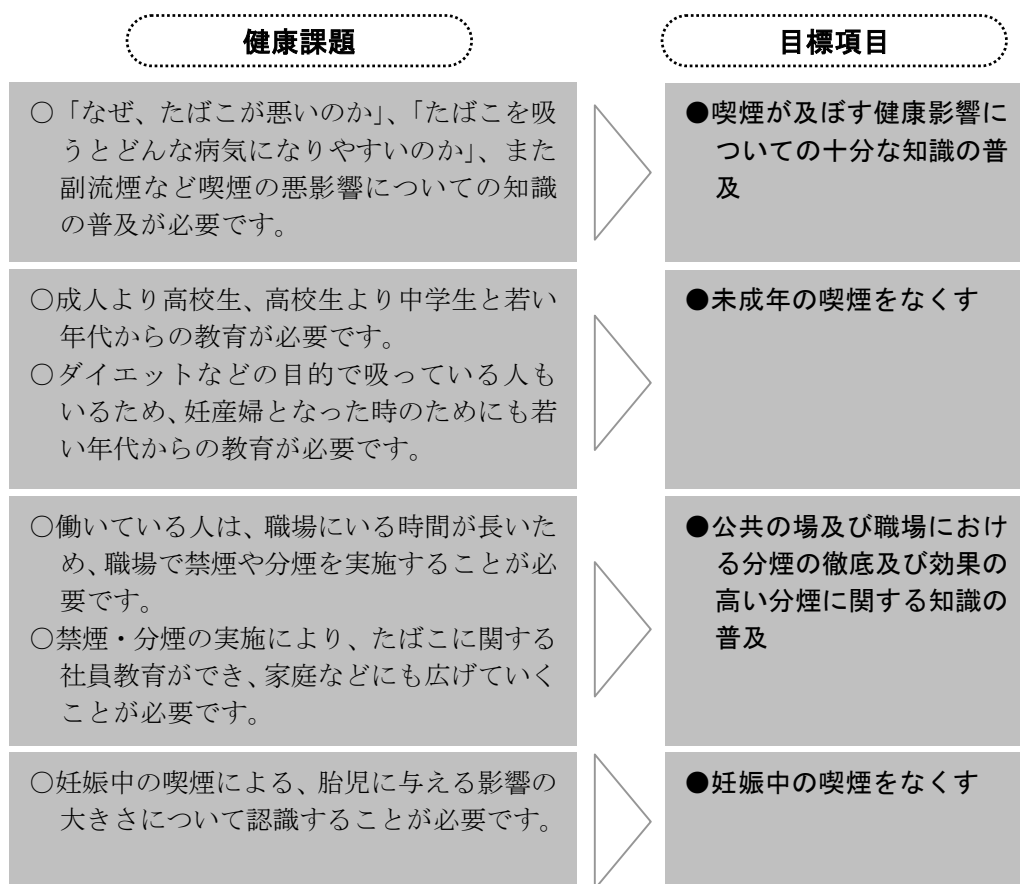
目標項目（指標）	対象	現状値	目標値
● 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減			
子どもに対して、家族の誰かが怒鳴ったり、叩いたりする、無視してしまうことがある割合の減少	就園児保護者	20.0%	減少傾向へ
産後、気分が落ち込んだり、憂うつな気分になった者の割合の減少	乳幼児保護者	56.3%	減少傾向へ
子育てにストレスを感じる人がいる人の割合の減少	乳幼児保護者* 就園児保護者*	33.8% 26.7%	減少傾向へ
● ストレスを感じた人の減少			
ストレスを感じた人の割合の減少	成人	77.3%	62%以下
	勤め人	86.6%	43%以下
	中学生*	79.6%	69.6%以下
	高校生*	85.0%	75.0%以下
ストレスを大いに感じる人の割合の減少	中学生*	33.7%	23.7%以下
	高校生*	42.2%	32.2%以下
趣味のある人の増加	成人	70.0%	80%以上
● 親と子のコミュニケーション			
子どもとよく一緒に遊んだり、話したりする者の割合の増加	乳幼児保護者	77.0%	77.0%以上
	小学生保護者*	60.6%	77.0%以上
子どもの話に耳を傾けたり、気持ちをよく理解しようとしている者の割合の増加	乳幼児保護者	76.5%	76.5%以上
	就園児保護者	64.6%	76.5%以上
家族はしっかり話を聞いてくれるという子どもの割合の増加	小学3年生	81.6%	94.1%以上
	小学6年生	94.1%	94.1%以上
	中学生	72.9%	94.1%以上
	高校生	82.7%	94.1%以上
● 十分な睡眠の確保			
睡眠による休養を十分とれていない人の割合の減少	成人	48.6%	44.0%以下
	中学生*	54.8%	44.8%以下
	高校生*	45.7%	35.7%以下
昼間に眠いことがある人の割合	小学3年生	46.1%	36.1%以下
	小学6年生	57.2%	47.2%以下
● 外で遊ぶ子どもの増加			
外で遊ぶ子どもの割合の増加	小学3年生男子*	41.3%	50%以上
	小学3年生女子*	33.3%	50%以上
	小学6年生男子*	37.9%	50%以上
	小学6年生女子*	12.1%	50%以上
子どもが運動不足だと思う保護者の割合の減少	乳幼児保護者*	18.9%	10%以下
	就園児保護者*	14.1%	10%以下

* 国や県では対象としていないライフステージですが、日進市では、重点的に取り組むべき目標としてライフステージの拡大をして数値目標を設定しました

たばこ

たばこは、がん、心臓病、脳血管疾患、呼吸器疾患などの発症に関連があるほか、低出生体重児などの危険因子となっています。本人のみならず、周囲の人々にも受動喫煙による健康への悪影響があることが指摘されています。

1) 健康課題の抽出と目標項目の設定



たばこ

2) 目標項目と数値目標の設定

目標項目（指標）	対象	現状値	目標値
● 喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識の普及			
たばこが体に及ぼす影響を知っている人の割合			
肺がん	成人	97.1%	100%
喘息	成人	56.7%	100%
気管支炎	成人	67.6%	100%
心臓病	成人	36.5%	100%
脳卒中	成人	25.5%	100%
胃潰瘍	成人	20.4%	100%
妊娠に関連した異常	成人	72.0%	100%
歯周病	成人	16.6%	100%
たばこが体に及ぼす影響を知っている人の割合			
肺がん	中学生*	94.6%	100%
	高校生*	97.1%	100%
喘息	中学生*	37.2%	100%
	高校生*	29.8%	100%
気管支炎	中学生*	47.4%	100%
	高校生*	54.4%	100%
心臓病	中学生*	23.9%	100%
	高校生*	16.4%	100%
脳卒中	中学生*	21.8%	100%
	高校生*	14.0%	100%
胃潰瘍	中学生*	14.5%	100%
	高校生*	8.2%	100%
妊娠に関連した異常	中学生*	58.9%	100%
	高校生*	77.8%	100%
歯周病	中学生*	32.9%	100%
	高校生*	18.1%	100%
● 未成年の喫煙をなくす			
喫煙したことがある人の割合	中学生男子	10.9%	0%
	中学生女子	5.8%	0%
	高校生女子	10.6%	0%
● 公共の場及び職場における分煙の徹底及び効果の高い分煙に関する知識の普及			
職場で禁煙や分煙を実施している割合	成人	59.7%	100%
● 妊娠中の喫煙をなくす			
妊娠中の喫煙率	妊婦	0.5%	0%

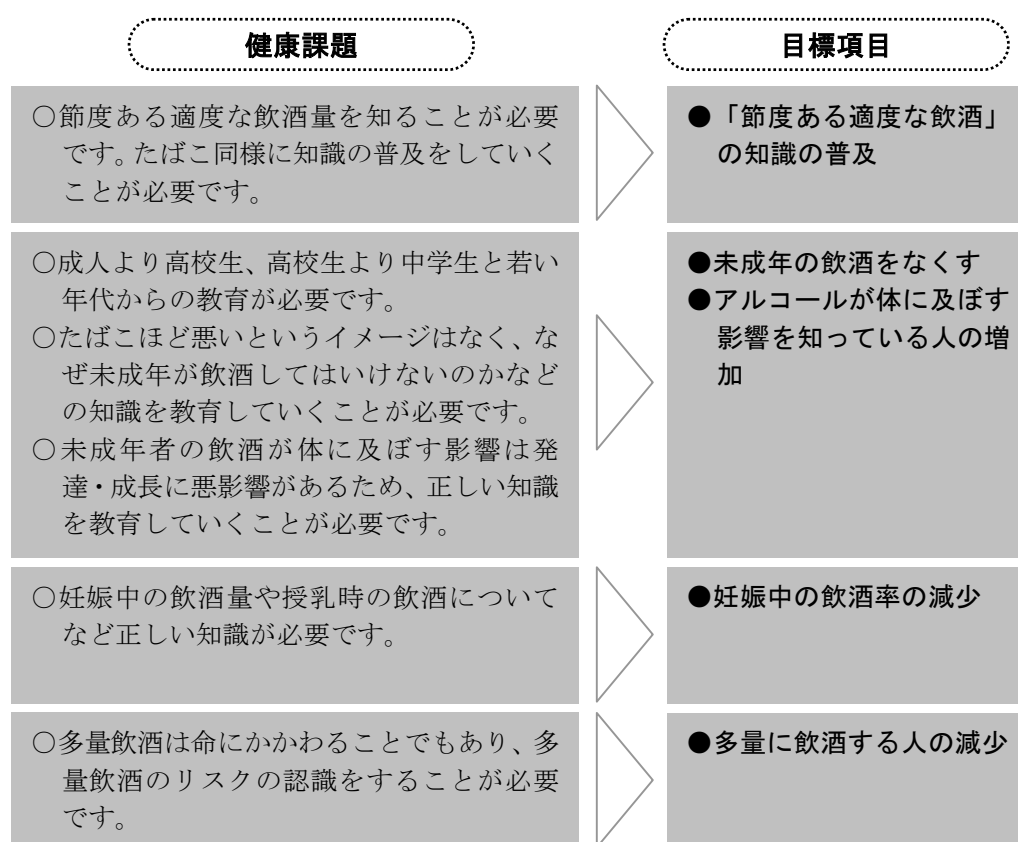
* 国や県では対象としていないライフステージですが、日進市では、重点的に取組むべき目標としてライフステージの拡大をして数値目標を設定しました

アルコール

適度な飲酒は、健康によい影響を与えたり、休養やリラクゼーションなどの効果を持つ一方、過度の飲酒は、肝臓の機能低下、高血圧症、脳血管疾患、神経障害など多くの疾患の原因となります。

飲酒には習慣性があり、アルコール依存症になると、社会への適応力の低下、家庭や周囲などに問題を引き起こすことがあります。

1) 健康課題の抽出と目標項目の設定



アルコール

2) 目標項目と数値目標の設定

目標項目（指標）	対象	現状値	目標値
● 「節度ある適度な飲酒」の知識の普及			
「節度ある適度な飲酒」*1の知識を知っている人の割合	成人男性	26.3%	100%
	成人女性	21.3%	100%
● 未成年者の飲酒をなくす			
飲酒したことがある人の割合	中学生男子	73.7%	0%
	中学生女子	61.7%	0%
	高校生女子	79.1%	0%
● 妊娠中の飲酒率の減少			
妊娠中の飲酒率の減少	妊婦	4.8%	4.8%以下
● 多量に飲酒する人の減少			
多量に飲酒する人の減少	成人男性	2.5%	2.5%以下
	成人女性	0.7%	0.6%以下
● アルコールが体に及ぼす影響を知っている人の増加			
肝臓を悪くするから	中学生*	42.1%	100%
	高校生*	42.8%	100%
発達・成長に悪い影響があるから	中学生*	76.9%	100%
	高校生*	71.7%	100%
急性アルコール中毒になるから	中学生*	43.0%	100%
	高校生*	48.6%	100%

* 国や県では対象としていないライフステージですが、日進市では、重点的に取組むべき目標としてライフステージの拡大をして数値目標を設定しました

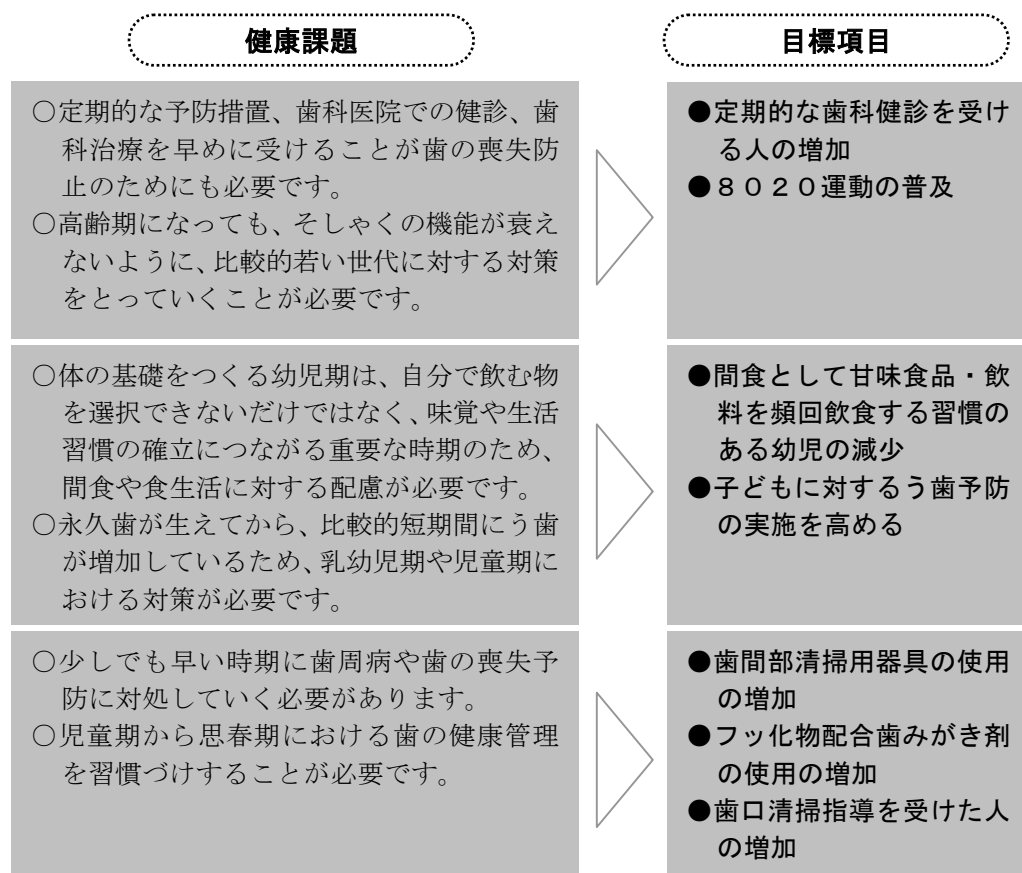
*1 節度ある適度な飲酒とは、1日平均純アルコールで約20g程度の飲酒 注) 主な酒類の換算の目安

お酒の種類	ビール 中ビン1本500ml	清酒 1合180ml	カシネ・ブランデー ダブル180ml	焼酎(35度)	ワイン 1杯120ml
アルコール度数	5%	15%	43%	35%	12%
純アルコール量	20g	22g	20g	50g	12g

歯の健康

歯は、おいしく食べる、会話を楽しむなど、豊かで質の高い生活を送るために欠かせないものです。歯の喪失原因となるう歯（むし歯）や歯周病の発症には、生活習慣が大きく関係しており、乳幼児期から高齢期までのライフステージに応じ、う歯や歯周病の予防を図っていくことが重要です。

1) 健康課題の抽出と目標項目の設定



歯の健康

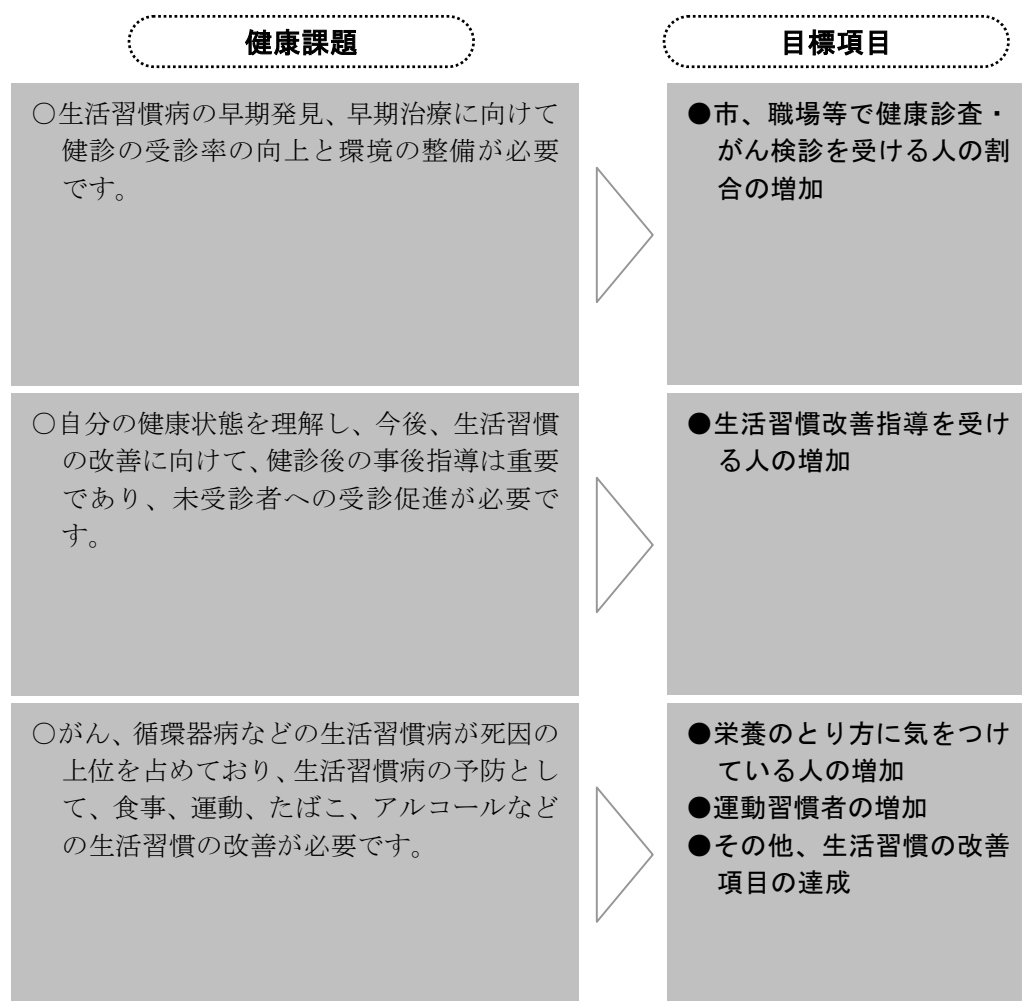
2) 目標項目と数値目標の設定

目標項目（指標）	対象	現状値	目標値
● 定期的な歯科健診を受ける人の増加			
定期的に歯科健診を受けている人の割合	成人	28.6%	28.6%以上
● 間食として甘味食品・飲料を頻回飲食する習慣のある幼児の減少			
おやつ回数に問題がある幼児の割合	1歳6か月児	23.7%	8%以下
おやつ内容に問題がある幼児の割合		35.1%	12%以下
よく飲む飲み物に問題がある幼児の割合		36.9%	20%以下
ジュースなど甘い飲み物を飲む幼児の割合		72.3%	50%以下
● 子どもに対するう歯予防の実施を高める			
一人平均のう歯数の減少	12歳児	1.7歯	1.0歯以下
	5歳児	2.4歯	1.0歯以下
● 歯間部清掃用器具の使用の増加			
使用する人の割合	成人	20.4%	20.4%以上
● 歯口清掃指導を受けた人の増加			
個別的な歯口清掃指導を過去1年間に受けたことのある人の増加	高校生	17.1%	17.1%以上
● 8020運動の普及			
8020運動を知っている人の増加	成人	62.0%	100%
● フッ化物配合歯みがき剤の使用の増加			
フッ化物配合歯みがき剤の使用の割合	中学生	23.4%	90%以上

生活習慣病

糖尿病、循環器疾患、がんなどに代表される生活習慣病は、食生活、運動、ストレス、たばこ、アルコールといった毎日の生活習慣の積み重ねが大きな要因となり、引き起こされることから、前述の6分野における健康づくりを実践していくことで、生活習慣病対策が前進します。さらに一人一人の取り組みを支援する環境の整備が求められます。

1) 健康課題の抽出と目標項目の設定



生活習慣病

2) 目標項目と数値目標の設定

目標項目（指標）	対象	現状値	目標値
● 市、職場等で健康診査・がん検診を受ける人の割合の増加			
基本健康診査受診者の割合	成人	70.9%	70.9%以上
胃がん検診受診者の割合	成人	36.3%	36.3%以上
子宮がん検診受診者の割合	女性	28.1%	30%以上
乳がん検診受診者の割合	女性	23.4%	30%以上
肺がん検診受診者の割合	成人	41.0%	41%以上
大腸がん検診受診者の割合	成人	31.1%	40%以上
● 生活習慣改善指導を受ける人の増加			
基本健診事後指導参加者の割合	基本健診要指導者	47.5%	60%以上
● 栄養のとり方について気をつけている人の増加			
栄養成分表示を参考にしている人の割合	成人	26.8%	26.8%以上
● 運動習慣者の増加			
1年以上継続して、週2回1日30分以上の運動をしている人の割合	成人男性	29.4%	39%以上
	成人女性	22.7%	35%以上
● 日常生活における歩数の増加（身体活動・運動参照）			
日常生活における歩数の増加			
● 適正体重を維持している人の割合（栄養・食生活参照）			
肥満者の減少			
● 喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識の普及（たばこ参照）			
たばこが体に及ぼす影響を知っている人の割合			
● 未成年者の喫煙をなくす（たばこ参照）			
喫煙をしたことがある人の割合			
● 公共の場及び職場における分煙の徹底及び効果の高い分煙に関する知識の普及（たばこ参照）			
職場で分煙している割合			
● 未成年者の飲酒をなくす（アルコール参照）			
飲酒したことがある人の割合			
● 「節度ある適度な飲酒」の知識の普及（アルコール参照）			
「節度ある適度な飲酒」の知識を持っている人の割合			
● 多量に飲酒する人の割合（アルコール参照）			
多量に飲酒する人の割合			
● アルコールが体に及ぼす影響を知っている人の増加（アルコール参照）			
アルコールが体に及ぼす影響を知っている人の割合			

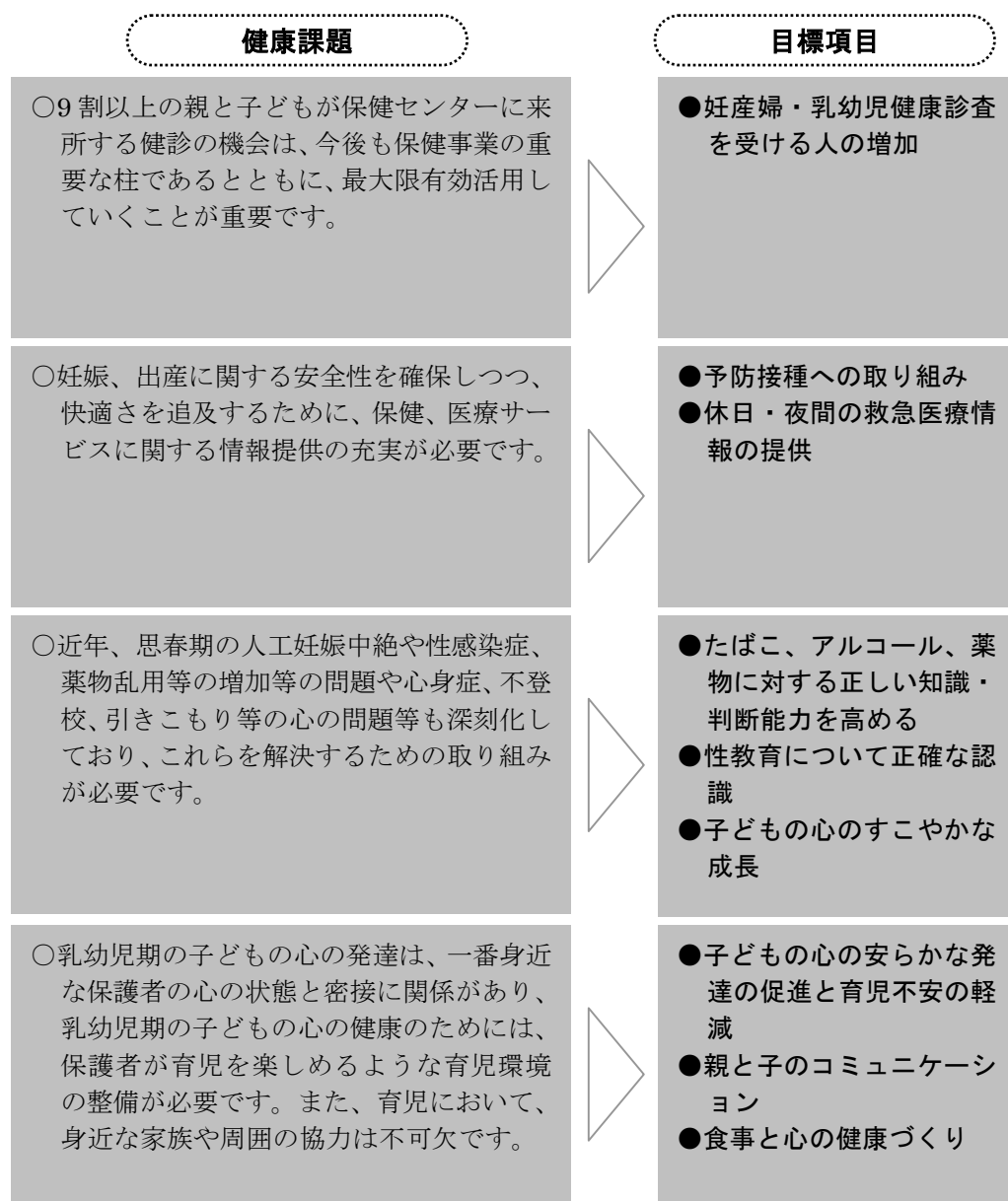
健やか親子・母子保健

母子保健は、生涯を通じた健康づくりのスタートとして、次世代を健やかに生み育て、子どもの生活習慣の基礎を形づくるためにも、大切な分野です。

また、思春期における喫煙、飲酒、薬物乱用、性の逸脱行動、生活習慣病の兆候、いじめ、不登校など心身の健康課題に対応する必要があります。

また、働く女性や子育てに不安や悩みを抱き、孤立している親を支援する体制の整備が求められています。

1) 健康課題の抽出と目標項目の設定



健やか親子・母子保健

2) 目標項目と数値目標の設定

目標項目（指標）	対象	現状値	目標値
● 妊産婦乳幼児健康診査の取り組み			
妊産婦・乳幼児健康診査受診率の向上	妊（産）婦歯科健康診査	19.7%	30%以上
	乳児健康診査	88.5%	100%
	3～4か月児	98.2%	100%
	1歳6か月児	98.3%	100%
	3歳児	96.2%	100%
● 予防接種への取り組み			
1歳6か月までに麻しんを終了している子どもの割合	麻しん	89.0%	95%以上
1歳までにBCGを終了している子どもの割合	BCG	89.0%	95%以上
● 休日・夜間の救急医療情報の提供			
休日・夜間の救急医療情報センターを知っている親の割合	乳幼児保護者	56.5%	100%
	就園児保護者	64.1%	100%
● たばこ、アルコール、薬物に対する正しい知識・判断能力を高める			
たばこを勧められたとき断ることができる子どもの増加	中学生	79.6%	100%
	高校生	69.2%	100%
アルコールを勧められたとき断ることができる子どもの増加	小学6年生	42.2%	100%
	中学生	31.3%	100%
	高校生	14.0%	100%
シンナーや覚醒剤を勧められたとき絶対に断ることができる子どもの増加	中学生	86.0%	100%
	高校生	90.1%	100%
● 性教育について正確な認識			
避妊法を知っている生徒の割合の増加	高校生男子	77.7%	100%
	高校生女子	86.6%	100%
● 子どもの心のすこやかな成長			
自分のことが大切に思える子どもの割合の増加	小学6年生	92.1%	100%
	中学生	76.5%	100%
出産後1か月時の母乳育児の割合の増加	母子保健カード	38.0%	増加傾向へ

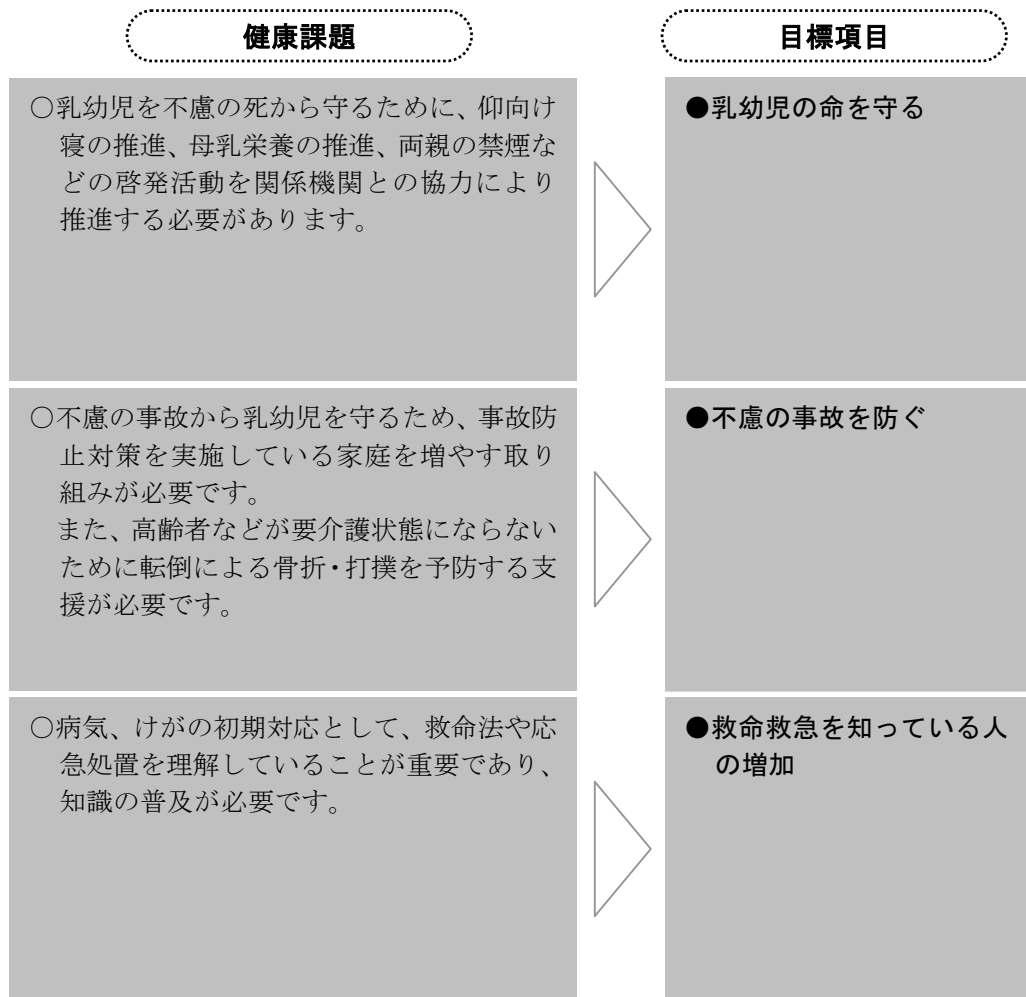
健やか親子・母子保健

● 子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減 (休養・心の健康参照)				
子育てにストレスを感じる人がいる人の割合の減少				
子どもに対して、家族の誰かが怒鳴ったり、叩いたりする、無視してしまうことがある割合の減少				
産後、気分が落ち込んだり、憂うつな気分になった者の割合の減少				
育児に参加する父親の割合の増加 (左はよくしている、右は時々している人の割合)	乳幼児	47.3%	35.1%	増加傾向へ
	就園児	44.5%	39.1%	増加傾向へ
● 親と子のコミュニケーション (休養・心の健康参照)				
子どもの話に耳を傾けたり、気持ちをよく理解しようとしている者の割合の増加				
子どもとよく一緒に遊んだり、話したりする者の割合の増加				
家族はしっかり話を聞いてくれるという子どもの割合の増加				
● 食事と心の健康づくり (栄養・食生活参照)				
質・量ともにきちんとした食事をする者の割合				
朝食を誰かと一緒に食べている人の割合				
子どもの栄養のことを考えて調理したり、食事を選択する人の割合の増加				
● 喫煙への対策 (たばこ参照)				
妊娠中の喫煙率				
喫煙したことのある人の割合				
● 飲酒への対策 (アルコール参照)				
妊娠中の飲酒率				
● 子どものう歯予防 (歯の健康参照)				
おやつ回数に問題がある幼児の割合				
おやつの内容に問題がある幼児の割合				
よく飲む飲み物に問題がある幼児の割合				
ジュースなど甘い飲み物を飲む幼児の割合				
一人平均のう歯数の減少 (5歳)				
一人平均のう歯数の減少 (12歳)				
● フッ化物配合歯みがき剤の使用の増加 (歯の健康参照)				
フッ化物配合歯みがき剤の使用の割合				

安全

健康づくりを進めていくうえで、その基盤となるのが、日々の生活を安心して暮らせることです。日常生活の中で心がける事故防止や地震等災害の際にも役立つ救命法を習得することが望まれます。

1) 健康課題の抽出と目標項目の設定



安全

2) 目標項目と数値目標の設定

目標項目（指標）	対象	現状値	目標値
● 乳幼児の命を守る			
乳児期にうつぶせ寝をさせている親の割合の減少	乳幼児保護者 就園児保護者	17.6%	なくす
子どもの前で喫煙する親の割合	乳幼児保護者 就園児保護者	36.2%	なくす
ゆさぶられっ子症候群を知っている親の割合の増加	乳幼児保護者 就園児保護者	52.8%	100%
● 不慮の事故を防ぐ			
不慮の事故で救急搬送された乳幼児の数	0～5歳児	40人	減少へ
事故防止対策を実施している家庭の割合	乳幼児就園児保護者	72.6%	100%
転倒による骨折・打撲をした人の割合の減少	60歳以上女性	21.1%	減少へ
● 救急救命処置ができる人の増加			
心肺蘇生法を知っている人の割合の増加	乳幼児保護者 就園児保護者	47.1%	100%
	成人	49.4%	100%
けがなどの応急手当を知っている人の割合の増加	成人	49.3%	100%

第7章

今後の取り組みと 推進体制

第7章

今後の取り組みと推進体制

1. 基本的な考え方

(1) 基本的な考え方

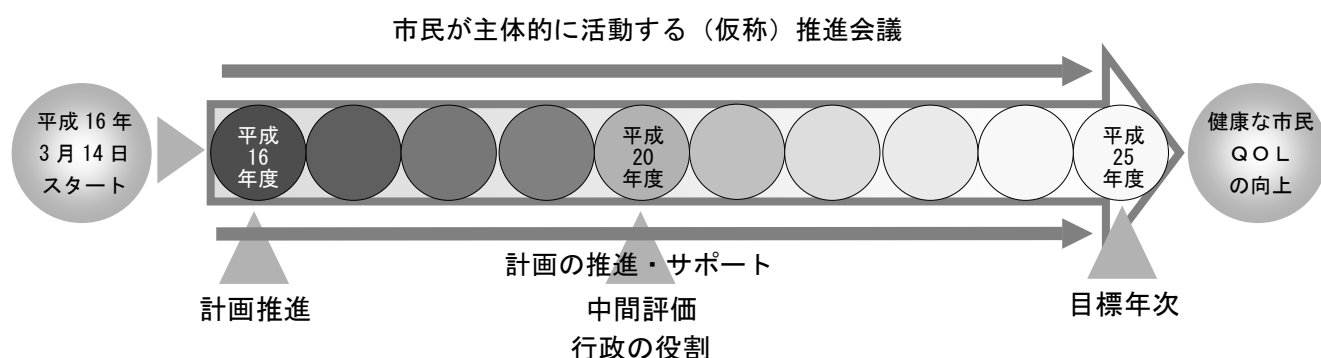
「いきいき健康プランにっしん 21」では、健康づくりは、計画書を策定して終わりというものではなく、市民への周知や普及啓発活動を継続していくことで目標が達成されるものであると考えています。

そこで、今後の推進体制として、次期の計画見直しまでの期間（平成16年度～19年度）において、調査から計画策定のプロセスにて育まれてきた既存の組織を新たに「(仮称)推進会議」として位置づけ、市民の主体的な活動による健康づくりに関する普及啓発活動を展開していきます。

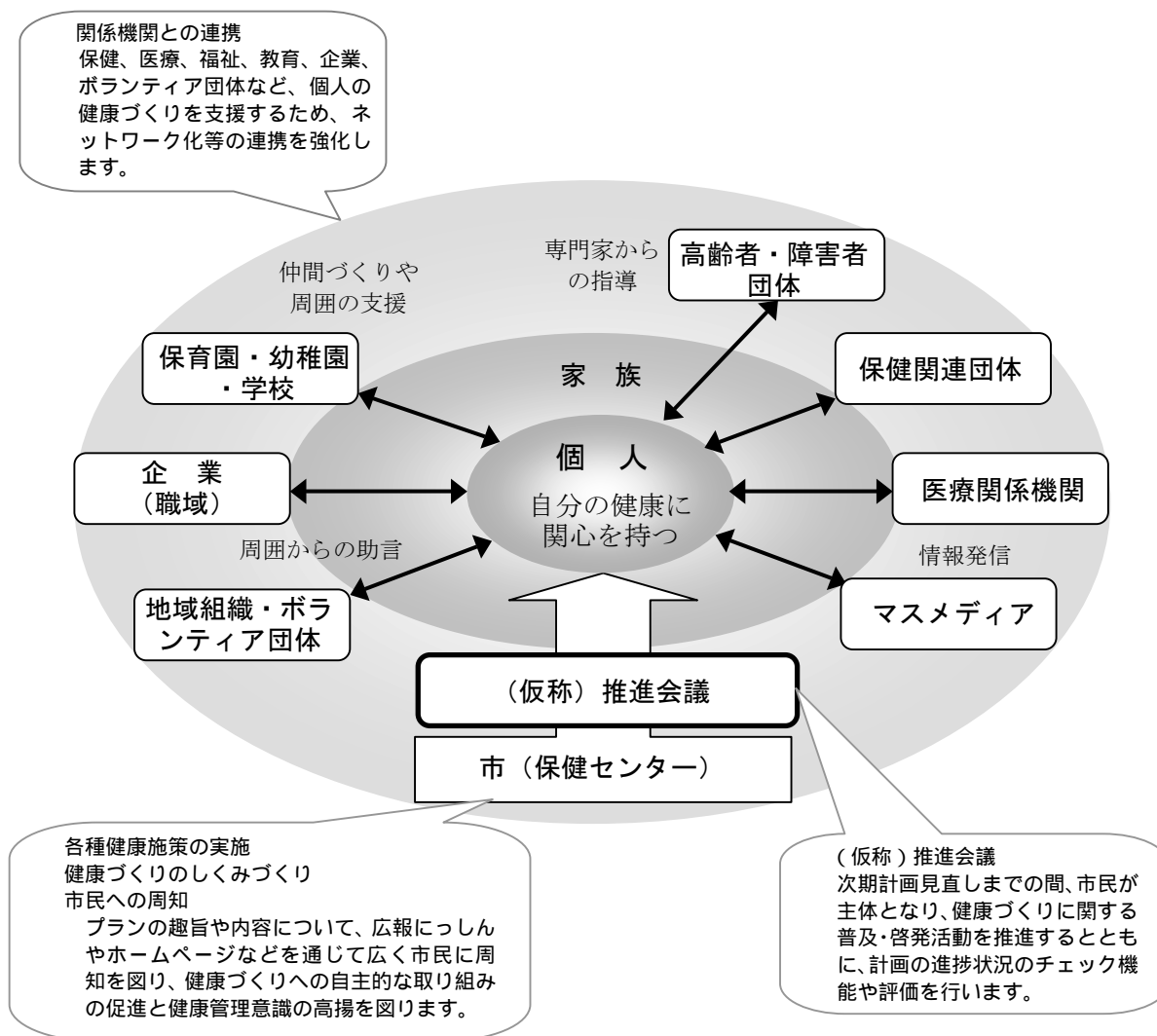
今回、平成16年3月14日に実施した「いきいき健康プランにっしん 21 オープニングフェスター健康への直行便」をスタートとして位置づけます。

(2) 取り組みの期間

取り組みの期間は、計画がスタートする平成16年度から中間評価計画見直しの前年度平成19年度までの4年間とし、平成20年度にこれらの活動や評価を踏まえ計画の見直しを図り、さらに10年後の目標年次まで活動を継続していきます。



2. 推進体制



3. 計画の評価

今後、実施する（仮称）推進会議のなかで、評価シート（調査票）の検討及び作成を行い、「市民まつり」など他のイベントで配布・回収を検討します。それらの蓄積されたデータを分析し、計画の評価を行います。また、平成20年度の間評価では、継続的に定点観測としてアンケート調査を実施します。

さらにインターネット等を活用し、できるかぎり幅広い市民からの意見を収集ができるようホームページを作成し、計画の評価を定期的実施することを検討します。

4. 今後の推進方策

(1) 市民主体の計画推進

平成14年から「いきいき健康プランにっしん21」を2か年かけて策定しており、市民からの公募によるネットワーク研究会、庁内の職員による職員研究会の両方で構成するワーキング研究会を立ち上げ、健康課題や健康づくりのあるべき姿について検討を重ねてきました。

健康づくりは、計画を策定して終わりではなく、これからがスタートであるという認識の下に、より多くの市民に計画の主旨について普及・啓発・周知を図るため、健康づくりについて市民とともに考えていく機会としてイベントを開催しました。第1回としてワーキング研究会のメンバーによる分野別のPRブースの設置、「いきいき健康体操～みんなでWAKU WAKU!～」、俳優の天野鎮雄さんを交えて「いきいき健康クイズ」、「出会いふれあい人間こんさーと」と題した天野鎮雄さんの講演会などを行いました。



今後についても次期計画の見直しまでの4年間については、市民が主体となり、健康づくりに関する情報収集や情報発信、計画の進捗状況のチェックなどの活動を展開し、計画推進を行います。

「いきいき健康プランにっしん21」オープニングフェスタ

～健康への直行便～

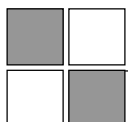
▼とき 平成16年3月14日(日) 午後1時から4時30分まで

▼ところ 日進市民会館小ホール

13:00～13:45	<小ホール・多目的ホール>
<p>▼いきいき健康プランにっしん21ってなあに？</p> <p>パネル展示、健康体験コーナー</p>	
	



参考資料



参考資料

1. アンケート調査概要

(1) 調査目的

平成 12 年 4 月から 21 世紀における国民健康づくり運動として、「健康日本 21」がスタートし、本市においても市独自の戦略的な基本計画及びそれに基づく実行可能な行動計画を策定していきます。そこで、より具体的な計画とするために、市民の主観的健康感や生活習慣、生活環境などを把握し、生活者レベルでの健康に関する評価指標とするため、アンケート調査を実施しました。

(2) 妊婦・乳幼児保護者・就園児保護者

1) 調査対象

妊婦（平成 14 年 10 月～平成 15 年 2 月の母親教室等の参加者）	200 人
乳幼児保護者（平成 14 年 10 月の健診の受診者）	300 人
就園児保護者（平成 14 年 10 月に日進市内の保育園、幼稚園に通う 0 歳から 6 歳児の保護者）	329 人

2) 配布回収方法

妊婦	教室参加時等に直接配布、回収
乳幼児保護者	郵送による配布、健診時に回収
就園児保護者	保育園、幼稚園を通じて、直接配布、回収

3) 配布・回収時期

平成 14 年 10 月～平成 15 年 2 月

4) 配布数及び回収数

区分	配布数	回収数	回収率
妊婦	200	191	95.5%
乳幼児保護者	300	239	79.7%
就園児保護者	329	258	78.4%
合計	829	688	83.0%

(3) 小学生・中学生・高校生

1) 調査対象

小学3年生	(平成14年11月現在、市内の北小学校、南小学校、西小学校に通う小学3年生)	341人
小学6年生	(平成14年11月現在、市内の香久山小学校、東小学校、相野山小学校、梨の木小学校に通う小学6年生)	361人
中学3年生	(平成14年11月現在、市内の日進西中学校、日進中学校、日進東中学校に通う中学3年生)	351人
高校生	(平成14年11月現在、市内の県立日進高校、県立日進西高校、私立中部大学第一高等学校(旧校名 名古屋第一高等学校)に通う高校生)	300人

2) 配布・回収方法

小学3年生、6年生	各小学校を通じて、直接配布、回収
中学3年生	各中学校を通じて、直接配布、回収
高校生	日進高校、日進西高校は、郵送による配布、回収 私立中部大学第一高等学校は、直接配布、回収

3) 配布・回収時期

平成14年11月

4) 配布数及び回収率

区分	配布数	回収数	回収率
小学3年生	341	315	92.4%
小学6年生	361	281	77.8%
中学3年生	351	340	96.9%
高校生	300	173	57.5%
合計	1,353	1,109	82.0%

(4) 成人

1) 調査対象

成人 (日進市内在住の 20 歳以上の男女、小学生保護者、日進市職員、
企業の社員) 2,307 人

2) 配布・回収方法

成人 郵送による配布、回収
小学生保護者は、市内の小学校に通う児童を通じて、小学生アンケートとともに直接配布、直接回収
市職員、企業については、職域での直接配布、回収

3) 配布・回収時期

平成 14 年 11 月

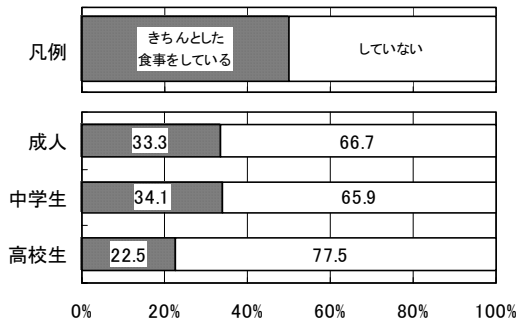
4) 配布数及び回収率

区分	配布数	回収数	回収率
20 歳以上	1,368	694	50.7%
企業	97	55	56.7%
市職員	140	126	90.0%
小学生保護者	702	579	82.5%
合計	2,307	1,454	63.0%

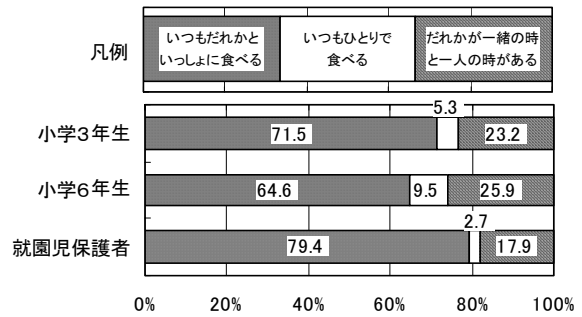
2. 統計資料及びアンケート調査結果

(1) 栄養・食生活

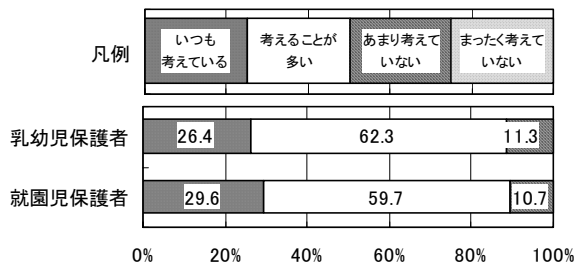
問 1日最低1食、主菜と副菜のそろった食事を家族や友人と楽しく、30分以上かけてゆっくり食事をしていますか



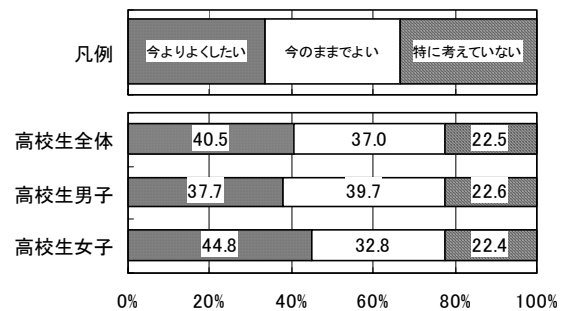
問 朝食を家族と一緒に食べますか



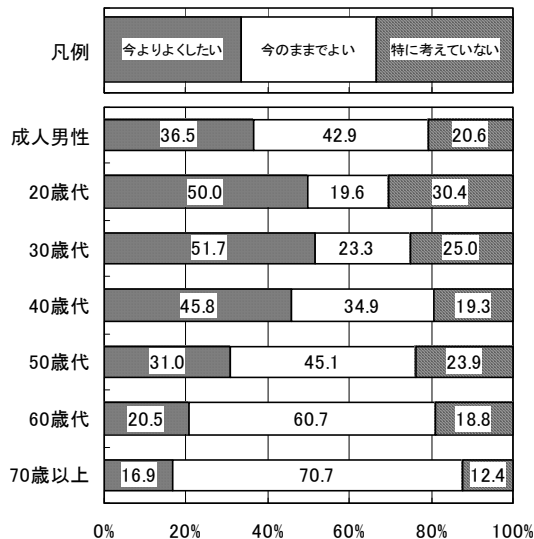
問 お子さんの栄養のことを考えて調理したり、食事を選択したりしていますか



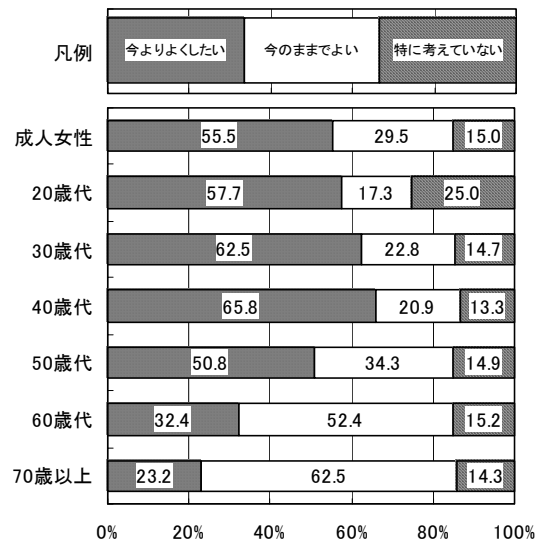
問 自分の食事について、今後どのようにしたいと思っていますか



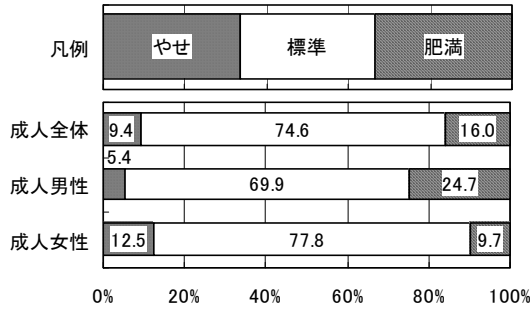
問 自分の食事について、今後どのようにしたいと思っていますか。食生活の改善意欲のある人（成人男性）



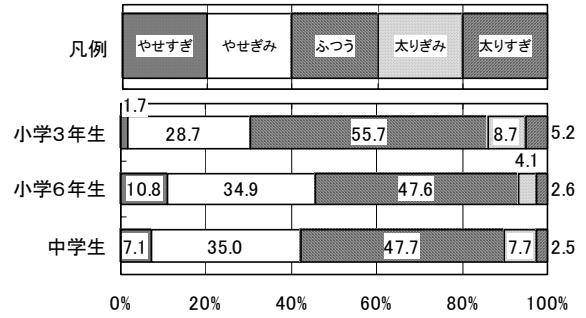
問 自分の食事について、今後どのようにしたいと思っていますか。食生活の改善意欲のある人（成人女性）



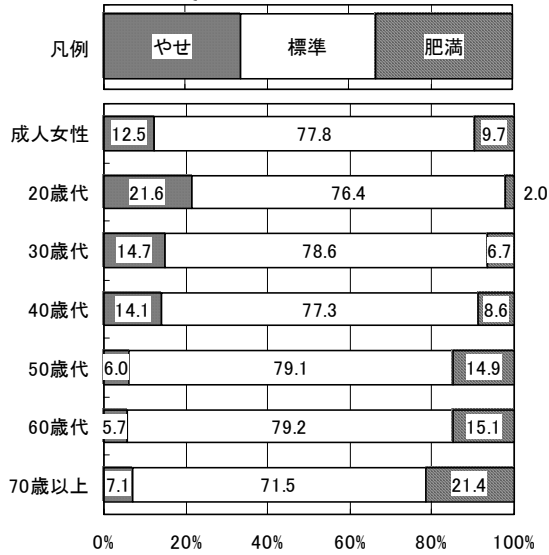
問 肥満者の減少 (BMI25.0 以上) について



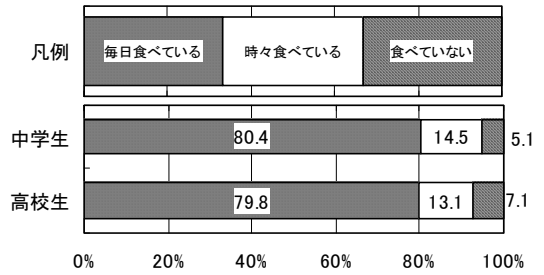
問 肥満者の減少 (ローレル指数 160 以上) について



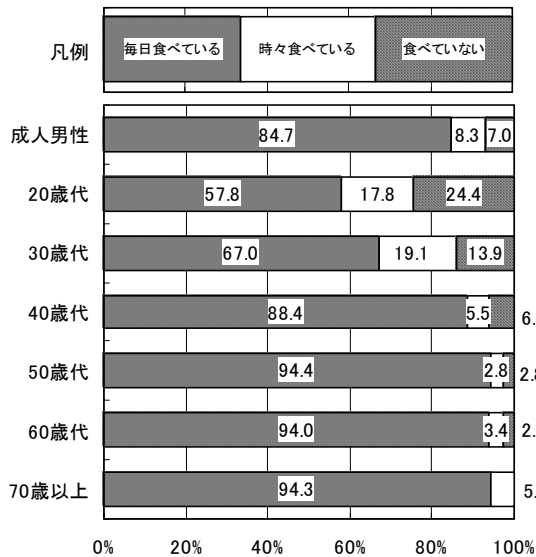
問 やせすぎ者の減少 (BMI18.5 未満) について



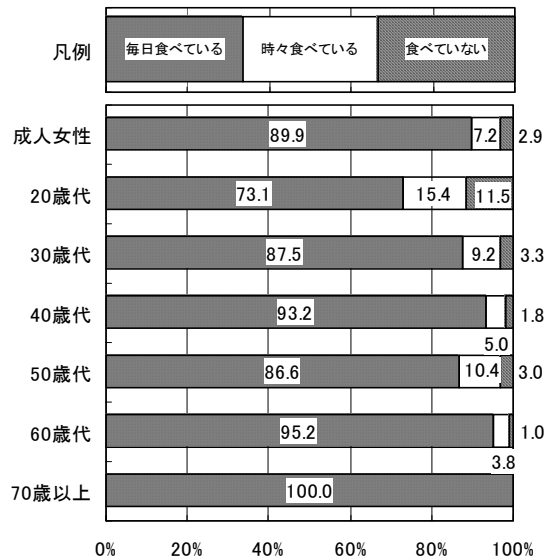
問 朝食は食べていますか



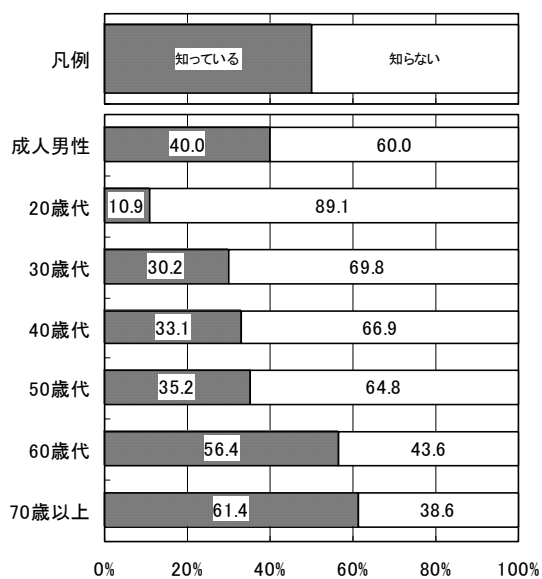
問 朝食は食べていますか (成人男性)



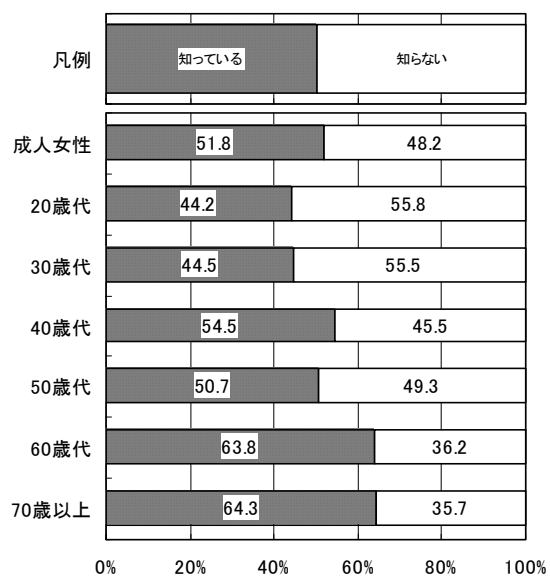
問 朝食は食べていますか (成人女性)



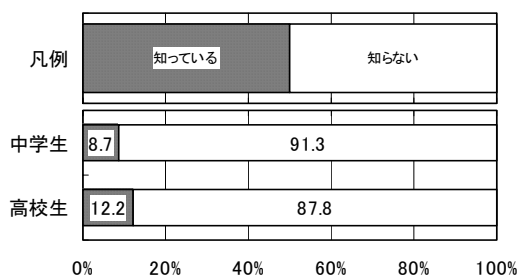
問 適性体重を維持する食事内容、食事量を知っていますか（成人男性）



問 適性体重を維持する食事内容、食事量を知っていますか（成人女性）



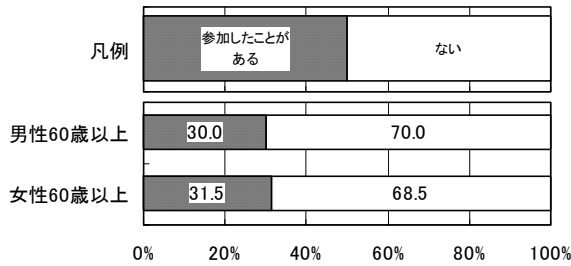
問 適性体重を維持する食事内容、食事量を知っていますか



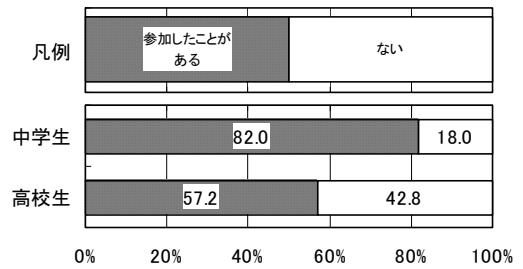
出典：平成14年度いきいき健康プランにっしん21 アンケート調査結果

(2) 身体活動・運動

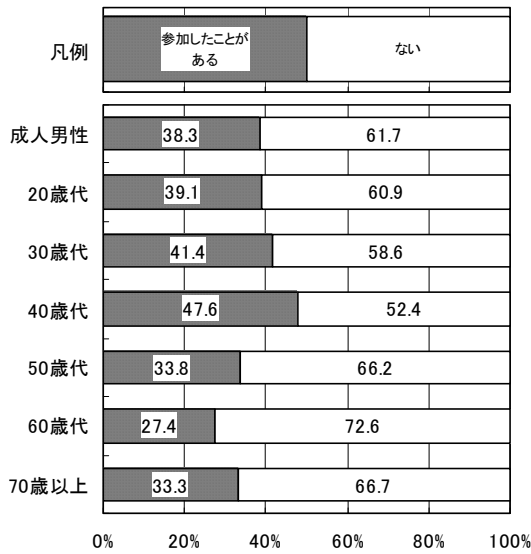
問 ここ1年間で地域行事に参加したことはありますか



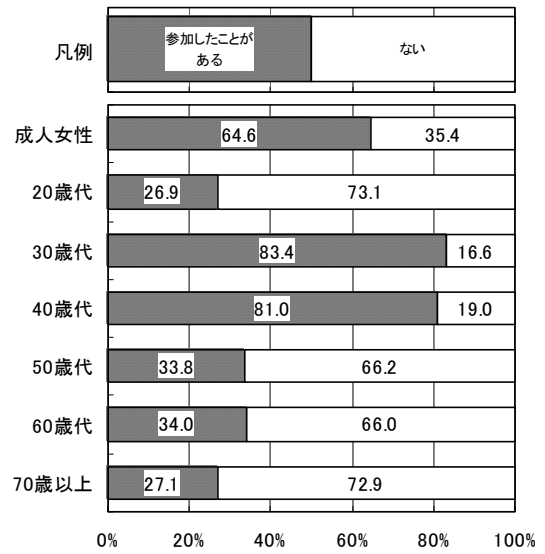
問 ここ1年間で地域行事に参加したことはありますか



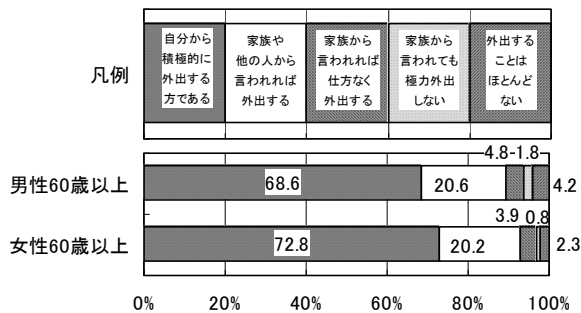
問 ここ1年間で地域行事に参加したことはありますか (成人男性)



問 ここ1年間で地域行事に参加したことはありますか (成人女性)



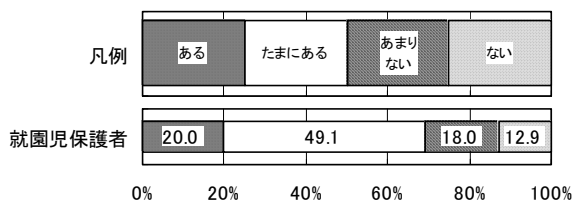
問 外出について積極的な態度を持つ人



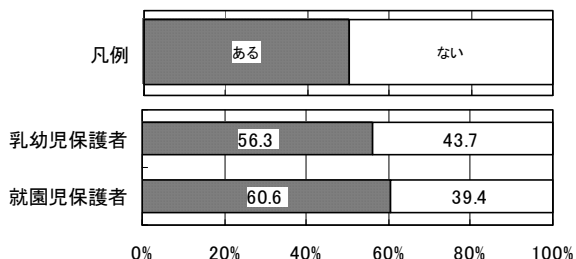
出典：平成14年度いきいき健康プランにっしん21 アンケート調査結果

(3) 休養・心の健康

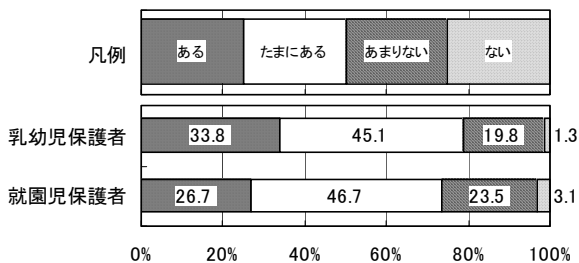
問 お子さんに対して、家族の誰かが怒鳴ったり、叩いたり、無視したりしてしまうことがありますか



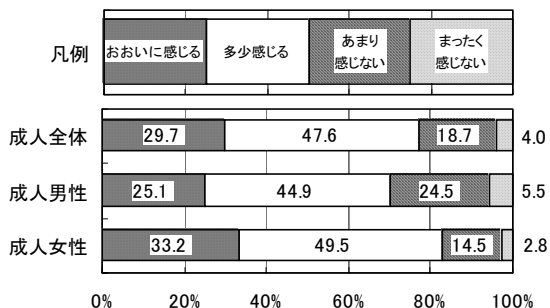
問 出産後、気持ちが落ち込んだり、憂うつな気分になったことがありますか



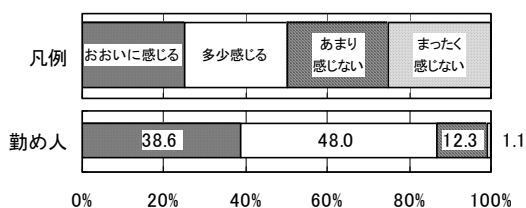
問 子育てにストレスを感じるがありますか



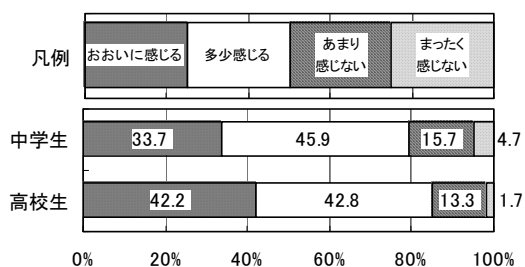
問 この1か月間にストレスを感じたことがありますか



問 この1か月間にストレスを感じたことがありますか

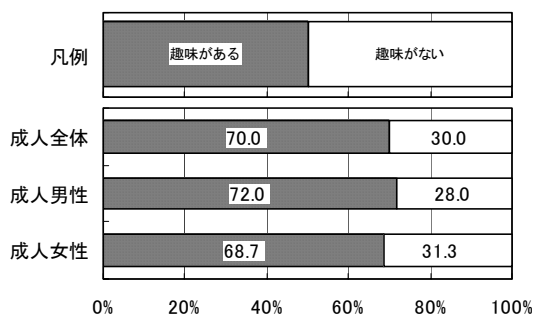


問 この1か月間にストレスを感じたことがありますか

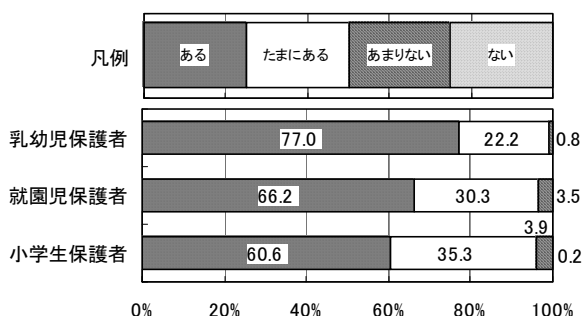


出典：平成14年度いきいき健康プランにっしん21アンケート調査結果

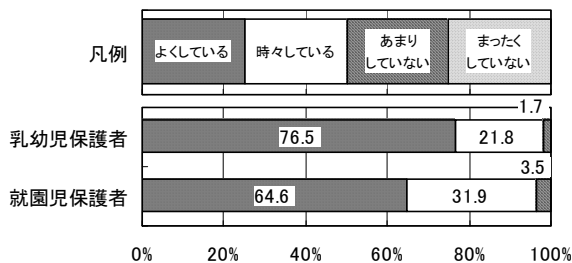
問 趣味はありますか



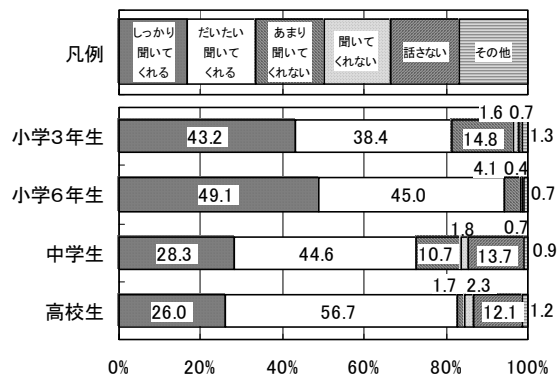
問 お子さんと一緒に遊んだり、話をしたりしていますか



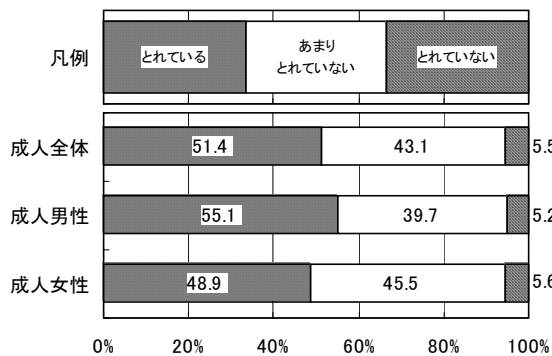
問 お子さんの話に耳を傾けたり、気持ちを理解しようとしていますか



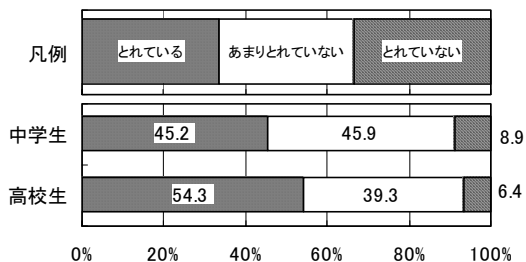
問 家の人は、あなたの話をよく聞いてくれますか



問 睡眠によって十分に休養がとれていますか

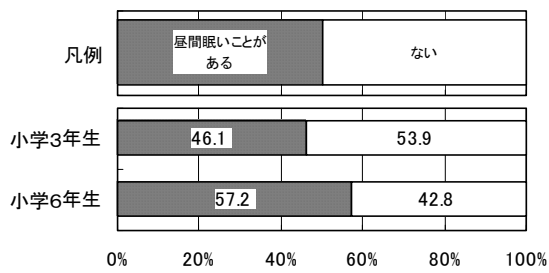


問 睡眠によって十分に休養がとれていますか

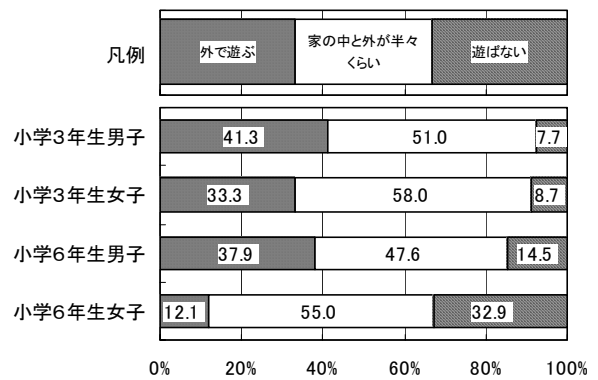


出典：平成14年度いきいき健康プランにっしん21 アンケート調査結果

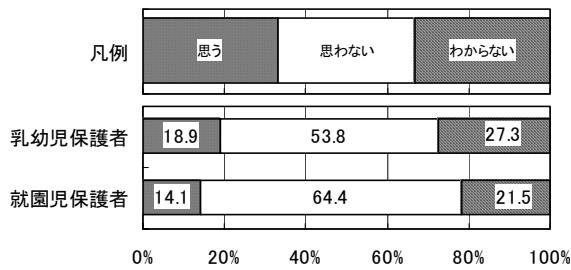
問 昼間眠たくて仕方がないことがありますか



問 外でよく遊びますか



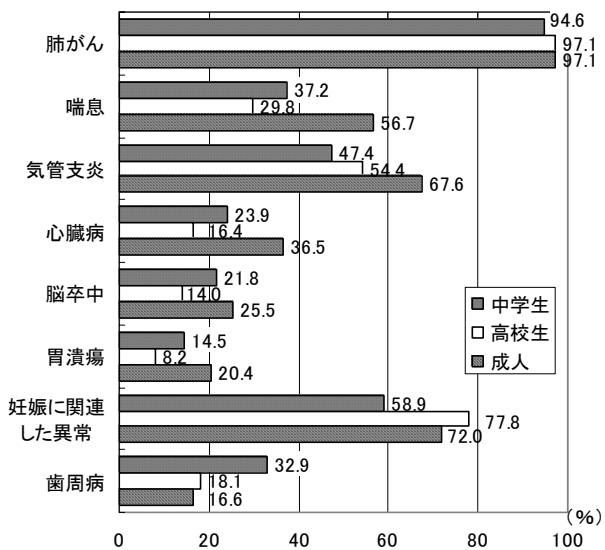
問 お子さんは運動不足だと思いますか



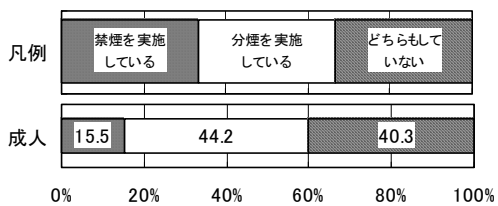
出典；平成14年度いきいき健康プランにっしん21 アンケート調査結果

(4) たばこ

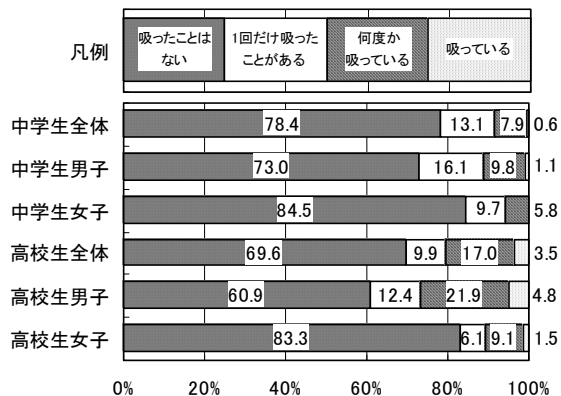
問 たばこが健康に与える影響はどれですか



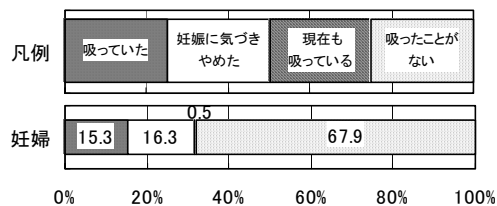
問 あなたの職場では禁煙や分煙を実施していますか



問 今までにたばこを吸いましたか



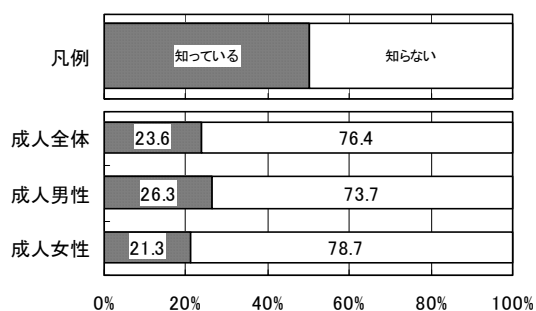
問 今までにたばこを吸ったことはありますか



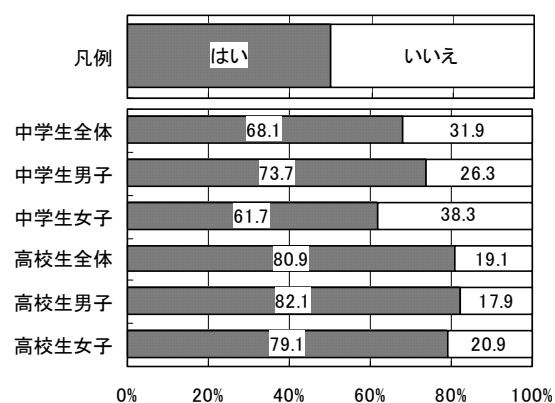
出典：平成14年度いきいき健康プランにっしん21 アンケート調査結果

(5) アルコール

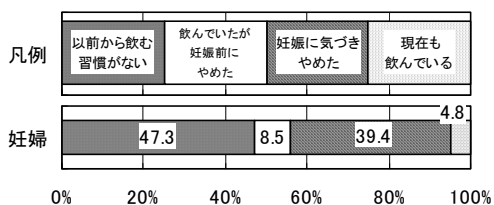
問 1日の適度な飲酒量*1を知っていますか



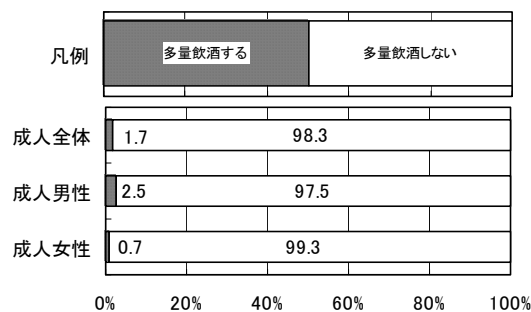
問 お酒を飲んだことがありますか



問 今までお酒を飲む習慣はありましたか



問 多量に飲酒する人の割合



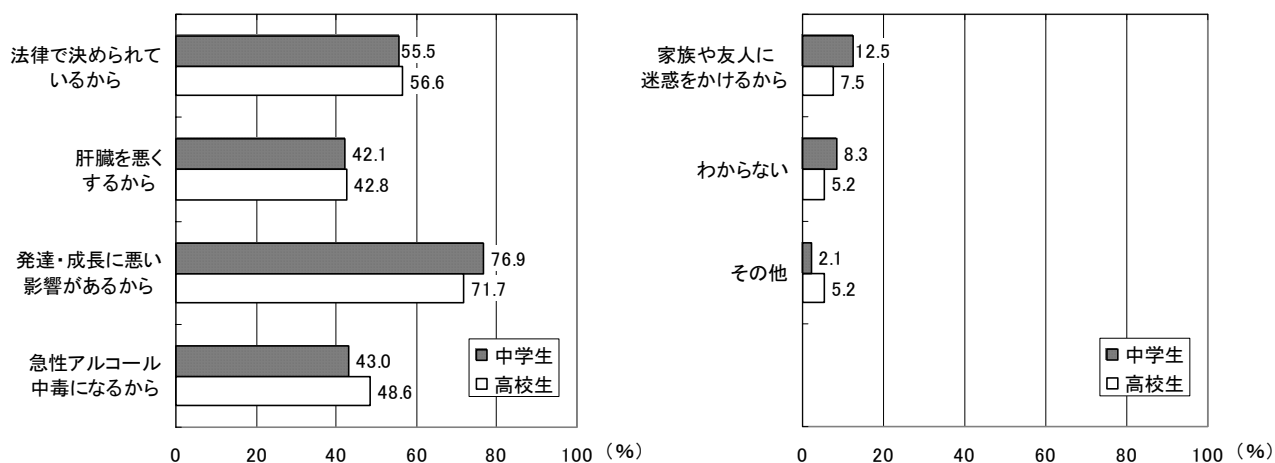
出典：平成14年度いきいき健康プランにっしん21 アンケート調査結果

*1 適度な飲酒量とは、1日平均純アルコールで約20g程度の飲酒

注) 主な酒類の換算の目安

お酒の種類	ビール 中ビン1本500ml	ウイスキー・ブレンダー ダブル180ml	清酒 1合180ml	焼酎 (35度)	ワイン 1杯120ml
アルコール度数	5%	43%	15%	35%	12%
純アルコール量	20g	20g	22g	50g	12g

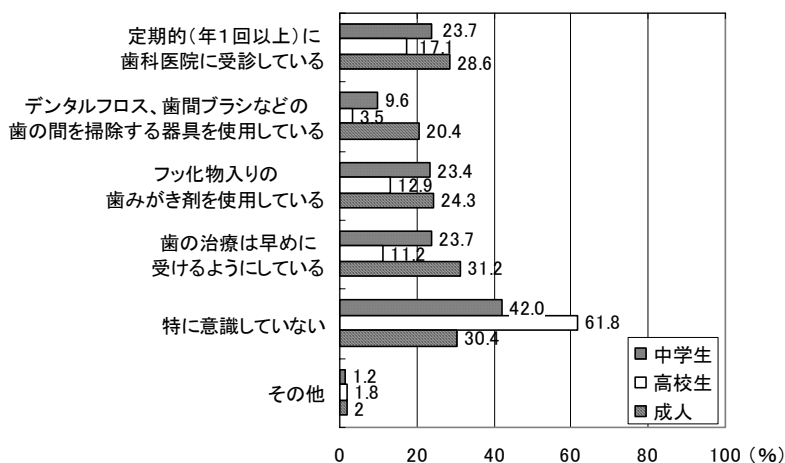
問 未成年がお酒を飲んでいけないのは、
なぜだと思いますか



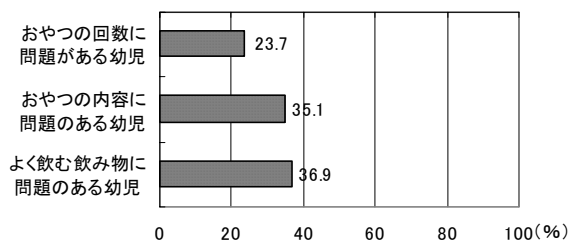
出典；平成 14 年度いきいき健康プランにっしん 21
アンケート調査結果

(6) 歯の健康

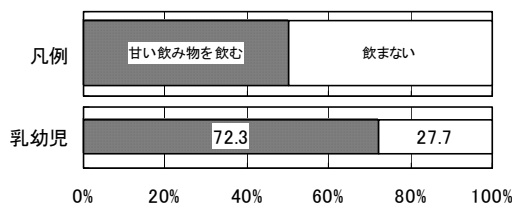
問 歯の健康管理としてどのようなことを実行していますか



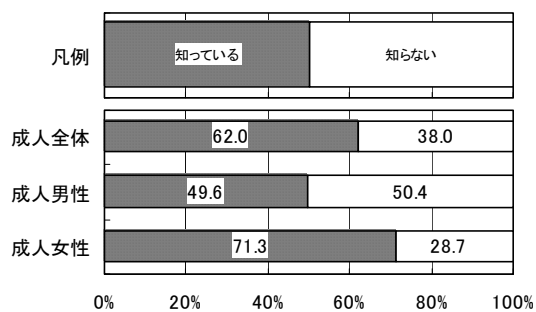
問 う歯がある幼児の原因(1歳6か月児)



問 う歯がある幼児の原因(1歳6か月児)

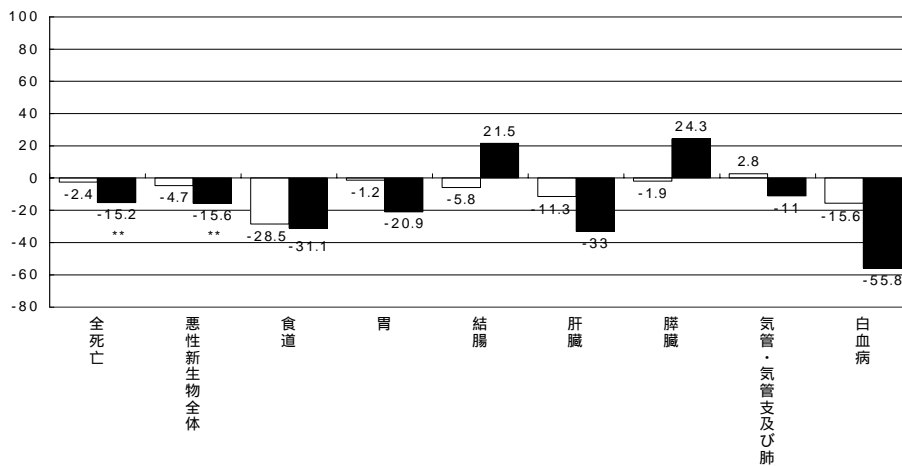
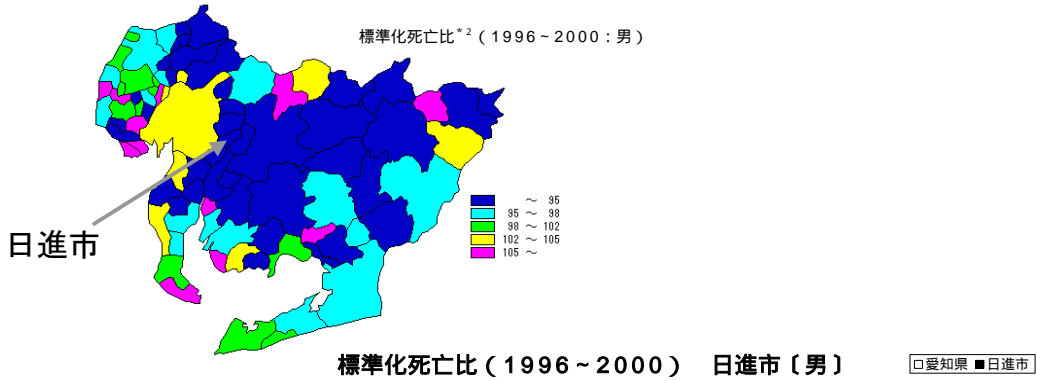


問 8020運動を知っていますか



出典：平成14年度いきいき健康プランにっしん21 アンケート調査結果

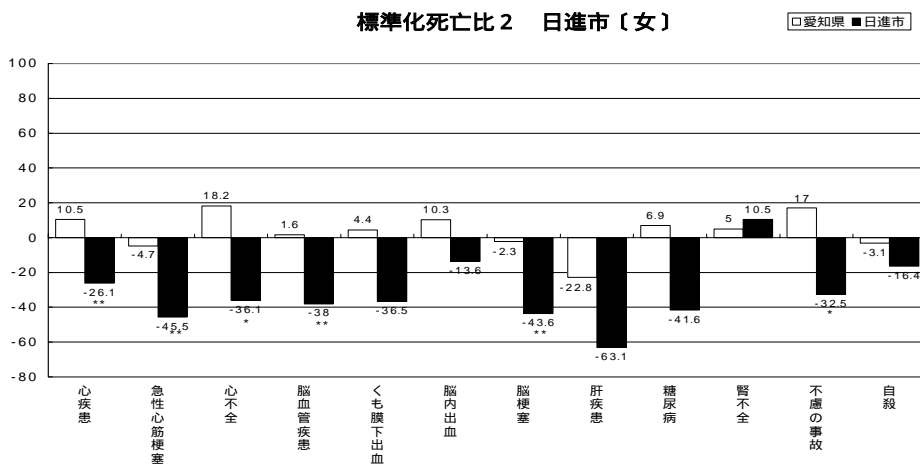
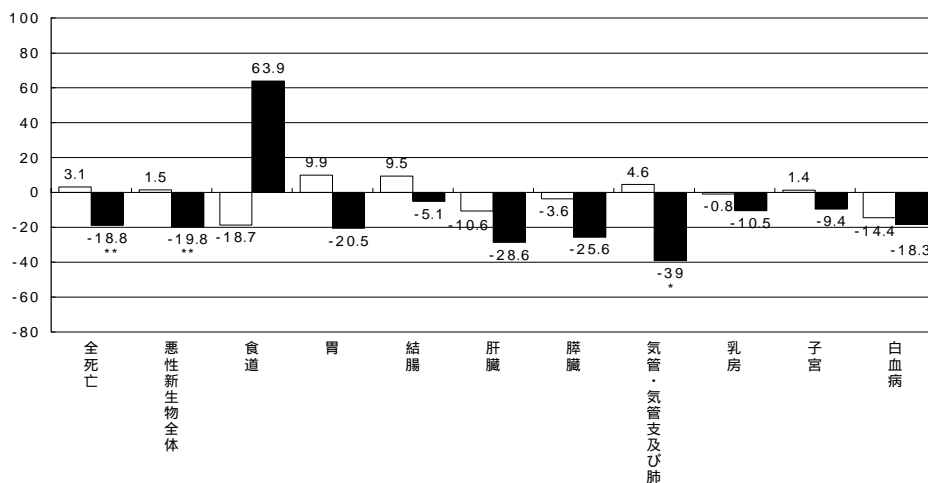
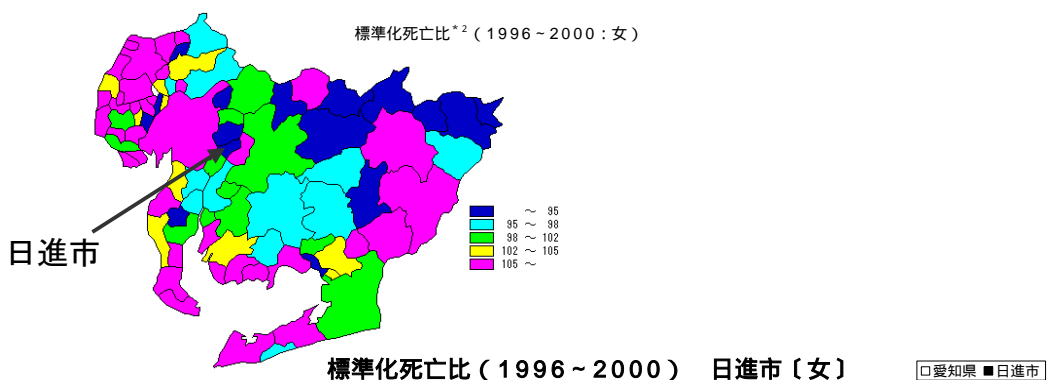
(7) 生活習慣病



出典：瀬戸保健所

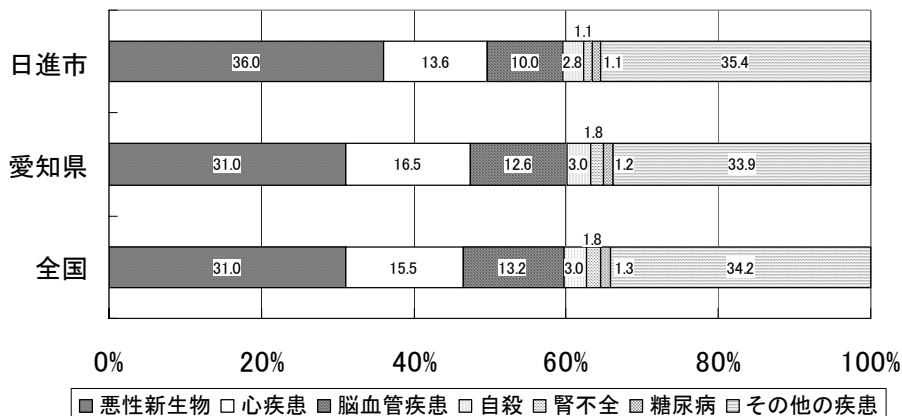
* 2 標準化死亡比 (SMR) とは、年齢構成の差異を基準の死亡率で調整した値 (期待死亡数) に対する現実の死亡数の比。主に小地域の比較に用いる。

$$\text{標準化死亡比} = \frac{\text{観察集団の現実の死亡数}}{(\text{基準となる人口集団の年齢別死亡率} \times \text{観察集団の年齢別人口}) \text{の総和}} \times 100$$



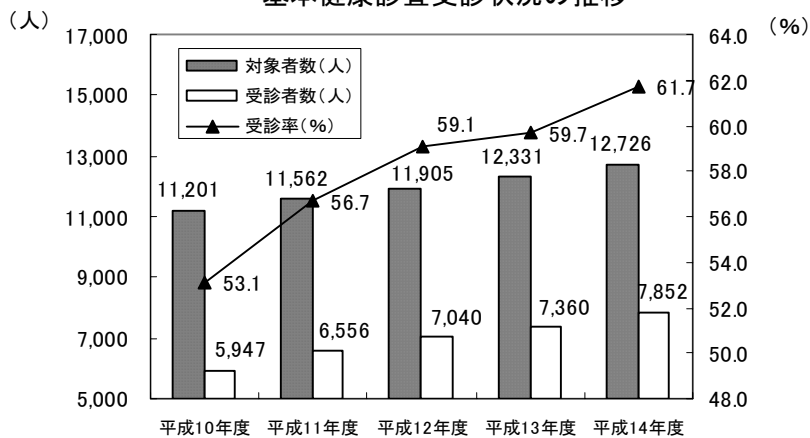
出典：瀬戸保健所

平成14年全死亡に占める生活習慣病割合



出典：瀬戸保健所

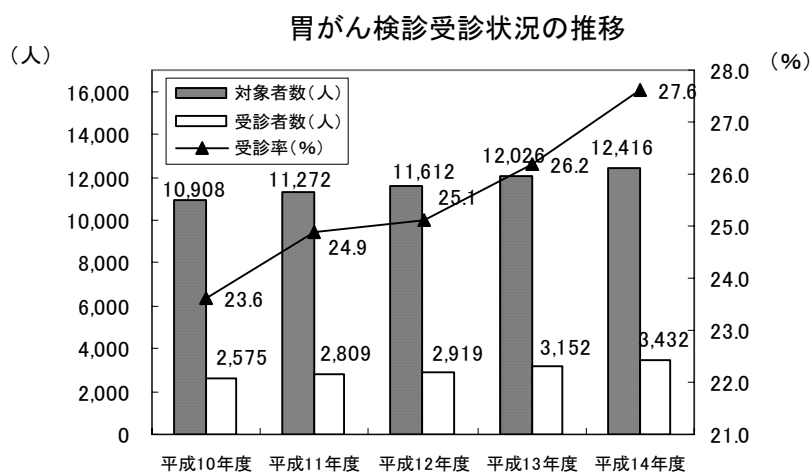
基本健康診査受診状況の推移



基本健康診査受診状況

区分	受診者			判定結果			
	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	異常なし(人)	要観察(人)	要指導(人)	要医療(人)
平成10年度	11,201	5,947	53.1	836	1,618	1,920	1,573
平成11年度	11,562	6,556	56.7	866	1,763	2,126	1,801
平成12年度	11,905	7,040	59.1	722	1,641	1,911	2,766
平成13年度	12,331	7,360	59.7	889	2,091	1,933	2,447
平成14年度	12,726	7,852	61.7	-	-	-	-

出典：老人保健法等による健康診査の結果報告

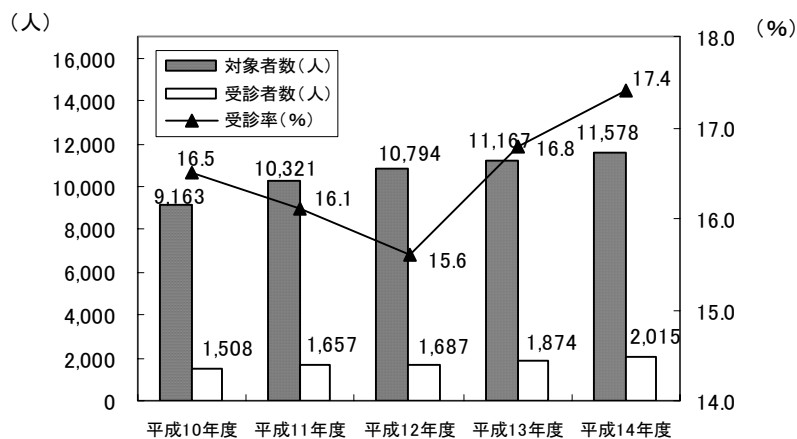


胃がん検診受診状況

区分	受診者			精密検査結果					
	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	要精検(人)	受診者数(人)	異常なし(人)	がんであった者(人)	がん以外の疾患であった者(人)	その他(人)
平成10年度	10,908	2,575	23.6	286	227	62	4	149	12
平成11年度	11,272	2,809	24.9	320	225	30	5	180	10
平成12年度	11,612	2,919	25.1	343	264	49	0	199	16
平成13年度	12,026	3,152	26.2	347	262	49	3	196	14
平成14年度	12,416	3,432	27.6	341	266	39	6	206	15

出典：老人保健法等による健康診査の結果報告

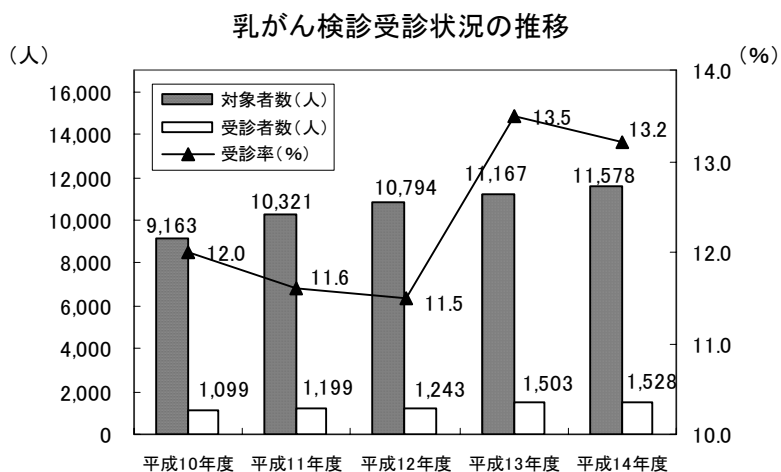
子宮がん検診受診状況の推移



子宮がん検診受診状況

区分	受診者				精密検査結果				
	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	要精検(人)	受診者数(人)	異常なし(人)	がんであった者(人)	がん以外の疾患であった者(人)	その他(人)
平成10年度	9,163	1,508	16.5	7	7	3	0	4	0
平成11年度	10,321	1,657	16.1	9	8	2	2	4	0
平成12年度	10,794	1,687	15.6	6	5	1	1	3	0
平成13年度	11,167	1,874	16.8	11	9	3	1	5	0
平成14年度	11,578	2,015	17.4	16	11	5	2	4	0

出典：老人保健法等による健康診査の結果報告

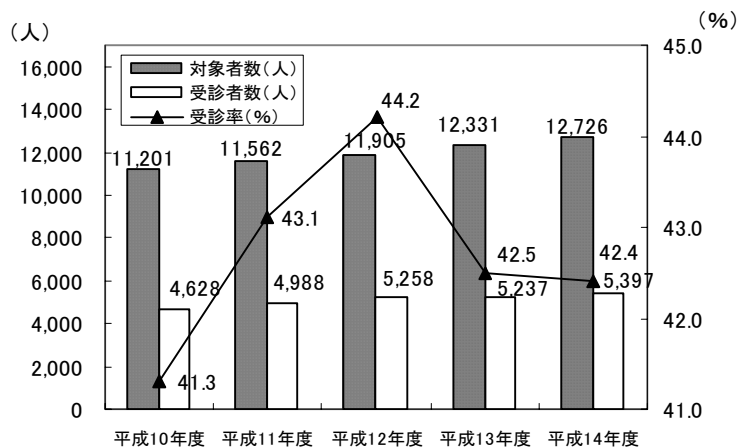


乳がん検診受診状況

区分	受診者				精密検査結果				
	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	要精検(人)	受診者数(人)	異常なし(人)	がんであった者(人)	がん以外の疾患であった者(人)	その他(人)
平成10年度	9,163	1,099	12.0	50	43	12	3	28	0
平成11年度	10,321	1,199	11.6	22	18	7	4	7	0
平成12年度	10,794	1,243	11.5	16	15	3	3	9	0
平成13年度	11,167	1,503	13.5	28	18	7	0	11	0
平成14年度	11,578	1,528	13.2	99	90	40	7	43	0

出典：老人保健法等による健康診査の結果報告

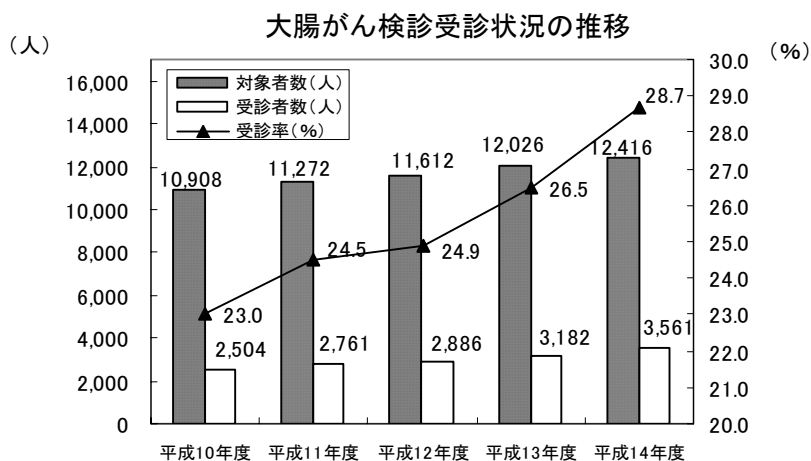
肺がん検診受診状況の推移



肺がん検診受診状況

区分	受診者				精密検査結果				
	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	要精検(人)	受診者数(人)	異常なし(人)	がんであった者(人)	がん以外の疾患であった者(人)	その他(人)
平成10年度	11,201	4,628	41.3	25	20	11	0	9	0
平成11年度	11,562	4,988	43.1	32	30	18	2	10	0
平成12年度	11,905	5,258	44.2	31	23	12	1	4	6
平成13年度	12,331	5,237	42.5	81	73	34	3	23	13
平成14年度	12,726	5,397	42.4	89	75	40	4	17	14

出典：老人保健法等による健康診査の結果報告



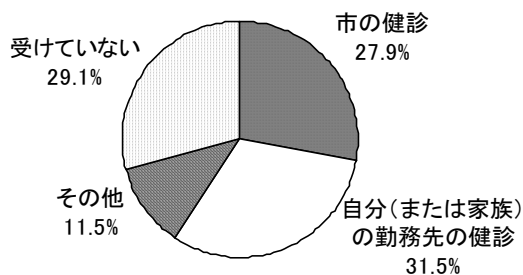
大腸がん検診受診状況

区 分	受 診 者				精 密 検 査 結 果				
	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	要精検(人)	受診者数(人)	異常なし(人)	がんであった者(人)	がん以外の疾患であった者(人)	その他(人)
平成10年度	10,908	2,504	23.0	222	149	74	5	65	5
平成11年度	11,272	2,761	24.5	253	182	75	5	91	11
平成12年度	11,612	2,886	24.9	282	202	97	4	93	8
平成13年度	12,026	3,182	26.5	302	205	100	8	93	4
平成14年度	12,416	3,561	28.7	328	228	106	12	92	18

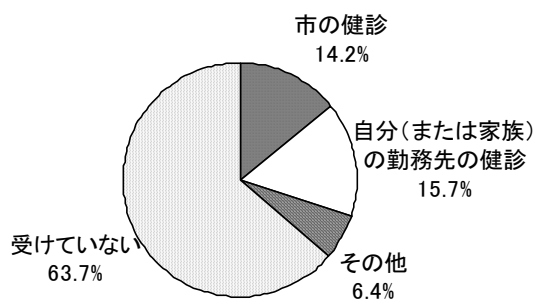
出典：老人保健法等による健康診査の結果報告

問 過去1年間に検診を受診しましたか。
また、受診した方はどこで受けましたか

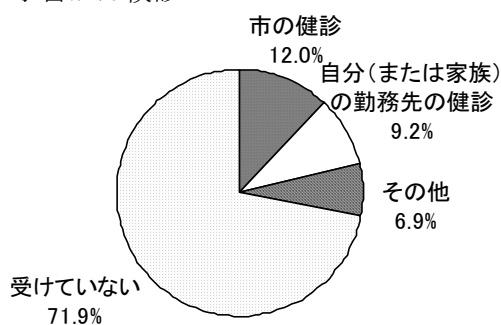
基本健康診査



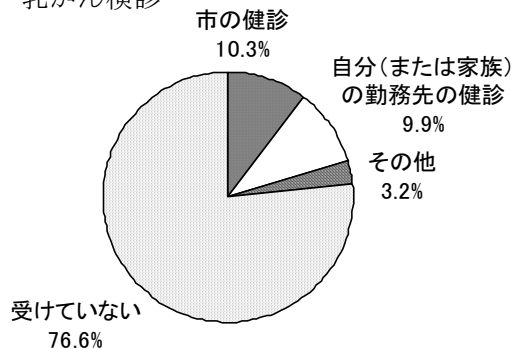
胃がん検診



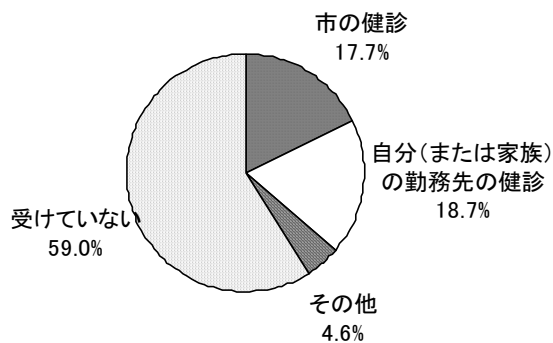
子宮がん検診



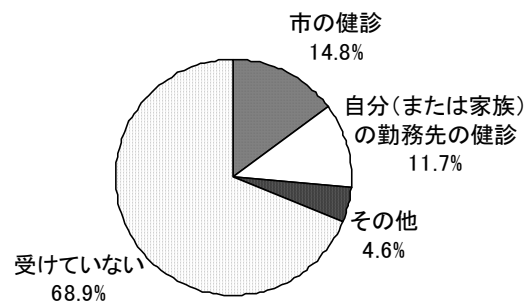
乳がん検診



肺がん検診

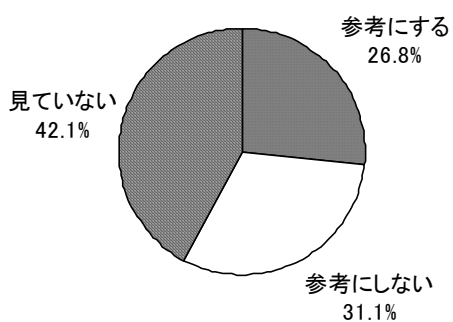


大腸がん検診

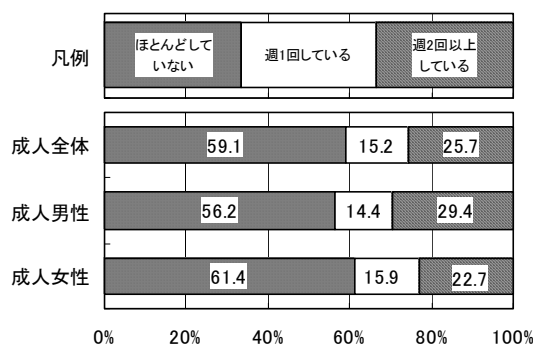


出典：平成14年度いきいき健康プランにっしん21
アンケート調査結果

問 外食や食品を選ぶとき、カロリーなどの栄養分表示を参考にしていますか
(成人)

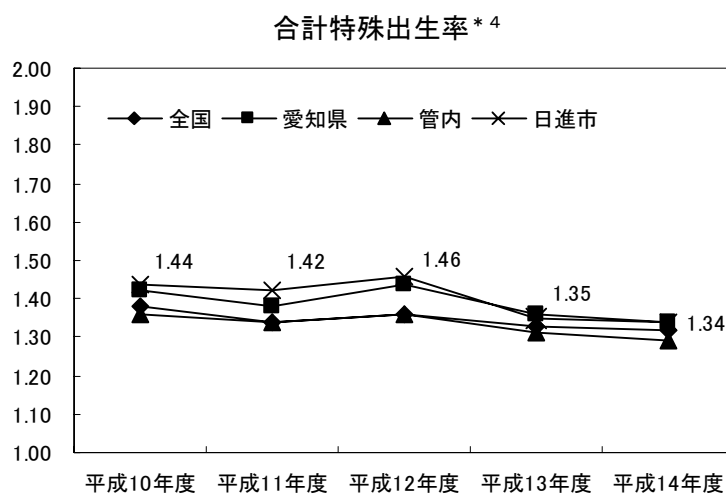
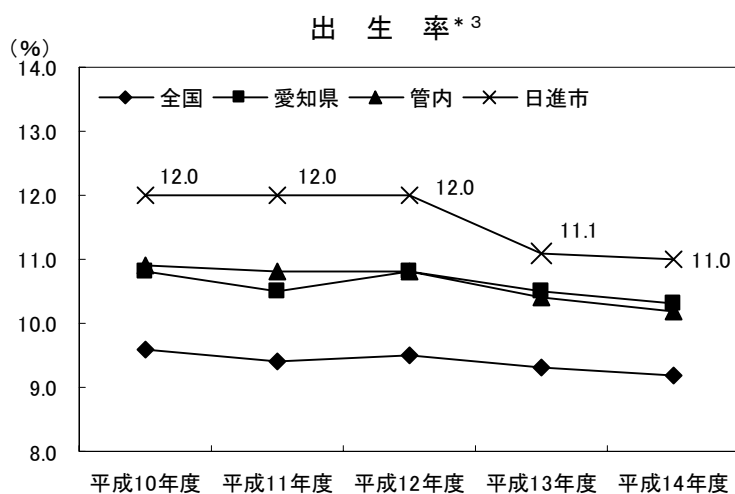


問 1年以上継続して、1日30分以上の運動をしていますか



出典；平成14年度いきいき健康プランにっしん21アンケート調査結果

(8) 健やか親子・母子保健



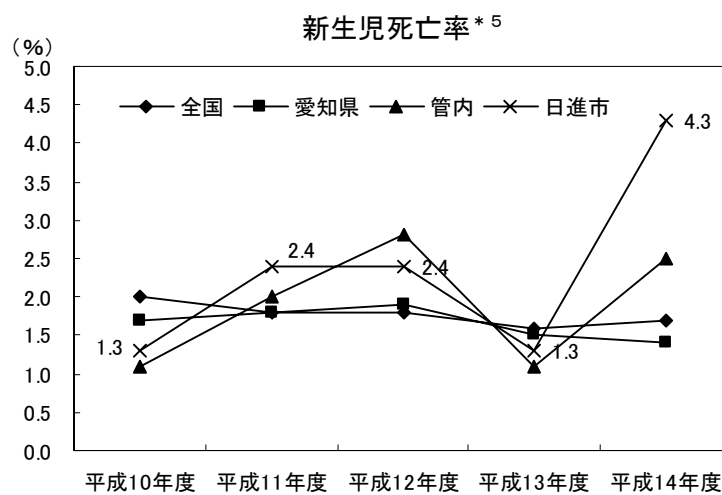
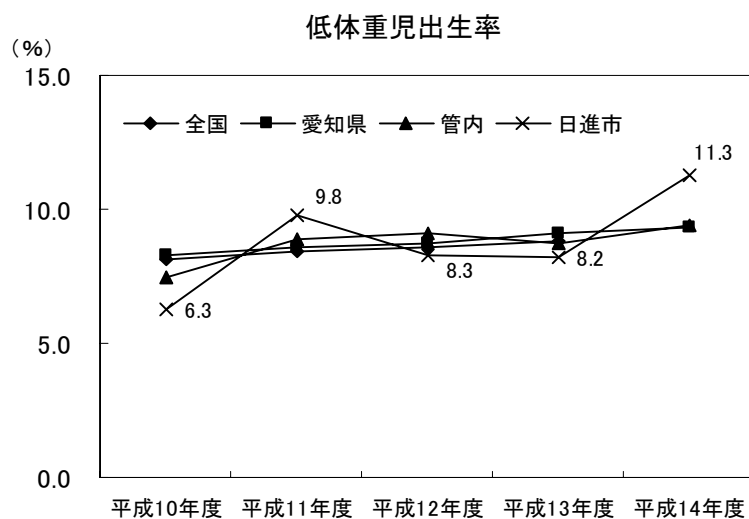
出典；平成14年母子保健に関する統計等（瀬戸保健所）

*3 出生率

$$\text{出生率} = \frac{\text{出生数}}{\text{人口}} \times 1,000$$

*4 合計特殊出生率は、女子の年齢別出生率の合計で、1人の女子がその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとした時のこどもの数を表す。

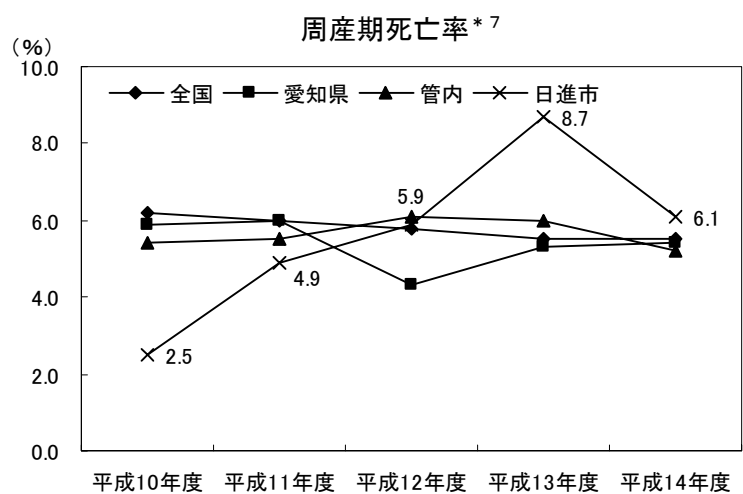
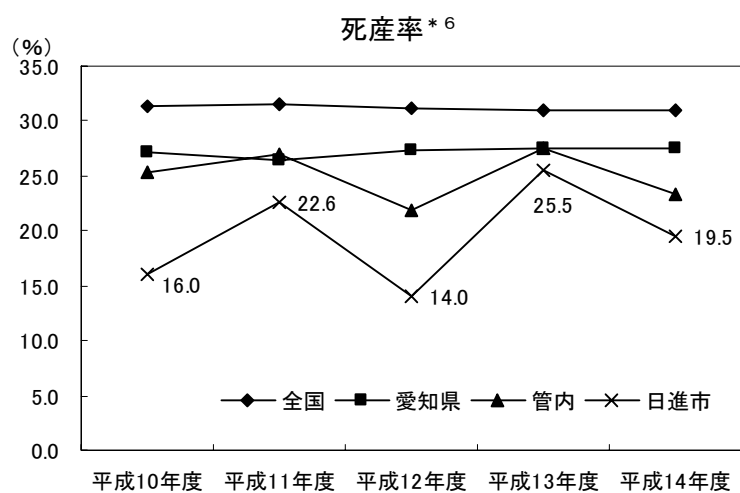
$$\text{合計特殊出生率} = \left\{ \frac{\text{母の年齢別出生数}}{\text{年齢別女子人口}} \right\} \text{15歳から49歳までの合計}$$



出典：平成14年母子保健に関する統計等（瀬戸保健所）

* 5 新生児死亡率

$$\text{新生児死亡率} = \frac{\text{新生児死亡数}}{\text{出生数}} \times 1,000$$



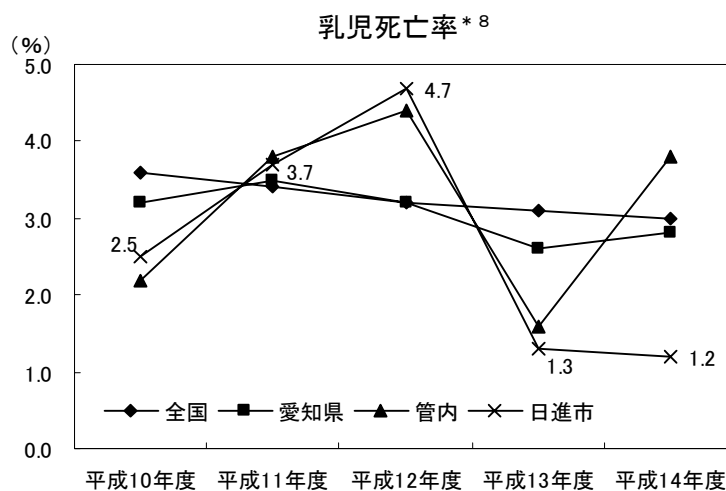
出典：平成14年母子保健に関する統計等（瀬戸保健所）

* 6 死産率

$$\text{死産率(自然死産率・人工死産率)} = \frac{\text{死産(自然・人工)数}}{\text{出産(出生+死産)数}} \times 1,000$$

* 7 周産期死亡率

$$\text{周産期死亡率} = \frac{\text{妊娠満22週以後の死産数+早期新生児死亡数}}{\text{出産(出生+妊娠満22週以後の死産)数}} \times 1,000$$
(平成7年1月から変更)



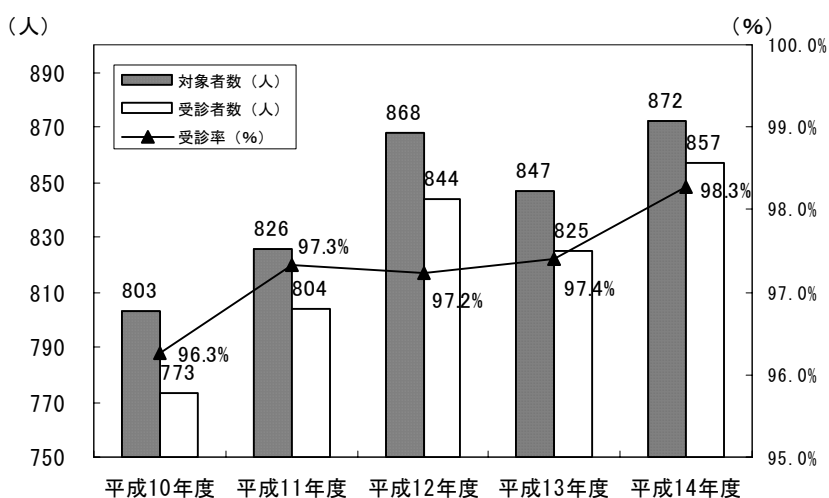
出典：平成 14 年母子保健に関する統計等（瀬戸保健所）

* 8 乳児死亡率 乳児死亡とは生後1年未満の死亡をいう。

$$\text{乳児死亡率} = \frac{\text{乳児死亡数}}{\text{出生数}} \times 1,000$$

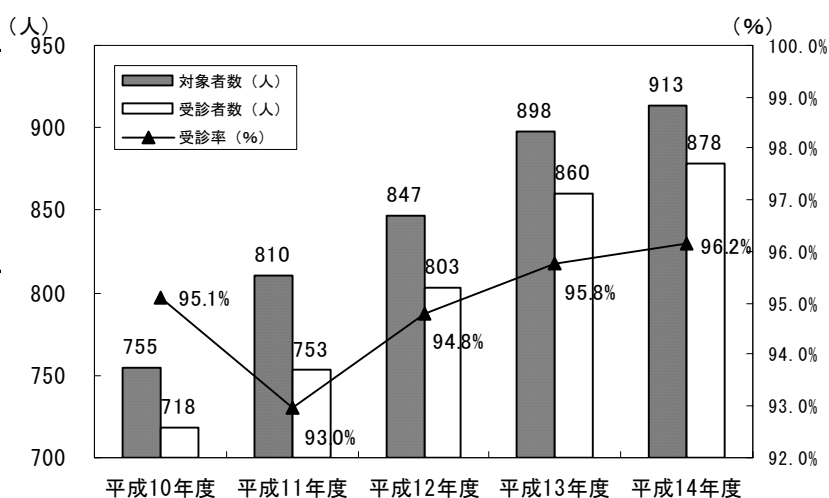
1歳6か月児健康診査受診状況の推移

区分	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)
平成10年度	803	773	96.3%
平成11年度	826	804	97.3%
平成12年度	868	844	97.2%
平成13年度	847	825	97.4%
平成14年度	872	857	98.3%



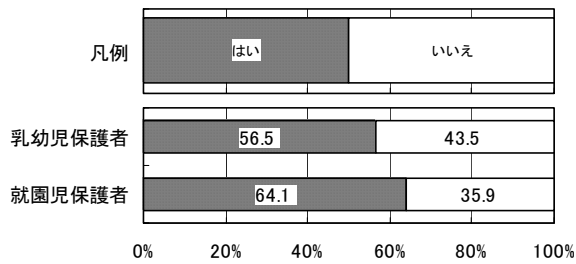
3歳児健康診査受診状況の推移

区分	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)
平成10年度	755	718	95.1%
平成11年度	810	753	93.0%
平成12年度	847	803	94.8%
平成13年度	898	860	95.8%
平成14年度	913	878	96.2%

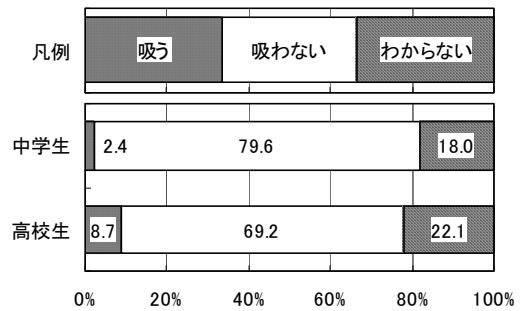


出典：愛知県衛生年報

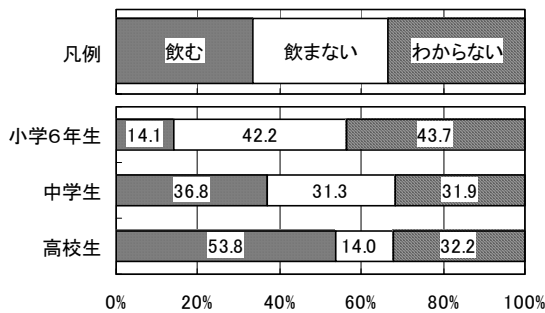
問 休日・夜間の救急医療情報センターを知っていますか



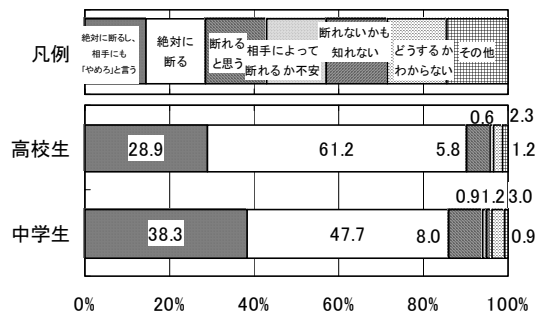
問 今後、タバコを吸うことを勧められたらどうしますか



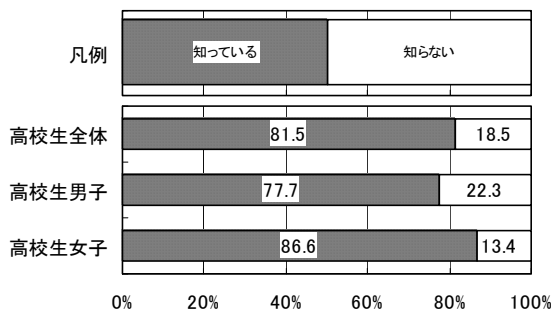
問 今後、お酒を飲むことを勧められたらどうしますか



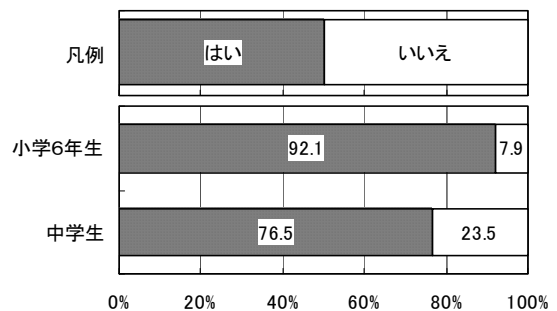
問 今後、シンナーや覚せい剤などを勧められたらどうしますか



問 避妊法を知っていますか

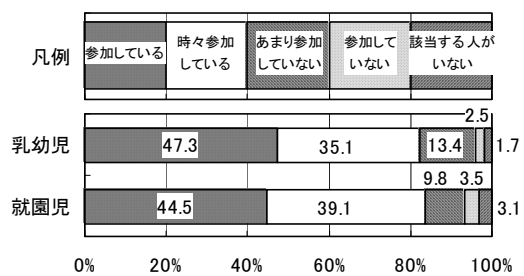


問 自分のことを大切に思うことができますか



出典：平成14年度いきいき健康プランにっしん21アンケート調査結果

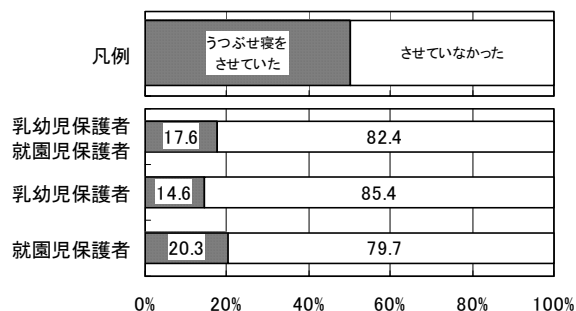
問 父親は育児に参加していますか



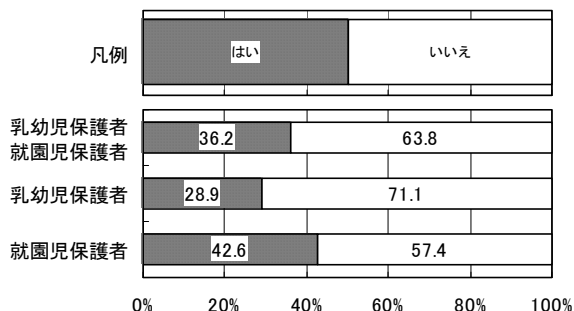
出典；平成 14 年度いきいき健康プランにっしん 21
アンケート調査結果

(9) 安全

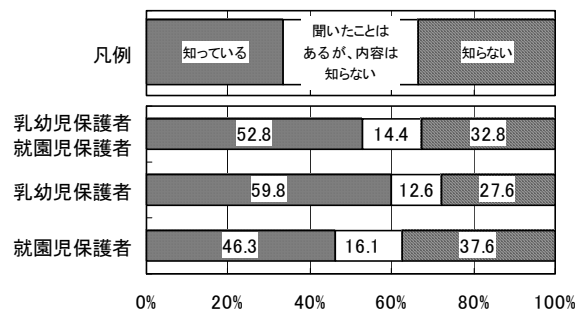
問 乳児期にうつぶせ寝をさせていましたか



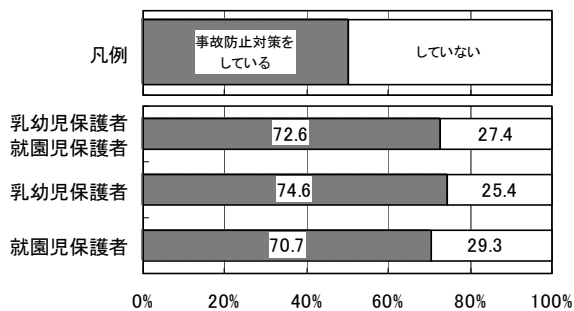
問 お子さんの前で、親がたばこを吸うことがありましたか



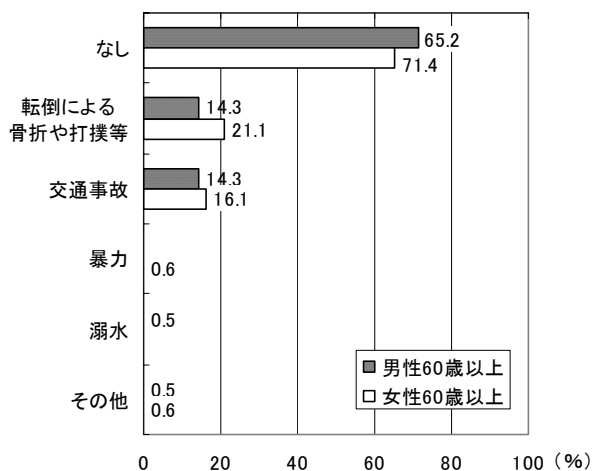
問 ゆさぶられっ子症候群を知っていますか



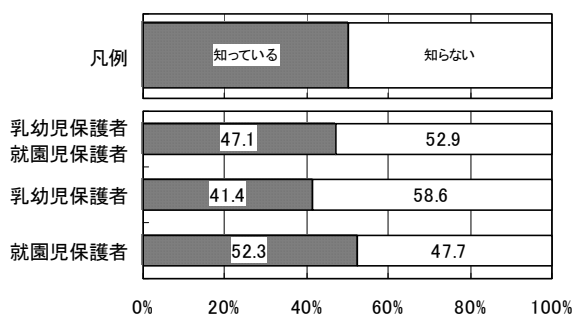
問 お子さんの事故防止対策をしていますか



問 次のような事故などの経験はありますか

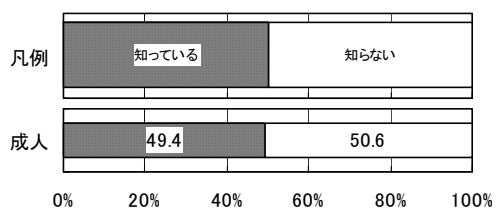


問 心肺蘇生法（人工呼吸法・心臓マッサージ等）を知っていますか

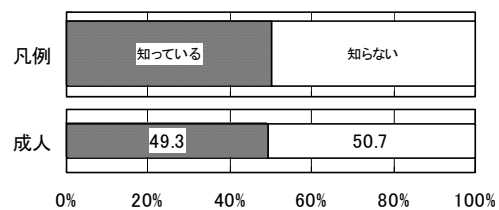


出典：平成14年度いきいき健康プランにっしん21アンケート調査結果

問 心肺蘇生法（人工呼吸法・心臓マッサージ等）を知っていますか



問 けがなどの応急手当を知っていますか



出典；平成14年度いきいき健康プランにっしん21
アンケート調査結果

3. ヒアリング調査結果

(1) ヒアリング調査項目

1) 企業向け

会社概要と健康増進を目的とした活動についておたずねします

問1 あなたの会社の概要について記入してください。

問2 健康増進を目的とした活動内容と問題点についてお答えください。

健康診断、健康相談などの実施状況についておたずねします

問3 健康診断の実施状況と問題点についてお答えください。

問4 健康相談、健康教育の実施状況についてお答えください。

問5 健康管理に関する情報提供、啓発活動についてお答えください。

問6 貴社として、健康づくりに関して特に力をいれている取り組みについてお答えください。

その他職場において健康づくりを進めていく上で、要望等についてご自由にお書き下さい。

2) 団体向け(ゆったり工房)

問1 一人ひとりの健康は、無意識のうちに形成された生活習慣にも大きく関わっています。現在、自分にあった健康づくりを行っていく上で気をつけていること、取り組んでいることは何ですか。

問2 実態調査結果より現在困っていること、将来困ることとして「健康状態」をあげている割合が高いです。病気予防のため、健康づくりについてどのような知識や情報が必要ですか。

問3 心の健康づくりや仲間づくりの場として、どのような場に参加していますか。

問4 困った時の相談相手としては、だれが多いですか。また、どんなことで困っていますか。

問5 その他

3) 団体向け(ハッピーマップ)

問1 一人ひとりの健康は、無意識のうちに形成された生活習慣にも大きく関わっています。現在、自分にあった健康づくりを行っていく上で気をつけていること、取り組んでいることは何ですか。

問2 実態調査結果より現在困っていること、将来困ることとして「健康状態」をあげている割合が高いです。病気予防のため、健康づくりについてどのような知識や情報が必要ですか。

問3 心の健康づくりや仲間づくりの場として、どのような場に参加していますか。

問4 歯の健康のために気をつけていること、または必要な支援等がありますか。

4) 団体向け(商工会女性部)

問1 現在の活動状況について

問2-1 現在の活動の中で、問題点や気づいた点についてお答えください。

問2-2 現在関わりのある市民の抱えている健康上の問題点や気づいた点について

問3 今後の取り組みについてお答えください。

5) 養護教諭

問1 年間の活動状況について記入してください。

問2-1 現在の活動の中で、あなた自身の活動上、また、本市の健康推進上の問題点や気づいた点についてお答えください。

問2-2 現在の立場で感じておられること、またアンケート結果より気づかれたこと。

- ◆学童生徒の現在の健康で特に問題となることについて
- ◆子ども達を取り巻く環境について（パソコンの普及、コンビニ、ファーストフードの増加、核家族化など）
- ◆児童、生徒の健康づくりについての意識や知識について
- ◆親の健康づくりについての意見や知識について
- ◆健康に関する受け皿づくりについて（教育の場の充実など）
- ◆「いきいき健康プランにっしん21」で取り組んでいきたい、いくべきと思うことがありましたらぜひご記入ください

(2) 分野別のヒアリング調査結果

1) 栄養・食生活

企業

- ・食堂のメニューでカロリー・塩分を表示（食堂の無人レジで自動的に表示されるが、見る人はあまり多くない）。

各種団体

- ・糖分や脂肪分を控えること（てんぷら等を控えるという意見もあった）。
- ・野菜を多めに摂る（必要な分を摂り過ぎず、少な過ぎず、バランス良く）。
- ・ご飯をつい食べ過ぎてしまわないように気をつけている。
- ・夜遅くには食物を摂らない。
- ・水分を多く摂る。
- ・どのような生活パターン、食生活などが生活習慣病に結びつくか、具体的に伝えるとよいと思う。

2) 身体活動・運動

企業

- ・会社で利用できる健康や体力チェックをしてもらえるところがあるが、遠く、あまり利用できていない。
- ・仕事が終わると運動をするのがおっくうでなかなかできないので、身近なところに、利用しやすい体育館等の施設があってほしい。
- ・専用の健康増進施設：フィットネス・ルーム、敷地外にはグラウンド、テニスコートがある。
- ・10時、15時に目・肩の疲労回復のため、ストレッチ体操を放送している（休憩等のきっかけにはなるが、ストレッチをする人は少ない）。
- ・フィットネス・ルームがあったり、健保組合提携のジムに行くこともできるが、利用している人が決まっていたり、社内で運動する習慣のある人が少ない。
- ・敷地内のグラウンドを貸してほしいとの依頼が度々ある（グラウンドを使用するには建物を通過しなければならないため、セキュリティ上の制約があり社外の人が利用することはできない。市の総合運動場を紹介しているが、スポーツ施設の利用の条件や環境を整備してほしい）。

各種団体

- ・毎日 15 分程度のちょっとした早歩きをしている。
- ・毎晩寝る前のダンベル体操をしている。
- ・スポーツを定期的に行っている（テニス、スノーボード等）。ストレス発散にもなり、気分が良くなる。
- ・時間があれば、テレビの「みんなの体操」を見て、体操をする。
- ・ゆったり工房でも、毎朝ラジオ体操、散歩をする時間を取っている。散歩して汗をかくことも健康には大切だと思う。
- ・気功をしている。
- ・スポーツセンターに毎日通っている。1000回になった。
- ・天気が良ければ、外へ出かける。
- ・犬の散歩で歩く。
- ・誰でも自然に楽しく元気になれる鳴子踊りに多くの市民が参加している。

3) 休養・心の健康づくり

企業

- ・ストレス等の健康相談をしている（全社員を対象に随時実施）。
- ・社内ネットワーク、健保組合の電話窓口による情報提供。
- ・メンタル的な取り組みとして、社内ネットワークや健康保険管理センターの電話窓口による情報提供をしている（アクセスすれば何らかの情報が得られ、職場の上司からも総務を通じて部下の健康等の相談がある）。

各種団体

- ・指もみを行っているので、（人差し指と親指でそれぞれの指の第1関節の上あたりを挟んで揉む）安眠や健康に効果がある。
- ・日々の生活の中で、早寝早起きや昼夜のメリハリをつけて、自然の良いサイクルに心がける。
- ・十分な睡眠をとっている。テレビ等も控える（午後9～10時就寝、午前7時くらいに起床）。
- ・工房で同じ作業を集中して作業をしていると、ついつい没頭してしまうこともあり、個人個人でストレッチや体操等や作業後のお茶の時間でリラックスしている。
- ・「病は気から」と言うので、特に気を使わないこと、ストレスをためないことも大切であると思う。
- ・運動しようと思ってもなかなかできないので気分転換が大切だと思う。景色の良いところに出かけたりして、気分を変えている。

- ・生活の工夫としてリフレッシュに気をつけている（免疫を高める効果、きれいな花を見る等の気分転換は脳にも良い影響を与える）。
- ・リラックスの一環として旅行（時間に束縛されず自由に過ごす）や古い歴史のある場所（趣きがあり安らぐ）や自然の深い所に出かけたりしている。
- ・無性に「〇〇をしたい」とか「××を食べたい」等の思いは無理に抑えつけない。体や心が必要としているから無性に感じるので、やりたいことを何とかやってみる事が重要であると思う。
- ・夫婦が健康だと子どもも健康だと思う。だから親にストレスをかけないようにしている。
- ・ゆったり工房のような作業所、仲間がいる環境が必要。閉じこもらないことが大切であると思う。
- ・ストレスをためないように、生活の工夫としてリフレッシュのコツを知ることが必要である。
- ・定期的なスポーツ。気分が爽快になり、ストレスが解消される。
- ・父親と夕食後のウォーキング。一緒に歩きながら、その日の出来事やストレスを感じた事を話しながら、アドバイスしてもらっていた（最近ではストレスを上手くこなせるようになったので、あまりしていない）。
- ・早寝、早起きしている。
- ・健康に気をつけたいと思っているが、なかなか実行できない。
- ・地域のつながりが日進市には必要と思う。
- ・にっしん鳴子踊りは、世代交流が自然に生まれる。
- ・痴呆防止・元気になれると高齢の方が鳴子踊りに参加している。
- ・子どもたちに声をかけやすくなり、子どもからも挨拶される関係ができてくる。

4) たばこ

企業

- ・たばこの分煙・禁煙を行っている（事務室・工場内は禁煙、食堂・会議室は分煙としている）。
- ・分煙のスペースが、自販機コーナーにあるため、たばこが嫌いな人にとっては、徹底されていないと感じる人もいる。社員の喫煙率が高く、若い女性でも吸う人がおり、いかに少なくしていくかが問題。
- ・禁煙したい人に、禁煙のボランティアをしたいという定年した社員の方がおり、その人に協力してもらい、禁煙したい人に対して禁煙の講習が行えればよいかと思っている。

- ・禁煙や分煙については、以前は「禁煙手当」を支給することも検討したことがあるが、現在は吸えるスペースを縮小することで対応している。
- ・たばこの分煙・禁煙を行っている（2、4階のリフレッシュ・ルームのみ喫煙可）。
- ・喫煙の影響については、社内ネットワークやポスター等で周知しており、喫煙率は3割程度と少なくなっているが、嗜好品と言うこともあり、徹底が難しい。
- ・非喫煙者から、禁煙についての講演をしてほしいという提案がある。産業保健センターでビデオを借りると、著作権の問題からダビングができず、購入するにも高価なため、健康に関する資料やビデオが企業が手軽に入手できたり、コピーできるような仕組みがほしい。

各種団体

- ・たばこは体に悪いのにどうして売っているのか。病院に自販機が置かれている事に疑問。
- ・たばこは2箱/3日吸っている。パソコンをする時、つい吸いたくなる。

5) アルコール

- ・ストレスなどで眠れない時がある。病気にアルコールは良くないかもしれないが、睡眠のために飲む事がある。

6) 歯の健康

各種団体

- ・15年来の付き合いのある歯科医師にかみ合わせの問題で通院して以来、さまざまな相談をしている。
- ・手でうまく磨けないので、電動歯ブラシを使用している。
- ・以前は、電動歯ブラシは大きいサイズだったけれど、今は小さいサイズができたので、きれいに磨けるようになった。
- ・磨けるようになって口臭がなくなり、自分の部屋も臭くなくなった。
- ・歯の矯正には費用がかかる。
- ・1年に一度歯石を取る。
- ・定期的な検診が必要である。
- ・歯科に行かなくてはならないが、ついつい行きたくないので行かない。
- ・若い頃、朝時間がないので、歯を磨かずに仕事に出かけていた。今は入れ歯になってしまった。後の祭りだ。若いときからの正しい歯みがきが大切である。

7) 生活習慣病

企業

- ・定期健診を行っている（年2回、対象は2交代制勤務者）。
2次健診まで社内で行い、2次健診受診の際に結果を配布している。
- ・生活習慣病についての講話（全1回、対象は課長級以上の社員）を産業医からの希望で、6月はじめに初めて行った。
- ・健康についての啓発活動も、社員が一同に会する機会があまりなく、周知していくことが難しい。
- ・健保組合の資料を配布している。（年4回）全社員に健康保険組合の季刊誌を配布
- ・家庭のある人には、健保組合の健診が安い費用で受診できるようになっており、巡回地点も多く、受診率も高い。
- ・社員に肥満や高血圧の人が多く、社員の栄養管理まで考えていくことは難しいと感じている。
- ・定期健診を行っている（年1回）対象は34歳以下、内容は法定の健診内容に同じ。
- ・定期健診を行っている（年1回）対象は35歳以上、法定のものに、血液検査など7項目を追加している。
- ・成人病健診（年1回）対象は40歳以上、上記に心電図、胃腸検査等を追加している。
- ・1ヶ月の残業時間が45時間を超える社員は産業医の指導を受け、80時間を超える社員は特別健康診断（年12回）の対象としている。
- ・年1回、全社員に健康保険組合の「健康のしおり」を配布している。
- ・健保組合の資料の配布している。

各種団体

- ・市町村や健保組合の検診を受けている。
- ・薬の副作用などを相談できる場所や人が必要である。
- ・薬を飲み続けると姿勢が悪くなるのが気になる。
- ・主治医との良い信頼関係が大切である。（不安や悩みの相談相手になってくれることが期待されている）。
- ・ゆったり工房以外では病院のデイケアを受けている。
- ・健康づくりになるかわからないが、一山超えて病院のリハビリに週3回通っている。
- ・年1回、健診を受けている。
- ・自分がどのような病気に注意しなければならないかわからないので、チャ

ート方式などゲーム感覚でできるようなもので、何に気をつけたらよいか
わかるとよいと思う。結果も多種にわたると更におもしろいと思う（例え
ば、こころ、からだ、たばこ、スポーツする人向けなど）。

- ・集団健診を受けようと思ったが、自分でできないことが多いので受けられ
ない。
- ・健診を受診しない理由として、病気が見つかり、入院したくない。病気が
見つかるのが怖い。
- ・病気になることより、痴呆になるほうが心配である。
- ・夫は、健康診査結果が悪くても、食事管理をしないし、治療もしない。家
族がいろいろ手助けしても本人は頑固で、なかなか受け入れない。
- ・健康に良いこと悪いことはわかっているが、実践できない。
- ・自分が現在どのような生活をしているか気づくことが大切である。どう生
きたいかを考えることによって実践していけることを明確にすることが
大切ではないか。目標をもてたら、変わっていける。

8) 健やか親子・母子保健(養護教諭より)

栄養・食生活

- ・一応朝食は食べてくるが、内容がよくない、ゆっくり食べていない、朝食
や夕食を一人でとる子も問題である。
- ・朝食を食べない理由として、時間がないが1番多いが、食べる気がしない
子が、小3で36.4%、小6で、35.7%、お腹がすいていない子が、小3で
27.3%、小6で35.7%もいることは問題である。
- ・偏食が多い。
- ・インスタント食品、特にラーメンなどは大好きなようである。
- ・おやつにスナック菓子が多く、ジュース、スポーツドリンクなどの甘い物
も好んで飲んでいる。おやつにラーメンはとても問題である。
- ・自分の体形に対する関心が高く、特に女子は体重が軽い方がよいと思っ
ているところがある。この意識を変えることはとても難しい。
- ・コンビニが普及し、スナック菓子、ジュースなどがすぐ手に入り、おやつ
を食べている。
- ・中学・高校になるにつれ、コンビニやファーストフードの利用が増えてい
るようであり、お弁当の時も、コンビニの菓子パンや弁当を持ってくる子
が増えてきている。手軽に食べられるファーストフードやコンビニの食べ
物によって、生活習慣病への移行が危惧される。
- ・核家族化、共働きのためか1人で食べる子が増えている。

-
- ・好きなものだけ食べる子、偏食のある子、少食の子が多いが、幼児期からの食生活が大切である。
 - ・食生活については、知識として知っていても、好きな食物があれば食べる。乳幼児期からの食生活が大切である。
 - ・よく食べるおやつとしてスナック菓子、アイスクリーム、あめ、ジュースがあげられるが、糖分や脂肪分などの害について意識が低いように思われる。
 - ・朝ご飯の必要性を感じていないのか、作っていない（用意していない）から食べてこないと答えた子が多い。

身体活動・運動

- ・遊び場がないわけではないようだが、外遊びをあまりしない。
- ・帰宅後の外遊びも少なく、家の中で遊ぶことが多いようで、運動不足、経験不足も目立つ。またそのために起こるけがも多い。
- ・運動については、外遊びをしない子は、小3で、8.2%、小6で、24.5%いる。
- ・外で体を動かして遊べるように指導していくことが大切である。家の中の遊びの方が楽しいと答えている点も問題である。
- ・テレビゲームの普及により、外で遊ぶのではなく、家で遊ぶことが多くなっている。
- ・パソコン、テレビの普及で外遊びをしない子が増えている。
- ・運動不足の子、肥満傾向の子の増加の原因の一つとして、パソコンやテレビゲームなどの普及があると思われる。
- ・外遊びの必要性を感じないのか、外で遊べる時間に習い事にいくためか、外遊びをする時間がない子が多い。

休養・心の健康づくり

- ・睡眠時間が少ない。
- ・起床が遅い。寝る時間が遅い。学校が休みの日はもっと遅い。
- ・小学3年生で10時以降に寝るという子が31.4%（約3割）いる。小6になると夜寝る時間に個人差があり、夜11時以降に寝る子が約4割いることに驚いている。
- ・就寝時刻の遅さが気になる。子どもの話を聞いていると、帰宅後、すぐ習い事、食事入浴の遅れ、その後、学校の宿題等で、時間に追われ、ゆとりのない忙しい生活が伝わってくる。また、逆に、何をするわけでもなく、起きているという子も多くいる。それが影響して、自分ですっきりとめざめることができず、起こしてもらおうという子の多さも気になる。
- ・不安が高くなったりと、心の耐性のない子どもたちが目立つようになったこと。
- ・ストレスを感じやすい子が増えている。
- ・ゲーム、パソコンの普及により、メール・チャットなどかなりのめりこんでやっている生徒はいる。そのため睡眠不足になっている。健康を害するまでには至っていない。
- ・パソコン、携帯電話の普及は機械器具に向かって、文字を送受信しているが相手が肉声でないので話をするのが少なくなった。人のことを考えて行動しにくいなど、友人関係が希薄になっている。
- ・高学年になるとメールやりとりを夜遅くまでしているという子が増えてきて、小学生のうちからと驚く面もある。
- ・核家族化やゲーム・パソコンの普及により、対人関係も希薄になり、集団生活で不安定さをみせる子も多くなっている。
- ・自己中心的、人とのコミュニケーションがうまくとれない、思いやり不足、ネガティブな志向の人が多い。
- ・目の前のことが楽しければという考えが多く、将来的にという発想はほとんどできない子が増えた。
- ・正しい情報の選択ができない。
- ・友人との距離の取り方のわからない子、苦手な子が増えてきている。
- ・友人関係を維持したり、深めたりすることができない子が多いのは、体験不足からきていると思う。
- ・睡眠リズムの乱れから、生体時計が勝手なリズムで動き出し疲れやすく、食欲や集中力の低下、イライラしたり感情のコントロールが困難になっている子が多く、大人の責任で子どもの「眠る環境」を整える努力が必要である。

たばこ・アルコール

- ・喫煙について、父親は半分以上、母親は2割以上吸っている状況では、子どもは喫煙が悪いとは考えにくい。
- ・飲酒・喫煙もいけないことは十分理解している子が、カッコよいことととらえている傾向がみられること。
- ・飲酒、喫煙、薬物について正しい知識を子どもたちに伝えなければいけないと思う。
- ・禁煙が叫ばれる昨今ですが、喫煙者が予想以上に多い実態に驚いている。
- ・子どもに吸わせたくないと思いつつも、子どもの前で煙草を吸っている人が多い。
- ・喫煙教育、薬物乱用防止、性指導など、子どもたちが健康を意識していく力を育てるとともに害を与えるものから身を守る判断力を持つ子の育成に努めることが重要である。
- ・飲酒を勧められるのは、家族等の大人が多いので、大人の意識を変えることも大切である。

歯の健康

- ・毎日歯みがきをしない子もいたり、また、していても寝る前に磨かない子が20%ほどいる。

生活習慣病

- ・アレルギーの増加が見られる（鼻炎、喘息、アトピー）。
- ・子どもの頃からの「生活習慣病の予防」について取り組んでいく必要を感じる。
- ・基本的な生活習慣はもちろんであるが、一番気になることは、自尊感情が低いことである。
- ・排便について調査をした結果、朝、家で大便をした児童が13.8%だった。起床から登校までの時間をゆっくり生活できていない。
- ・自分の健康に対して格段の不安を感じているわけではないので学習した知識が結びつきにくい。
- ・子どもの睡眠時間が5～6時間と答えている親や、成人するまでに喫煙や飲酒があっても自分もやっているから仕方ないと答えている親がいることなどから、健康づくりへの意識が低い親がいる。
- ・子どもの健康づくりは、まず家庭での生活習慣づくりが重要であるので、親への啓発活動が必要である。

その他

- ・性に関しても、危機感なく楽しければと、興味をもつことをやってしまう子どもたちが目立つようになっている。
- ・携帯電話の普及により、出会い系サイトの利用者が増え、性の逸脱行動が問題になっている。

教育

- ・親の意識や態度は、そのまま子どもに伝わるので、子どもをよくするためには、親の意識を変えていく必要があると思う。子どものことを大切にしている半面、過保護になってきているように感じる。
- ・中学生のころには、子は塾や部活、親は仕事（特に母親が仕事を始める）とすれ違いの生活をするが多くなり、会話やいっしょに過ごす時間が減っている。
- ・勉強や進学への関心は高いが、健康への意識はないがしろになりがちである。
- ・最も身近な存在である母親が仕事を持っている場合が多く、コミュニケーション不足もあるように感じるが、教育には関心がある。特に、学習面に力を入れており、塾や習い事へ通わせていることが多い。健康面にも学習面と同じように力を入れて欲しい。
- ・親の世代が夜型（24 時間社会に、大人が子どもを巻き込んできた結果）で、自分勝手型で育ってきている。
- ・親が「子どものために」というより、自分のために生活している傾向にある。
- ・子どもがどんな思いでいるのか知ろうとする親は少ないし、子ども側から親は何もわかってくれないと訴える生徒は多い。
- ・過保護、過干渉、子どもとの付き合い方、距離の取り方が分からない親が増加している。
- ・自己中心、人とのコミュニケーションがうまくとれない。
- ・健康に関することは、学校だけでは十分でない。市、地域や家庭と連携し、教育の場（場所、機会、内容）を充実させるとよいと思う。（児童は主に学校、家庭、保護者は主に地域などのように）。
- ・学校での教育を充実させたりすることはもちろんのこと、親子いっしょに体験したり、活動したりする機会があると、さらに健康に関する興味・関心がでてくるのではないかと思う。
- ・総合の時間もどんどん活用できるとよいと思う。
- ・就学前と小・中・高は、教育や管理ができていたが、その後、成人への教

育（親としてのあり方）の場があるとよいと思う。

- ・専門家が常に学校とかかわれるようなネットワークを作りたい。
- ・誕生から、死までの一貫した健康教育や、管理システムができていくとよいと思う。

9) 安全

企業

- ・始業前のラジオ体操を行っている（事故防止、健康維持のため）。
- ・特にということではないが、工場での作業性の点からも、腰痛などの防止のため、作業台の高さを調節したり、重いものも特殊なキャリアや台車を利用して、女性や高齢者にも配慮している。また作業所内は全館冷暖房が完備となっている。

各種団体

- ・アルコールと薬の組み合わせで気分が悪くなって、親に相談したら、飲む事を控えさせられたりと心配された。
- ・夫や母親の病気の度合いなどを毎日チェックしてくれる。
- ・救急法を消防署を招いて全員に普及している。
- ・地域の連帯感が薄いので、いざという時に困る。

10) その他

各種団体

- ・病院の医師に相談している（ただし、話すと薬の量が増えてしまうだけで下手に相談できないという意見も）。
- ・今日（ヒアリング）のように自分たちの健康について話し合える機会を持ってメンバーにとって良かった。
- ・プランに対して一人ひとりが意識して取り組めるようなことができるとよい。全ての住民が参加、目標をしぼってみんなで取り組めるとよい。
- ・一人ひとりの自己責任による健康づくりではなく、みんなで支え合う健康づくりをプランニングしていく。
- ・今までのように行政割ではなく、本当の意味で手を取り合って進められたらと思う。
- ・子どもが小さい時は、親同士の交流等があるが、子どもから手が離れ、老人会に至るまでの間（20年間程度）、地域との接点が少なくなっている。また、その世代の人を引き込むような場も少ない。

- ・身近で楽しい会があるといい。みんなが寄れる所があるといいなと思っている。
- ・いろいろな活動があっても、積極的な人しか参加しない。他の人は忙しいのか、家にこもっている。
- ・地域活動や交流する場へ参加するきっかけがないのだと思う。
- ・市では市民交流会などを企画しているが、どうしたらもっと多くの人に知ってもらえるか、アプローチ方法を検討する必要がある。

4. 健康づくり関連事業一覧表(平成15年度事業)

(1) 栄養・食生活

事業名	担当課	内容
安全な食品		
三者懇談会	産業振興課（日進消費生活研究グループ）	「食品の安全・安心と地産・地消」について行政・事業者・消費者の3者が協議
家庭菜園	産業振興課	市内7か所の菜園（1区画30㎡）を1世帯あたり1区画を限度に3年契約で貸出
高齢期の食生活の偏り		
365日あったか食事サービス	長寿支援課	調理や買い物が困難な高齢者が自立して生活できるように支援
正しい食生活を送るための支援		
野菜研究会	産業振興課（野菜研究会）	野菜の食べ方の教室の開催朝市等の活動
料理教室	産業振興課（日進消費生活研究グループ）	食を通しての健康管理や生活改善を目的に実施
給食センター見学会の開催（特別見学会）	学校給食センター	給食センター施設の概要説明・施設見学・給食の試食等の実施
みんなの生活展健康ドリンクコーナー	産業振興課（日進消費生活研究グループ）	生活習慣病予防に効果がある健康ドリンクの試飲を行い、普及
試食会	学校給食センター	保護者を対象とした試食会
医療費通知	保険年金課	自己の医療費を通知し、自己の健康管理の機会の提供及び医療費の抑制
パンフレット、健康カレンダー等の配布	保険年金課	健康への意識の向上を目指し、配布
ヘルシー栄養教室（食生活改善推進員養成講座）	健康推進課	地域で食生活を中心とした健康づくりを推進する食生活改善推進員（ボランティア）を養成する講座
地域ふれあい健康教室	健康推進課（食生活改善推進員会他・県）	地域住民が、主体的に健康づくり活動ができるための支援を行う（県からの委託事業）
ヘルスサポーター21講習会	健康推進課（食生活改善推進員会・県・国）	自分の生活スタイルにもとづいた健康づくりを実践する人を育成する講座（県からの委託事業）
学校の取り組み		
献立表配布事業	学校給食センター	献立に関して情報を提供
学校訪問（栄養指導）	学校給食センター	児童生徒の喫食状況を把握し、栄養指導を通じて学校給食の大切さを啓発
栄養指導	市内各中学校	望ましい食生活の指導給食指導の時間を利用して、給食センターの栄養士による指導を実施
体重測定時ミニ保健指導	市内各小学校	生活習慣（朝食・運動・睡眠等）や姿勢、背骨についての指導
ファミリーサポート事業の勉強会	子育て総合支援センター	外部からも講師を招き、子どもを預かる際の栄養や遊ばせ方等の学習の機会を提供
学校保健委員会	市内各小学校	児童の健康管理についての情報交換と生活習慣病予防についての講話の実施
食育（学習の場づくり）		
試食会	学校給食センター	（再掲）
給食センター見学会の開催（特別見学会）	学校給食センター	（再掲）

みんなの生活展健康ドリンクコーナー	産業振興課（日進消費生活研究グループ）	（再掲）
ファミリーサポート事業の勉強会	子育て総合支援センター	（再掲）
親子料理教室	健康推進課（食生活改善推進委員会）	小学校3～6年生の親子を対象に食生活、栄養に興味を持ち、実践できるような支援を行う
食育たんけん隊	健康推進課（食生活改善推進委員会食育グループ）	小学校3～6年生を対象に食に対する正しい知識を伝える講習会を開催

（２）身体活動・運動

事業名	担当課	内容
地域活動		
レク・ジュニアリーダー育成部	スポーツ課	遊びやレクリエーションを通じて、上級生がリーダーとなり、下級生に教えたり、社会性や協調性を学ぶ機会づくり
各種教室	スポーツ課	ナイターエアロビクス教室 年少少女バレーボール教室 弓道教室 バドミントン教室 年少少女バドミントン教室 健康フィットネス教室 親子・年少少女サッカー教室 ※健康フィットネス教室は託児もあり
地域活動、運動メニュー、交流活動に関わるもの		
バスケット3on3 市内大会	スポーツ課	県の事業「スポレク2003」の市内予選会
健康うおーく2003	スポーツ課	広報で参加者（160名程度）を募集。バスで目的地まで移動し、ウォーキングを実施
スポーツフェスティバル	スポーツ課	ニュースポーツの紹介（※ニュースポーツ：順位、競技性を意識せず、誰もが楽しめることを目的としたスポーツ）
2003 にっしんわいわい！マラソン・ウォーク大会	スポーツ課	・うさぎの部 マラソン（競技、有料）・かめの部 ジョギング、ウォーキングに分かれて実施
クラブ活動、スポーツ大会	学校教育課（各小中学校のクラブ活動）	11月には学校間のサッカー、バスケットボール大会を開催
友好姉妹提携事業「やぶはら高原ハーフマラソン大会」参加	産業振興課（商工会）	友好姉妹提携事業の一環として、毎年木祖村のマラソン大会へ会員が参加し、交流を深めるとともに、体力の増進に努めることを目的に実施
長距離走大会	市内各中学校	体力づくりの一環として実施
高齢者への運動メニューの提供		
らくらくいす体操とストレッチ教室	スポーツ課	高齢者を対象に運動の機会の提供
ライフスポーツ体験会	スポーツ課	生涯スポーツの体験会。内容はソフトバレーボール、ファミリーバドミントン、ショートテニス、ドッジビーの4種類
ことぶき健脚教室	長寿支援課（在宅介護支援センター）	転倒防止に関する教室を行うことにより、介護予防を図る。運動実技が中心。その他に栄養、足のケア、住宅改修等に関する講話を実施
フレッシュクラブ高齢者体操	福祉推進課福祉会館	体操を通して自分の身体を見つめ直し健康な日々を送ることを目的に実施
幼児の遊び教室（体を動かす）		
親子体操教室	スポーツ課	親子対象の講座

親子ピクス教室	スポーツ課	(平成 15 年度新規事業)
遊び及び活動の支援	子育て総合支援センター	あそびの広場を月～金、午前 10:40～11:00 に開催。子どもとのあそび方を保育士から学ぶ機会、親同士のコミュニケーション、ホッとできる場を提供

(3) 休養・心の健康づくり

事業名	担当課	内容
子どもの心を育てるネットワークづくり		
適応指導教室ハートフレンドにっしん	学校教育課	不登校児童・生徒に対する支援。教室に参加すれば学校の出席扱いとなる。家から教室、教室から最終的には学校に行けることが目的
日進中学親の会	市内各中学校	不登校傾向の生徒の保護者の受容の場として活動
おはなし会	図書館	子どもたちへの本に親しむきっかけづくりを目的に、絵本の読み聞かせ、パネルシアター、工作、紙芝居等を実施
育成事業	図書館（日進市子ども文庫連絡協議会）	おはなし会等の活動の他に、文庫活動実践講座、絵本講演会及び人形劇団の公演等の実施
読み聞かせグループの支援事業	図書館	子どもに本に対する親しみを感じさせる、親子の触れ合いの場づくり
子どものあそび	福祉推進課（福祉会館）	ぞうさんルーム、クレヨン広場、ノントン広場、きらきらルームでの遊びを通じた活動を実施
放課後児童健全育成事業・児童クラブ・学童保育	児童課	
学校開放事業	学校教育課	梨の木小、相野山小の多目的教室を一般に開放香久山小学校はグラウンド、体育館の貸出
トワイライト・スクール（放課後開放事業）	学校教育課	月曜～金曜の学校終了後～午後 6 時まで。目的は異学年児童の交流・コミュニケーション。人とのふれあいや思いやりの心を育成
福祉教育の推進	社会福祉協議会（自主事業）	社会福祉協力校を指定し、福祉実践教室や、青少年ボランティア体験学習を実施
障害児の社会（学校）参加		
学校の改修	学校教育課	市内の小中学校の多くが昭和 40 年代に建設されたもの。和式トイレを洋式トイレに改修する等、順次整備を実施
気軽に相談できる環境づくり		
相互援助、情報提供、子育て講座、子育て相談	子育て総合支援センター	
子育てグループの支援、育成、助言	子育て総合支援センター	
こころの連絡会	福祉推進課・健康推進課	福祉職員、ヘルパー、保健師など関係者が集まり、ケースに関する相談や情報交換、勉強会の場として活用する
心の相談・支援		
家庭教育相談	学校教育課	主に保護者を対象に、いじめ、不登校、非行、学業等の相談
こころの教室相談員事業	学校教育課	学業・恋愛・不登校・いじめ等中学生が抱える心の問題の相談（相談員は大学の心理学専攻者）
市民こころの健康相談	福祉推進課・健康推進課	心の健康や病気に関すること等に、精神保健福祉士による相談
家庭相談室業務	児童課	18 歳未満の児童に関する全般的な相談（育児、生活習慣、発達、生活、家族関係、非行等）

福祉相談事業	社会福祉協議会（自主事業）	日常生活上の福祉問題や福祉サービスの相談窓口として「心配ごと相談」を開設
介護者のつどい	健康推進課・在宅介護支援センター	家庭で介護している家族が孤立しないよう同じような立場の者同士が、情報交換したり、気持ちを共有できる場を提供
こころの健康講座	健康推進課	うつ病などのテーマで市民向け講座を開催
人と人とのコミュニケーション事業		
ヒューマンカーニバル	市民交流課	市内（在勤・在住）で活躍している人の紹介。小学生には交通安全ポスターを公募。小学生と大人との討論会等も実施
障害者団体への支援	社会福祉協議会（社会福祉団体の育成）	心身障害者（児）クリスマス会、視覚障害者交流会、身体障害者カラーリング大会、介護者のつどい等を開催
心身障害者療育事業（あゆみ園）	福祉推進課	健康診断・歯科健診・遠足・宿泊体験・朝の散歩等の実施（日常的な健康管理のひとつとして行っている）
にしん市民美術展開催事業	社会教育課	美術文化の普及・振興及び次代を担う有為な人材の育成が目的。市民から公募した作品を展示・公開
にしん文化祭開催事業	社会教育課	文化協会の協力を得て、文化的作品の展示及び舞台発表の実施
にしん子どもフェスティバル開催事業	社会教育課	芸術文化活動の普及・向上に努め、市の文化振興と次代を担う子ども達の健全育成を図る。市内の中学生以下子ども達を中心となって活動している舞台芸術グループが一同に会し、舞台発表
写生画展「にしんの今をえがこう」開催事業	社会教育課	市内在住・在園・在学の満4歳以上から小学6年生以下子ども達が対象。夏休み中に日進市内の自分の好きな場所を写生した絵を募集
文化協力講座 社会教育講座	社会教育課	市民の文化意識の向上を図るために、実際に文化に触れて、習得のきっかけづくりとして、文化協会から講師を招き、それぞれの分野での実習を実施

（４）たばこ・アルコール

事業名	担当課	内容
未成年への禁煙教育の徹底		
禁煙指導	市内各中学校の健康に対する取組み	たばこの害の理解と断り方を身につける。学級担任と養護教諭のチーム・ティーチングでたばこの断り方のロールプレイや社会環境について考えられるよう指導
たばこ・薬物・飲酒についての指導	市内各小学校の健康に対する取組み	喫煙、飲酒、薬物乱用を防止し、健康な生活を実践しようとする態度を身につけられるよう指導
公共施設の受動喫煙防止		
市公共施設の禁煙・分煙の取り組み	健康推進課・市安全衛生委員会（職員課）	市公共施設・学校における受動喫煙防止対策の現状調査と推進に向けた働きかけ

(5) 歯の健康

事業名	担当課	内容
情報提供と教育		
歯みがき運動	市内各中学校	歯みがきの習慣を形成する目的で給食後の歯みがきを実施
歯みがき週間	市内各小学校	6月2日から6日まで、給食後の歯みがきを実施。歯みがきチェックカードや2、4年生には染め出しによる歯みがき指導等も実施
食後の歯みがき	市内各小学校・保育園	健康の自己管理ができる児童の育成の一環として給食後の歯みがきを実施
むし歯予防事業	市内各小学校	一生自分の歯で食べられる子を育成するために、フッ素洗口を実施
児童集会での発表	市内各小学校	虫歯の予防、風邪の予防について、委員会の児童による発表
8020 表彰	歯科医師会	8020 達成した人を表彰
健康教育	中学校	歯科医師による教育
歯の優良児の表彰	各小中学校	各学校で優良児の表彰を実施
子育て支援センター (講座)	にしん子育て総合支援センター	フッ素、食生活、歯並び、歯みがき啓発
健康・福祉フェスティバル	健康推進課	口腔写真をとって啓発
広報・にしんテレビ	市民交流課・健康推進課	歯についての特集
母親教室	健康推進課	妊婦への知識の提供
妊婦歯科健診	健康推進課	妊婦への歯科健診の機会の提供・健康教育
歯みがき指導	歯科医院	受診時に正しい歯ブラシの使用方法についての指導
予防に関する指導	長寿支援課・健康推進課	コミュニティサロン・老人クラブ・健康教室での歯の健康に関する教育
歯みがきの環境整備		
歯みがき指導	市内各中学校	クラス単位で歯と歯肉炎予防、ブラッシングについての指導を実施
学校歯科医・歯科衛生士によるブラッシング指導	市内各小学校	初めての永久歯である6歳う歯の生えそろう時期に歯みがきの実習をすることで、正しい歯のみがき方を身につけ、虫歯予防に留意するよう指導
デンタルフロスの使い方	歯科医院	う蝕予防、歯周疾患についての知識、具体的な方法について指導
情報提供と教育		
歯の健康センター	健康推進課	3～6歳児を対象に年1回実施。歯科健診・相談、フッ素塗布を実施
2歳児歯科健診 (むし歯0教室)	健康推進課	2歳0か月、2歳6か月児に歯科健診、フッ素塗布ブラッシング指導を実施。2歳児のみう歯予防の講話を行っている
妊婦歯科健康診査 (母親教室)	健康推進課	妊婦に対して母と子の歯についての健康教育、歯科健康診査、ブラッシング指導を実施

(6) 生活習慣病

事業名	担当課	内容
生活習慣病の予防と早期発見 情報提供と教育		
健康手帳の交付（40歳以上、30歳以上）	健康推進課	手帳に健康診査等の記録を記載することにより、自らの健康管理に役立ててもらうために交付
健康教育		
<ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病予防教室 ・高脂血症教室 ・市民健康講座 ・個別健康教育(高脂血症) ・男性のための料理教室 ・こころの健康講演会 ・地域出張健康教育 ・健康・福祉フェスティバル ・食生活改善推進員研修会 ・運動普及推進員研修会 	健康推進課	健康に関する事項について、正しい知識の普及を図っている
健康相談		
<ul style="list-style-type: none"> ・介護者のつどい ・健診結果説明会 (人間ドック、65・70歳) ・地域出張健康相談 	健康推進課	心身の健康に関する個別の相談に応じている
健康診査		
<ul style="list-style-type: none"> ・健康診査（基本・一般） ・人間ドック ・65・70歳健診 ・歯周疾患検診 ・骨粗鬆症検診 	健康推進課	心臓病、脳卒中等生活習慣病を予防する対策の一環としてこれらの疾患の疑いのある者又は危険因子をもつ者をスクリーニングするとともに、診査の結果、必要な者に対して、栄養や運動等に関する正しい知識の普及を行っている
がん検診		
(集団・個別) <ul style="list-style-type: none"> ・胃がん検診 ・子宮がん検診 ・肺がん検診 ・乳がん検診 ・大腸がん検診 	健康推進課	がんに対する予防教育及び検診を実施
機能訓練		
<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリ教室 ・コミュニティサロンのプログラム 	健康推進課 長寿支援課	疾病、外傷、老化等により心身の機能が低下している者に対し、心身の機能の維持回復に必要な訓練を実施
訪問指導		
<ul style="list-style-type: none"> ・訪問指導 	健康推進課	療養上の保健指導が必要であると認められる者及びその家族等に対して、必要な指導を行う

(7) 健やか親子・母子保健

事業名	担当課	内容
疾病の発見と相談への対応		
3～4か月児健診	健康推進課	保健師による予防接種説明、管理栄養士による離乳食講習・試食、計測、診察、子育て相談を実施
1歳6か月児健診	健康推進課	保育士による手遊び・読み聞かせ、内科健診、歯科健診、相談（子育て・歯科・栄養・心理）を実施
3歳児健診	健康推進課	保育士による手遊び・読み聞かせ、内科健診、歯科健診相談（子育て・歯科・栄養・心理）実施
母親健診	健康推進課	3～4か月児健診に来所した母親に血圧測定、尿検査を実施
妊婦健診（医療機関委託）	健康推進課	母子健康手帳交付時に妊婦健診の無料券を発行し医療機関での健診を実施（1名につき2回）
乳児健診（医療機関委託）	健康推進課	生後1年以内に、医療機関での乳児健診を1名につき2回実施
子育て相談と支援		
10か月なかよし相談	健康推進課	保健師による子どもの事故防止説明、管理栄養士による離乳食講習・試食、計測、子育て相談を実施
乳児相談 （赤ちゃん教室）	健康推進課	乳児～1歳6か月児を対象とした教室 計測、育児相談、栄養相談、離乳食講習（講話・試食）を実施。また保護者同士の交流の場としても利用してもらっている
幼児相談 （ちびっ子教室）	健康推進課	発育・発達等について相談希望のある親子が参加する遊びの教室（月3回実施）
新生児訪問	健康推進課	生後2か月以内の第1子を対象に助産師・保健師が家庭訪問をし、計測と育児相談を実施
家庭訪問	健康推進課	乳幼児とその保護者を対象に保健師が家庭に出向き発達や育児等の相談を実施
乳幼児電話相談 （ピョピョコール）	健康推進課	助産師による育児電話相談
子育てなんでも相談	健康推進課	保健センターで保健師・管理栄養士による電話相談を随時実施
子育て情報の提供と啓発		
母子健康手帳交付 （ミニママクラス）	健康推進課	保健師が母子健康手帳の使い方と行政サービスの説明を実施。希望者は胎児の発育のビデオを視聴
母親教室	健康推進課	保健師・管理栄養士・助産師による妊娠・出産についての情報提供（相談）、妊婦同士の交流会を実施
両親学級	健康推進課	初妊婦とその夫を対象とした教室。ビデオ鑑賞、妊婦体験、沐浴実習、マタニティエクササイズ、交流会
祖父母のための赤ちゃんおフロ教室	健康推進課	孫の誕生を迎える祖父母を対象に、助産師による新生児の沐浴指導等知識の提供と実習を実施
保護者の仲間づくりを支援		
多胎児交流会 （かるがもキッズ）	健康推進課	双子以上の親子、および双子以上を出産予定の妊婦の交流会（年4回開催）
障害児交流会 （すみれグループ）	健康推進課	何らかの障害をもつ児とその保護者の交流・情報交換（年4回開催）

感染症の予防とまん延防止		
集団予防接種	健康推進課	乳幼児・学童を対象に保健センターにて実施 ポリオ、ツベルクリン反応検査・BCG
個別予防接種	健康推進課	乳幼児・学童・生徒を対象に市内医療機関で予防接種を実施 三種混合（DPT）、二種混合（DT）、麻しん、風しん 日本脳炎

（８）安全

事業名	担当課	内容
家庭での事故防止についての啓発		
乳幼児健診・相談	健康推進課	家庭内で起こる子どもの事故について、保護者へ注意を喚起し事故防止のための知識を普及
子ども会役員に対する安全教育	社会福祉協議会 （子ども会連絡協議会）	子ども会役員に対して、事故防止や救命処置の講習会を実施
女性防災クラブ員に対する安全・防災教育	総務課（女性防災クラブ）	会員に対して救命処置の講習会を実施
商工会女性部員に対する安全教育	産業振興課（商工会女性部）	会員に対して救命処置の講習会を実施
安全マップの作成	総務課	防災、交通安全について学ぶとともに安全マップを作成（小学生）

5. 社会資源一覧表

社会資源一覧は、ワーキング作業の中でA、B、2つのグループが各々抽出したものです。今後の推進活動の中で、総合的にまとめていく過程のものです。

(1) Aグループ

分野	項目	対象
栄養	栄養士の派遣	小中学校
"	集会所の活用	
"	栄養成分表示の実施店	市内の栄養成分表示店
"	栄養に対する支援	薬局、病院
"		保育園、小中学校
"		保健センター、給食センター、市役所
"		大学
"		子育て総合支援センター等
"		とにとクラブの活動
"	あったか弁当配布店	あったか弁当配布店
運動	公共運動施設	小中学校
"		スポーツクラブ
"		中央福祉センター、福祉会館、市民会館
"		大学
"		レディースクリニック等産婦人科
"	ウォーキングコースの例	総合運動公園～新池の南～名古屋豊田線
"		三本木のドラッグソネ付近～南山エピック～愛知国際病院の南
"		愛知池周回（健康の道）
"		岩崎公民館～御嶽山～竹の山団地公園～瀬戸大府東海線
"		スポーツセンター～蟹甲交差点～岩崎川
"		日進駅～米野木駅～天白川
歯	歯科に関する取組み	歯科医院、薬局
"		日進東中学校、東小学校のフッ素洗口
"		中央福祉センター、福祉会館
心	休養・心の健康に関する取組み	ゆったり工房、商工会、鳴子踊り
"		中央福祉センター、福祉会館
"		にしん子育て総合支援センターなど
たばこ	禁煙指導	日進東中学校
"	禁煙外来	藤田保健衛生大学（市外）
市外	市外の施設	名東区 牧野ヶ池緑地周辺（ウォーキングコース）
"		東郷町 愛知スイミング
"		東浦町 あいち健康プラザ
"		豊明市瀬戸保健所豊明支所
"		大府市あいち小児保健医療総合センター
"		東郷町 和合病院
"		" 地域生活支援センター 柏葉
"		三好町 三好CC
"		東郷町 名古屋GC 和合C
"		名東区 愛知CC

(2) Bグループ

分野	項目	対象
栄養	施設	保健センター、給食センター
〃		愛知学院大学、名古屋学芸大学など
〃		愛知牧場
〃		農協
運動	ウォーキング	あじさい遊歩道
〃	運動に適した場所	水晶山緑地
〃		スポーツセンター
〃		三ツ池公園東側近辺
〃		愛知牧場、愛知池
〃		宗教公園 五色園
〃		総合運動公園
〃		口論議運動公園
〃		東山グラウンド
〃		相野山福祉会館
〃		中部大学附属高校、日進高校
心	心理系学部、心の相談室	大学（椋山女学園大学、市外だが淑徳大学）
〃	公園、景観のよいところ	五色園
〃		愛知牧場、愛知池
〃		しらたまほし草（総合運動公園内）
〃		岩崎御嶽社・平成展望台
〃		岩崎川、北新田川沿いの桜並木（岩崎町）
〃	施設	ゆったり工房
〃	ゆとりを感じられるところ	マスプロ美術館
〃		蔵のギャラリー
〃		森の泉（銭湯）
〃		かいわランド（水晶山緑地内）
たばこ	禁煙	名鉄豊田線沿線の各駅
〃		東郷 PA
〃		部福祉会館、保健センター、スポーツセンター等の公共施設
〃	禁煙教育	日進西高校
〃		日進高校、中部大学附属高校
歯	拠点	歯科医院、薬局、保健センター
その他	世代間交流	愛知牧場
市外	市外の施設	東浦町あいち健康プラザ
〃		豊明市瀬戸保健所豊明支所
〃		大府市あいち小児保健医療総合センター
〃		国立東名古屋病院
〃		東郷町 和合病院
〃		〃 地域生活支援センター 柏葉
〃		藤田保健衛生大学 禁煙外来
〃		県農業センター
〃		長久手町 ござらっせ
〃		名東区 牧野ヶ池緑地周辺（ウォーキングコース）
〃		東郷町 愛知スイミング
〃		三好町 三好CC
〃		東郷町 名古屋GC 和合C
〃		名東区 愛知CC

6. 国・県の数値目標一覧表

(1) 栄養・食生活

健康計画21の目標項目	対象者	日進市		愛知県		国		備考
		現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	
質・量ともにきちんとした食事をする人の割合								
1日最低1食、主菜と副菜のそろった食事を家族や友人と楽しく、30分以上かけてとる人の増加	成人	33.3%	70%以上	65.1%	80%以上	56.3%	70%以上	国、県の指標は成人のみだが、中学生は成人と同様の設問であり、成人に準じ70%以上。
	中学生	34.1%	70%以上	—	—	—	—	
	高校生	22.5%	70%以上	—	—	—	—	
		アンケート調査結果より		平成12年 生活習慣関連調査		平成8年 国民栄養調査		
朝食を誰かと一緒に食べている人の割合	小学3年生	71.5%	90%以上	—	—	—	—	努力目標とする。
	小学6年生	64.6%	90%以上	—	—	—	—	
	就園児保護者	79.4%	90%以上	—	—	—	—	
		アンケート調査結果より						
子どもの栄養のことを考えて調理したり、食事を選択する人の割合の増加	乳幼児保護者	88.7%	100%	—	—	—	—	努力目標とする。
	就園児保護者	89.3%	100%	—	—	—	—	
		アンケート調査結果より						
自分の食生活に問題があると思う人のうち、食生活の改善意欲のある人の増加								
改善意欲のある人の割合	成人男性	36.5%	80%以上	—	—	55.6%	80%以上	成人と同様にする。
	成人女性	55.5%	80%以上	—	—	67.7%	80%以上	
	高校生	40.5%	80%以上	—	—	—	—	
		アンケート調査結果より				平成8年 国民栄養調査		
適正体重を維持している人の増加								
肥満者の減少(BMI 25.0以上)	成人男性	24.7%	15%以下	22.0%	15%以下	24.3%	15%以下	
	成人女性	9.7%	9.7%以下	17.6%	12%以下	25.2%	20%以下	
		アンケート調査結果より		平成12年 生活習慣関連調査		平成9年 国民栄養調査		
肥満者の減少(ワール指数 160以上)	中学生	2.5%	1.7%以下	2.2%	1.7%以下	10.7%	7%以下	小学3年生は国、県の指標はないが、中学生や高学年と同じ数値とする。
	小学6年生	2.6%	1.7%以下	2.2%	1.7%以下			
	小学3年生	5.2%	1.7%以下					
		アンケート調査結果より		平成11年 学校保健統計		平成9年 国民栄養調査		
やせすぎ者の減少(BMI 18.5未満)	女性20歳代	21.6%	14%以下	21.6%	14%以下	23.3%	15%以下	
		アンケート調査結果より		平成12年 生活習慣関連調査		平成9年 国民栄養調査		
朝食をとらない人の減少								
欠食をする者の割合の減少	中学生	5.1%	0%	—	—	6.0%	0.0%	中高生どちらも欠食をなくすという努力目標として0%とする。
	高校生	7.1%	0%	7.6%	0%			
	男性20歳代	24.4%	15%以下	20.7%	10%以下	32.9%	15%以下	
		アンケート調査結果より		平成12年 生活習慣関連調査		平成9年 国民栄養調査		
自分の適性体重を維持できる食事を理解している人の増加								
理解している人の割合	成人男性	40.0%	80%以上	58.1%	80%以上	65.6%	80%以上	現状値の倍の増加を設定。
	成人女性	51.8%	80%以上	63.4%	80%以上	73.0%	80%以上	
理解している人の割合	中学生	8.7%	17.4%	—	—	—	—	
	高校生	12.2%	24.4%	—	—	—	—	
		アンケート調査結果より		平成12年 生活習慣関連調査		平成8年 国民栄養調査		

(2) 身体活動・運動

健康計画21の目標項目	対象者	日進市		愛知県		国		備考
		現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	
何らかの地域活動を実施している者の増加								
地域活動を実施している人	男性60歳以上	30.0%	58%以上	—	—	48.3%	58%以上	
	女性60歳以上	31.5%	50%以上	—	—	39.7%	50%以上	
		アンケート調査結果より					平成10年 高齢者の地域社会への参加に関する意識調査(総務庁)	
地域活動を実施している人	成人男性	38.3%	48.3%	—	—	—	—	男女ともに10%の増加を見込む。
	成人女性	64.6%	74.6%	—	—	—	—	
	中学生	82.0%	92.0%	—	—	—	—	
	高校生	57.2%	67.2%	—	—	—	—	
		アンケート調査結果より						
日常生活における歩数の増加								
日常生活における歩数	成人男性	(6567歩)	8700歩以上	7,721歩	8,700歩	8202歩	9200歩以上	市の現状値は、アンケートの歩行時間より算定。一概に比較はできないが、男性は県、女性は国の数値と同様にする。
	成人女性	(6272歩)	8300歩以上	8,421歩	9,400歩	7282歩	8300歩以上	
		アンケート調査結果より			平成11年 国民栄養調査(愛知県)		平成9年 国民栄養調査	
外出について積極的な態度を持つ人の増加								
外出について積極的な態度を持つ人	男性60歳以上	68.6%	68.6%以上	36.1%	46%以上	59.8%	70%以上	
	女性60歳以上	72.8%	72.8%以上	30.2%	40%以上	59.4%	70%以上	
		アンケート調査結果より			平成12年 生活習慣関連調査		平成11年 高齢者の日常生活に関する意識調査(総務庁)	


研究会にてライフステージを拡大・追加

(3) 休養・心の健康づくり

健康計画21の目標項目	対象者	日進市		愛知県		国		備考
		現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	
子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減								
子どもに対して、家族の誰かが怒鳴ったり、叩いたりする、無視してしまうことがある割合の減少	(日進市の数値は就園児保護者)	20.0%	減少傾向へ	—	—	18.1%	減少傾向へ	幼児健康度調査
		アンケート調査結果より						
産後、気分が落ち込んだり、憂うつな気分になった者の割合の減少	(日進市の数値は乳幼児保護者)	56.3%	減少傾向へ	—	—	13.4%	減少傾向へ	幼児健康度調査
		アンケート調査結果より						
子育てにストレスを感じる人がいる割合の減少	乳幼児保護者	33.8%	減少傾向へ	—	—	—	—	
	就園児保護者	26.7%	減少傾向へ	—	—	—	—	
		アンケート調査結果より						
ストレスを感じた人の減少								
ストレスを感じた人の割合の減少	成人	77.3%	62%以下	67.1%	62%以下	54.6%	49%以下	平成12年 生活習慣関連調査 平成8年度健康づくりに関する意識調査(財団法人健康・体力づくり事業財団)
		アンケート調査結果より						
	勤め人	86.6%	43%以下	48.7%	43%以下	—	—	
ストレスを感じる人の割合の減少	中学生	79.6%	69.6%	—	—	—	—	10%減とする。
	高校生	85.0%	75.0%	—	—	—	—	
		アンケート調査結果より						
ストレスを大いに感じる人の割合の減少	中学生	33.7%	23.7%	—	—	—	—	10%減とする。
	高校生	42.2%	32.2%	—	—	—	—	
		アンケート調査結果より						
趣味のある人の増加	成人	70.0%	80%以上	74.1%	80%以上	—	—	平成12年 生活習慣関連調査
		アンケート調査結果より						
親と子のコミュニケーション								
子どもとよく一緒に遊んだり、話したりする者の割合の増加	(日進市の数値は乳幼児保護者)	77.0%	77.0%以上	—	—	68.0%	増加傾向へ	幼児健康度調査
		アンケート調査結果より						
	小学生保護者	60.6%	77.0%以上	—	—	—	—	
子どもの話に耳を傾けたり、気持ちをよく理解しようとしている者の割合の増加	(日進市の数値は乳幼児保護者)	76.5%	76.5%以上	—	—	68.0%	増加傾向へ	幼児健康度調査
		アンケート調査結果より						
家族はしっかり話を聞いてくれますか	小学3年生	81.6%	94.1%	—	—	—	—	小学6年生の現状値に設定。
	小学6年生	94.1%	94.1%	—	—	—	—	
	中学生	72.9%	94.1%	—	—	—	—	
	高校生	82.7%	94.1%	—	—	—	—	
		アンケート調査結果より						

研究会にてライフステージを拡大・追加

健康計画21の目標項目	対象者	日進市		愛知県		国		備考
		現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	
十分な睡眠の確保								
睡眠による休養を十分とれていない人の割合の減少	成人	48.6%	44%以下	49.3%	44%以下	23.1%	20.0%以下	国は、10%以上の減としている。
		アンケート調査結果より		平成12年 生活習慣関連調査		平成8年度健康づくりに関する意識調査(財団法人健康・体力づくり事業財団)		
昼間眠いことがある人の割合	小学3年生	46.1%	36.1%	—	—	—	—	市独自のライフステージ。10%減とする。
	小学6年生	57.2%	47.2%	—	—	—	—	
		アンケート調査結果より						
睡眠による休養を十分とれていない人の割合の減少	中学生	54.8%	44.8%	—	—	—	—	
	高校生	45.7%	35.7%	—	—	—	—	
		アンケート調査結果より						
外で遊ぶ子どもの増加								
外で遊ぶ子どもの割合の増加	小学3年生男子	41.3%	50%以上	—	—	—	—	市の独自の目標。小3から小6までの男女で外遊びをする子を50%以上にする。
	小学3年生女子	33.3%	50%以上	—	—	—	—	
	小学6年生男子	37.9%	50%以上	—	—	—	—	
	小学6年生女子	12.1%	50%以上	—	—	—	—	
		アンケート調査結果より						
子どもが運動不足だと思う保護者の割合	乳幼児保護者	18.9%	10%以下	—	—	—	—	
	就園児保護者	14.1%	10%以下	—	—	—	—	
		アンケート調査結果より						

 研究会にてライフステージを拡大・追加

(4) たばこ

健康計画21の目標項目	対象者	日進市		愛知県		国		備考
		現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	
喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識の普及								
たばこが体に及ぼす被害を知っている人の割合	成人	-	100%	—	—	—	—	市の目標は、たばこが体に及ぼす被害を知っている人の割合のみとし、肺がん以下のすべてを項目をまとめて取り扱う。目標値は100%。
肺がん	成人	97.1%	100%	97.7%	100%	84.5%	100%	
喘息	成人	56.7%	100%	55.9%	100%	59.9%	100%	
気管支炎	成人	67.6%	100%	64.4%	100%	65.5%	100%	
心臓病	成人	36.5%	100%	36.3%	100%	40.5%	100%	
脳卒中	成人	25.5%	100%	23.7%	100%	35.1%	100%	
胃潰瘍	成人	20.4%	100%	22.0%	100%	34.1%	100%	
妊娠に関連した異常	成人	72.0%	100%	62.9%	100%	79.6%	100%	
歯周病	成人	16.6%	100%	16.2%	100%	27.3%	100%	
		アンケート調査結果より		平成12年 生活習慣関連調査		平成10年度喫煙と健康問題に関する実態調査		
喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識の普及								
たばこが体に及ぼす被害を知っている人の割合	中学生	—	100%	—	—	—	—	中学生、高校生についても上記に同じ。
	高校生	—	100%	—	—	—	—	
肺がん	中学生	94.6%	100%	—	—	—	—	
	高校生	97.1%	100%	—	—	—	—	
喘息	中学生	37.2%	100%	—	—	—	—	
	高校生	29.8%	100%	—	—	—	—	
気管支炎	中学生	47.4%	100%	—	—	—	—	
	高校生	54.4%	100%	—	—	—	—	
心臓病	中学生	23.9%	100%	—	—	—	—	
	高校生	16.4%	100%	—	—	—	—	
脳卒中	中学生	21.8%	100%	—	—	—	—	
	高校生	14.0%	100%	—	—	—	—	
胃潰瘍	中学生	14.5%	100%	—	—	—	—	
	高校生	8.2%	100%	—	—	—	—	
妊娠に関連した異常	中学生	58.9%	100%	—	—	—	—	
	高校生	77.8%	100%	—	—	—	—	
歯周病	中学生	32.9%	100%	—	—	—	—	
	高校生	18.1%	100%	—	—	—	—	
		アンケート調査結果より						
未成年の喫煙をなくす								
喫煙をしたことがある人の割合	中学3年生男子	10.9%	0%	—	—	7.5%	0%	国は中学1年。国、県の数値は「喫煙をしている」人の割合。市と一概に比較できないが、努力目標として0%。
	中学3年生女子	5.8%	0%	—	—	3.8%	0%	
	高校3年生女子	10.6%	0%	3.3%	0%	15.6%	0%	
		アンケート調査結果より		平成8年度 未成年者の喫煙行動に関する全国調査		平成8年度 未成年者の喫煙行動に関する全国調査		
公共の場及び職場における分煙の徹底及び効果の高い分煙に関する知識の普及								
職場で禁煙・分煙を実施している割合	成人	59.7%	100%	74.1%	100%	—	100%	市は、それぞれの勤務先での分煙状況。県は県立施設での分煙率。比較できないが努力目標
		アンケート調査結果より						
妊娠中の喫煙をなくす								
妊娠中の喫煙率	妊婦	0.5%	0%	5.8%	0%	10.0%	なくす	かなり低い数値だが、0%を目指す。
		アンケート調査結果より		平成11年 母子保健報告		平成8年度 未成年者の喫煙行動に関する全国調査		

研究会にてライフステージを拡大・追加

(5) アルコール

健康計画21の目標項目	対象者	日進市		愛知県		国		備考
		現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	
「節度ある適度な飲酒」の知								
「節度ある適度な飲酒」の知識を知っている人の割合	成人男性	26.3%	100%	48.4%	100%	—	100%	
	成人女性	21.3%	100%	43.6%	100%	—	100%	
		アンケート調査結果より		平成12年 生活習慣関連調査				
未成年者の飲酒をなくす								
飲酒したことがある人の割合	中学生男子	73.7%	0%	—	—	25.4%	0%	国は、飲酒している人の割合で比較できないが、努力目標とする。
	中学生女子	61.7%	0%	—	—	17.2%	0%	
		アンケート調査結果より				平成8年度未成年者の飲酒行動に関する実態調査		
	高校生女子	79.1%	0%	5.0%	0%	35.9%	0%	
	アンケート調査結果より		平成12年 生活習慣関連調査		平成8年度未成年者の飲酒行動に関する実態調査			
妊娠中の飲酒率の減少								
妊娠中の飲酒率の減少	妊婦	4.8%	4.8%以下	—	—	18.1%	なくす	
		アンケート調査結果より				幼児健康度調査		
多量に飲酒する人の減少								
多量に飲酒する人の割合	成人男性	2.5%	2.5%以下	4.6%	3.6%以下	4.1%	3.2%以下	
	成人女性	0.7%	0.6%以下	0.8%	0.6%以下	0.3%	0.2%以下	
		アンケート調査結果より		平成12年 生活習慣関連調査		平成8年度健康づくりに関する意識調査(財団法人健康・体力づくり事業財団)		
アルコールが体に及ぼす影響を知っている人の増加								
アルコールが体に及ぼす影響を知っている人の割合	中高生	—	100%					たばこと同様に、アルコールが体に及ぼす影響を知っている人の割合のみを目標とし、肝臓を悪くするから、以下の項目をまとめて取り扱う。数値は努力目標として100%とする。
肝臓を悪くするから	中学生	42.1%	100%	—	—	—	—	
	高校生	42.8%	100%	—	—	—	—	
発達・成長に悪い影響があるから	中学生	76.9%	100%	—	—	—	—	
	高校生	71.7%	100%	—	—	—	—	
急性アルコール中毒になるから	中学生	43.0%	100%	—	—	—	—	
	高校生	48.6%	100%	—	—	—	—	
		アンケート調査結果より		平成12年 生活習慣関連調査		平成8年度健康づくりに関する意識調査(財団法人健康・体力づくり事業財団)		

研究会にてライフステージを拡大・追加

(6) 歯の健康

健康計画21の目標項目	対象者	日進市		愛知県		国		備考
		現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	
定期的な歯科健診を受ける人の増加								
定期的な歯科健診を受けている人	成人	28.6%	28.6%以上	13.8%	27.0%	16.4%	30%以上	
		アンケート調査結果より		平成12年 生活習慣関連調査		平成5年 保健福祉動向調査		
間食として甘味食品・飲料を頻回飲食する習慣のある幼児の減少								
間食として甘味食品・飲料を頻回飲食する習慣のある幼児の減少	1歳6か月児	—	—	—	—	29.9%	—	※頻回飲食の定義： 1日3回以上の間食をする者
おやつ回数に問題がある幼児の割合		23.7%	8%以下	16.0%	8%以下			
おやつの内容に問題がある幼児の割合		35.1%	12%以下	23.0%	12%以下			
よく飲む飲み物に問題がある幼児の割合		36.9%	20%以下	39.0%	20%以下			
ジュースなど甘い飲み物を飲む幼児の割合		72.3%	50%以下	—	—			頻回飲食は比較できないが、ジュースなどの甘い飲み物を飲む幼児の割合を50%以下とする
		1歳6か月児健診アンケート調査結果より		平成11年度 1歳6か月児健診カルテ		平成3年久保田らによる調査		
子どもに対する歯予防の実施を高める								
一人平均の歯数の減少 (5歳・12歳)	12歳児	1.7歯	1.0歯以下	2.7歯	1歯以下	2.9歯	1歯以下	
	5歳児	2.4歯	1.0歯以下	2.8歯	1歯以下	—	—	
				平成11年学校保健統計調査		平成11年学校保健統計調査		
歯間部清掃器具の使用の増加								
使用する人の割合	成人	20.4%	20.4%以上	16.0%	32%以上	19.3%	50%以上	国より高いが、国と同程度の50%以上とを目標値とする。
		アンケート調査結果より		平成12年 生活習慣関連調査		平成5年 保健福祉動向調査		
歯口清掃指導を受けた人の増加								
個別的な歯口清掃指導を過去1年間に受けたことのある人の増加	高校生	17.1%	17.1%以上	—	—	12.8%	30%以上	
※国の現状値の対象：15～24歳		アンケート調査結果より				平成5年 保健福祉動向調査		
8020運動の普及								
8020運動を知っている人の増加	成人	62.0%	100%	50.5%	100%	—	—	努力目標として100%を目指す。
		アンケート調査結果より		平成12年 生活習慣関連調査				
フッ化物配合歯みがき剤の使用の増加								
フッ化物配合歯磨き剤の使用の割合の増加	児童	—	—	—	—	45.6%	90%以上	
	中学生	23.4%	90%以上	—	—	—	—	
		アンケート調査結果より				平成3年 荒川らによる調査		

(7) 生活習慣病

健康計画21の目標項目	対象者	日進市		愛知県		国		備考
		現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	
市、職場等で健康審査・がん検診を受ける人の割合の増加								
基本健康診査受診率	成人	70.9%	70.9%以上	48.5%	60.0%	4,573万人	860万人以上	愛知県「老人保健法等による健康診査の結果報告」(平成11年) 平成9年 健康・福祉関連サービス需要実態調査
		アンケート調査結果より						
胃がん	成人	36.3%	36.3%以上	16.7%	30.0%	1,401万人	2,100万人	
子宮がん	女性	28.1%	30%以上	13.0%	30.0%	1,241万人	1,860万人	
乳がん	女性	23.4%	30%以上	14.5%	30.0%	1,064万人	1,600万人	
肺がん	成人	41.0%	41%以上	33.2%	40.0%	1,023万人	1,540万人	
大腸がん	成人	31.1%	40%以上	23.1%	40.0%	1,231万人	1,850万人	
		アンケート調査結果より						
生活習慣改善指導を受ける人の増加								
基本健康診査事後指導参加者の増加	基本健康診査指導者	47.5%	60%以上	—	—	—	—	
		平成14年度基本健康診査事後指導実績より						
栄養のとり方について気をつけている人の増加								
栄養成分表示を参考にしている人の割合	成人	26.8%	26.8%以上	11.5%	—	—	—	
		アンケート調査結果より		平成12年 生活習慣関連調査				
運動習慣者の増加								
1年以上継続して、週2回1日30分以上の運動をしている人の割合	成人男性	29.4%	39%以上	21.5%	32%以上	28.6%	39%以上	
	成人女性	22.7%	35%以上	19.7%	30%以上	24.6%	35%以上	
			アンケート調査結果より		平成12年 生活習慣関連調査		平成8年国民栄養調査	
日常生活における歩数の増加								
常生活における歩数								身体活動・運動参照
適正体重を維持している人の増加								
肥満者の減少(BMI 25.0以上)								栄養・食生活参照
喫煙が及ぼす健康影響についての十分な知識の普及								
たばこが体に及ぼす影響を知っている人の割合								たばこ参照
未成年者の喫煙をなくす								
喫煙をしたことがある人の割合								たばこ参照
公共の場及び職場における分煙の徹底及び高架の高い分煙に関する知識の普及								
職場で分煙している割合								たばこ参照
未成年者の飲酒をなくす								
飲酒したことがある人の割合								アルコール参照
「節度ある適度な飲酒」の知識の普及								
「節度ある適度な飲酒」の知識を持っている人の割合								アルコール参照
多量に飲酒する人の割合								
多量に飲酒する人の割合								アルコール参照
アルコールが体に及ぼす影響を知っている人の増加								
アルコールが体に及ぼす影響を知っている人の割合								アルコール参照

(8) 健やか親子・母子保健

健康計画21の目標項目	対象者	日進市		愛知県		国		備考
		現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	
妊産婦乳幼児健康診査の取り組み								
妊産婦・乳幼児健康診査受診率の向上	妊婦 歯科健康診査	19.7%	30%以上	—	—	—	—	
	乳児健康診査	88.5%	100%へ	—	—	—	—	
	3～4か月児	98.2%	100%へ	—	—	—	—	
	1歳6か月	98.3%	100%へ	—	—	—	—	
	3歳児	96.2%	100%へ	—	—	—	—	
予防接種への取り組み								
1歳6か月までに麻疹を終了している人の割合	麻疹	89.0%	95%以上	—	—	70.4%	95.0%	
1歳までにBCGを終了している人の割合	BCG	89.0%	95%以上	66.2%	95.0%	86.6%	95.0%	
		平成14年度 予防接種実績より		愛知県「平成11年健康診断予防接種実施状況調査」		厚生労働科学研究（子ども家庭総合研究等）		
休日・夜間の救急医療情報の提供								
休日・夜間の救急医療情報センターを知っている親の割合	乳幼児保護者	56.5%	100%へ	—	—	1歳6か月児86.6%	100%	
	就園児保護者	64.1%	100%へ	—	—	3歳児88.8%	100%	
		アンケート調査結果より				厚生労働科学研究（子ども家庭総合研究等）		
たばこ、アルコール、薬物に対する正しい知識・判断能力を高める								
たばこを勧められたとき断ることができる子の増加	中学生	79.6%	100%へ	—	—	—	—	
	高校生	69.2%	100%へ	—	—	—	—	
		アンケート調査結果より						
アルコールを勧められたとき断ることができる子の増加	小学校6年	42.2%	100%へ	—	—	—	—	
	中学生	31.3%	100%へ	—	—	—	—	
	高校生	14.0%	100%へ	—	—	—	—	
		アンケート調査結果より						
シンナーや覚醒剤を勧められたとき絶対に断ることができる子の増加	中学生	86.0%	100%へ	—	—	—	—	
	高校生	90.1%	100%へ	—	—	—	—	
		アンケート調査結果より						
性教育について正確な認識								
避妊法を知っている生徒の割合の増加	高校生男子	77.7%	100%へ	—	—	26.2%	100%	国の数値は大学1～4年生
	高校生女子	86.6%	100%へ	—	—	28.3%	100%	
		アンケート調査結果より				厚生労働科学研究（子ども家庭総合研究等）		
子どもの心のすこやかな成長								
自分のことが大切に思える子どもの割合	小学6年生	92.1%	100%へ	—	—	—	—	
	中学生	76.5%	100%へ	—	—	—	—	
		アンケート調査結果より						
出産後1か月時の母乳育児の割合の増加	母子保健カード	38.0%	増加傾向へ	—	—	44.8%	増加傾向へ	
		平成14年度母子保健実績より				乳幼児身体発育調査		

健康計画21の目標項目	対象者	日進市		愛知県		国		備考
		現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	
子どもの心の安らかな発達と育児不安の軽減								
子育てにストレスを感じる人がいる人の割合の減少								休養・心の健康参照
子どもに対して、家族の誰かが怒鳴ったり、叩いたりする、無視してしまうことがある割合の減少								休養・心の健康参照
産後、気分が落ち込んだり、憂うつな気分になった者の割合の減少								休養・心の健康参照
育児に参加する父親の割合の増加	乳幼児	47.3% 35.1%	増加傾向へ	—	—	37.4% 45.4%	増加傾向へ	
(上段はよくしている、下段は時々している人の割合)	就園児	44.5% 39.1%	増加傾向へ	—	—			
		アンケート調査結果より			幼児健康度調査			
親と子のコミュニケーション								
子どもの話に耳を傾けたり、気持ちをよく理解しようとしている者の割合の増加								休養・心の健康参照
子どもとよく一緒に遊んだり、話したりする者の割合の増加								休養・心の健康参照
家族はしっかり話を聞いてくれるという子どもの割合の増加								休養・心の健康参照
食事と心の健康づくり								
質・量ともにきちんとした食事をする者の割合								
朝食を誰かと一緒に食べている人の割合								栄養・食生活参照
子どもの栄養のことを考えて調理したり、食事を選択する人の割合の増加								栄養・食生活参照
喫煙への対策								
妊娠中の喫煙率								たばこ参照
飲酒への対策								
妊娠中の飲酒率								アルコール参照
子どもの歯予防								
間食として甘味食品・飲料を頻回飲食する習慣のある幼児の減少								歯の健康参照
おやつ回数の多い幼児の割合								歯の健康参照
おやつ内容に問題がある幼児の割合								歯の健康参照
よく飲む飲み物に問題がある幼児の割合								歯の健康参照
一人平均の歯数の減少（5歳）								歯の健康参照
一人平均の歯数の減少（12歳）								歯の健康参照
ジュースなど甘い飲み物を飲む幼児の割合								歯の健康参照
フッ化物配合歯みがき剤の使用の増加								
フッ化物配合歯磨き剤の使用の割合								歯の健康参照

(9) 安全

健康計画21の目標項目	対象者	日進市		愛知県		国		備考
		現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	
乳幼児の命を守る								
乳幼児期にうつぶせ寝をさせている親の割合の減少	乳幼児・就園児保護者	17.6%	なくす	—	—	3.5%	なくす	
		アンケート調査結果より				厚生労働科学研究（子ども家庭総合研究等）		
子どもの前で喫煙する親の割合の減少	乳幼児・就園児保護者	36.2%	なくす	—	—	10.0%	なくす	妊娠中の両親の喫煙率
		アンケート調査結果より				厚生労働科学研究（子ども家庭総合研究等）		
ゆさぶられっ子症候群を知っている親の割合の増加	乳幼児・就園児保護者	52.8%	100%	—	—	—	—	
		アンケート調査結果より						
不慮の事故を防ぐ								
不慮の事故で救急搬送された乳幼児数の減少	0～5歳児	40人	減少へ	—	—	—	—	
		平成14年度母子保健実績より						
事故防止対策を実施している家庭の割合の減少	乳幼児・就園児保護者	72.6%	100%	—	—	1歳6か月児4.2%	100%	
						3歳児1.8%	100%	
		アンケート調査結果より				厚生労働科学研究（子ども家庭総合研究等）		
転倒による骨折・打撲をした人の割合の減少	60歳以上女性	21.1%	減少へ	—	—	—	—	
		アンケート調査結果より						
救急救命処置ができる人の増加								
心肺蘇生法を知っている人の割合の増加	乳幼児・就園児保護者	47.1%	100%	—	—	1歳6か月児19.8%	100%	
						3歳児21.3%	100%	
		アンケート調査結果より				厚生労働科学研究（子ども家庭総合研究等）		
心肺蘇生法を知っている人の割合の増加	成人	49.4%	100%	—	—	—	—	
		アンケート調査結果より						
けがなどの応急手当を知っている人の割合の増加	成人	49.3%	100%	—	—	—	—	
		アンケート調査結果より						

7. 策定経緯

(1) 平成 14 年度

開催日	会議名及び内容
平成 14 年 9 月 5 日	第 1 回策定委員会 ①講話 「国・県計画と市の計画策定について」 ②計画策定の流れ ③策定スケジュール ④策定体制 ⑤アンケート調査について
平成 14 年 10 月～1 月	アンケート調査実施
平成 14 年 10 月 30 日	第 1 回ネットワーク研究会・職員研究会 ①講話 「国 21 計画と市計画策定の意義について」 ②試食会「あなたのお好みの塩味は？」 ③ワーキング「気になっている健康状態など」について
平成 14 年 12 月 24 日	第 2 回ネットワーク研究会・職員研究会 ①健康づくり実践「少し歩いてみよう」 ②グループ討議 「健康づくりについて」 第 1 回の気になっている健康状態などについて分野別に取り組み内容を討議
平成 15 年 2 月 7 日	視察研修：第 3 回健康日本 21 全国大会 in 滋賀県大津市 ①基調講演 ②パネルディスカッション『健康なまちづくり応援団』 健康劇 など
平成 15 年 2 月 28 日	第 3 回ネットワーク研究会・職員研究会 ①日進市の健康に関する現状説明 ②グループ討議 「現状の問題となることについて」
平成 15 年 3 月 20 日	第 2 回策定委員会 ①アンケート結果の報告

(2) 平成 15 年度

開催日	会議名及び内容
平成 15 年 6 月 3 日	第 1 回ネットワーク研究会・職員研究会 グループ討議 「現在問題になることについて」
平成 15 年 6 月 12 日	第 3 回策定委員会 ①講話「健康増進法について」 ②計画策定の現況報告 ③ワーキンググループからの発表と意見交換
平成 15 年 8 月 1 日	第 2 回ネットワーク研究会・職員研究会 グループ討議 「ライフステージ別健康上の着眼点について」 「ライフステージ別個人の取り組みについて」
平成 15 年 9 月 1 日	第 3 回ネットワーク研究会・職員研究会 グループ討議 「ライフステージ別個人の取り組みについて」 「ライフステージ別周囲の支援について」
平成 15 年 9 月 18 日	第 4 回策定委員会 ①計画策定の現況報告 ②ヒアリング結果の報告（企業等） ③計画の構成の考え方について （分野及びライフステージの区分） ④分野別、ライフステージ別の健康課題と個人の取り組みについて
平成 15 年 10 月 15 日	第 4 回ネットワーク研究会・職員研究会 グループ討議 「分野別ライフステージ別個人の取り組み、周囲の支援について」 「重点課題の絞込み」 「結果に対するグループ討議」 「各分野の重点項目の決定」

開催日	会議名及び内容
平成 15 年 11 月 9 日	日進市民まつり（健康福祉フェスティバル）でいきいき健康プランにしん 21 の P R
平成 15 年 11 月 11 日	第 5 回ネットワーク研究会・職員研究会 グループ討議 「数値目標の点検」 「周囲の支援の整理」
平成 15 年 12 月 16 日	第 6 回ネットワーク研究会・職員研究会 グループ討議 「前回討議のまとめと発表」 「わが街の健康財産の発掘!!」（ネットワーク研究会） 「社会資源の整理」（職員研究会）
平成 16 年 1 月 14 日	第 5 回策定委員会 ①計画策定の現況報告 ②数値目標の考え方について（設定項目、数値の基準） ③意見交換
平成 16 年 1 月 22 日	第 7 回ネットワーク研究会・職員研究会 グループ討議 「数値目標と周囲の支援の結びつけ」 「アクションプランの検討」
平成 16 年 2 月 9 日	第 8 回ネットワーク研究会・職員研究会 グループ討議 「アクションプランの検討」 「めざす姿の検討」
平成 16 年 2 月 18 日	第 9 回ネットワーク研究会・職員研究会 グループ討議 「重点的な取り組みの検討」 「めざす姿の検討」

開催日	会議名及び内容
平成 16 年 3 月 8 日	第 10 回ネットワーク研究会・職員研究会 グループ討議 「めざすべき姿の確認・修正」 「イベント『健康への直行便』について」 「イベント展示パネルづくり」
平成 16 年 3 月 14 日	いきいき健康プランにっしん 21 オープニングフェスタ ～健康への直行便～ ①いきいき健康プランにっしん 21 ってなあに？ ②いきいき健康体操～みんなで WAKUWAKU！～ ③いきいき健康クイズ ④天野鎮雄さん講演会「出会いふれあい人間こんさーと」
平成 16 年 3 月 23 日	第 6 回策定委員会 ①「いきいき健康プランにっしん 21」策定作業の現況報告 ②計画書（案）について ③今後の推進体制について

8. 委員名簿

名簿は、平成 16 年 3 月 1 日現在です。

また、() 内は、平成 14 年度委員

(1) 策定委員会

(◎は委員長、○は副委員長、順不同・敬称略)

	役 職 名 等	氏 名
学識経験者	愛知県瀬戸保健所長	子安 春樹
	名古屋学芸大学 管理栄養部長	山中 克己 ◎
	あいち健康の森 健康科学総合センター 指導課長	津下 一代 ○
医療関係者	東名古屋医師会 日進支部代表者	早川 真人
	愛豊歯科医師会 日進支部代表者	鈴木 真也 (福安 満)
	日進豊明薬剤師会 副会長	立松 文彦 (森浦 正憲)
	日進市商工会女性部副代表	嶋崎 節子 (牧 悦代)
職域関係者	J A 日進女性交通安全クラブ部長	岩月 ミサヲ
	荒川工業株式会社専務取締役	坂井 陽二
	日進市老人クラブ連合会 会長	内藤 進
児童・福祉 関係者	日進市ボランティア連絡協議会 会長	祖父江 信也
	日進市民生委員児童委員	大島 すゞ代
	にっしんファミリー・サポートセンター アドバイザー	中野 公子
	日進市立北小学校養護教諭	小室 勢子
市保健関係者	日進市食生活改善推進員	齋藤 信子
	日進市運動普及推進員	鈴木 恵子
市民代表及び 市民団体関係者	助 産 師	市川 みどり
	市 民 代 表	井上 久美
	〃	大西 海巴
	〃	田中 美智子
	〃	林 輝夫
		丸山 治美

(2) 推進委員会

役 職 名 等	氏 名
助役	中川 勝美
教育長	穂積 克彦
市長公室長	(市岡 俊寛)
総務部長	青山 陽
生涯支援部長	松本 幸治
産業環境部長	花植 里美 (萩野 和延)
都市建設部長	石原 東 (市川 太)
教育振興部長	萩野 修二

(3) ネットワーク研究会

役 職 ・ 職 種 等	氏 名
荒川工業株式会社専務取締役	坂井 陽二
にしんファミリー・サポートセンター アドバイザー	中野 公子
日進市食生活改善推進員	齋藤 信子
日進市運動普及推進員	鈴木 恵子
助 産 師	市川 みどり
市 民 代 表	井上 久美
〃	大西 海巴
〃	田中 美智子
〃	林 輝夫
〃	丸山 治美
保 育 士	武田 直子 (市川 佐恵子)
瀬戸保健所豊明支所 保健師	原口 浩美 (杉浦 加代子)
愛知県食生活アドバイザー 管理栄養士	梶本 富美子
(瀬戸保健所豊明支所 栄養士)	(森嶋 敬)
瀬戸保健所豊明支所 歯科衛生士	度會 ひとみ

(4) 職員研究会

関 係 部 課 名		職 名	氏 名
市長公室	政策推進課	係長 (課長補佐)	西尾 茂 (吉橋 一典)
	市民交流課	課長補佐 (課長補佐)	梅村 光俊 (近藤 修)
総務部	総務課	主事	福島 勝之
	財政課	主事 (主事)	福岡 幸成 (鷺野 淳一)
生涯支援部	福祉推進課	係長 (課長補佐)	川本 賀津三 (伊藤 敏之)
	長寿支援課	係長 (係長)	出原 真路 (西尾 茂)
	児童課	課長補佐	萩野 敏明
	保険年金課	主事	所 俊邦
	健康推進課	保健専門員	小塚 多佳子
産業環境部	水と緑の課	主事	鳥居 泰秀
	環境課	主事	高柳 秀史
	産業振興課	主事	斉藤 慈子
都市建設部	まちづくり推進課	主事	鏡味 美巳彦
	建設課	主事 (主事)	森 陽子 (大竹 玲子)
	区画整理課	主事	西口 和宏
	下水道課	係長	志水 正彦
教育委員会	学校教育課	係長	服部 ゆかり
	社会教育課	係長	伊東 一朗
	スポーツ課	主事	大竹 玲子

13:45~14:00	<小ホール>
<p>▼いきいき健康体操～みんなで WAKUWAKU! ～</p> <p>市内在住のインストラクター 大西海巴(みど)さんによるイスに座ったままでもできる体操を実施しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
14:00~14:05	<小ホール>
<p>▼あいさつ…日進市長</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
14:05~15:00	<小ホール>
<p>▼いきいき健康クイズ</p> <p>天ちゃんさんとクイズを楽しみながら、健康について学びました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
15:00~15:45	<小ホール>
<p>▼天野鎮雄さん講演会「出会いふれあい人間こんさーと」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
15:45~16:30	<小ホール・多目的ホール>
<p>▼いきいき健康プランにっしん21ってなあに？</p> <p>パネル展示、健康体験コーナー</p>	